

## 1. 景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

### 1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北海道)		-	-	-
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されてから、来客数が戻りつつある。ただし、まだまだ前年の水準には及んでいない。インバウンドや他地域から訪れる客が増えてこないため、厳しい状況は続いている。
		百貨店（営業販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス対策に伴う外出の自粛が6月19日に解除されたことで、客の動きが活発になってきている。特別定額給付金として10万円が支給されていること、キャッシュレス・消費者還元事業が6月で終了することも後押しとなっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・外出の自粛により衣料品、日用品目的の来客が激減していたが、週末の来客数は新型コロナウイルスの感染拡大前と同じような水準まで回復してきている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス対策による緊急事態宣言の解除から徐々に良くなりつつある。今後についても期待している。
		自動車備品販売店（店長）	お客様の様子	・自粛ムードが和らいでいるなか、特別定額給付金が支給されていることで、来客数や購買点数の増加がみられる。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（経営者）	販売量の動き	・少しずつではあるが、販売量が回復傾向にある。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されたことで営業を再開した。ただ、売上は前年比30%程度であり、水準としては低い。昼は客の動きが少しみられるものの、夜の動きが悪い。料理がおいしくないことはないと捉えているが、客足が伸びてこない。客が飲食店を不安に思っているのか、昼の限られた時間での利用がしづらくて来店しないのか、理由がよく分からないため、対処方法も見付けられない。食材業者は平常の営業体制に戻りつつあるが、日によっては食材が足りなくなるなど、在庫管理が厳しくなっている。どうみん割の効果は、今のところ一時的かつ限定的な動きにとどまっており、2年前の北海道ふっこう割のような手応えが感じられない。一方、道内の各自治体などからは食に関する事業支援の相談が増えてきている。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・どうみん割に関する問合せが急増している。
		タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルスが収まりつつあることで、経済も少しずつ動き出している。ただし、観光貸切りバスは早くても9月までは本来の動きに戻ることはない。今後、第2波が訪れることになれば、事業そのものをリストラクチャする必要がある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・5月に緊急事態宣言が解除されたことで、少しずつではあるが、人の動きが出てきている。ただし、例年並みの水準まで回復することは難しい。
		通信会社（企画担当）	来客数の動き	・来客数が全道平均で前年の7割まで回復してきている。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組の観点から、これ以上の来客数回復は難しい状況にある。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除に伴い、これまで約2か月間来店を控えていた客が来店するようになっており、6月は3か月前と比較して来客数及び売上が増加している。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されたことで、歩道を歩く人が僅かながらに増加している傾向がみられるが、昼間の飲食店や物販店、夜型飲食店の来客数は低調なままである。これは新型コロナウイルスに対する不安材料が多いこと、6月に入り区域内のカラオケ店が閉店したことなどから、若年層の来街者が依然として少ないためとみられる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（代表者）	販売量の動き	・青果物の輸入の動きがいまだに回復してこない。客足も思っていたよりも戻っていない。
		百貨店（役員）	それ以外	・6月の来客数は減っているものの、客単価が上昇している。これは営業再開後の勢いが若干みられるためであり、このような状況が何か月も続く保証はない。
		スーパー（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪化したままである。最悪の状況は脱しており、徐々に回復する傾向がみられているが、以前の状況と比較すると景気はまだまだ悪い。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・巣籠り消費が一段落している。
		スーパー（役員）	来客数の動き	・食品スーパーマーケットでは6月に入ってからチラシを再開している。商品情報が多くなったことで、来客数が増加しているが、客単価が低下する傾向もみられるなど、新型コロナウイルスの感染拡大前の状態に戻りつつある。ただ、客単価が低下しているとはいえ、前年を上回る状況はまだ続いており、しばらくは4～5月と同様の特需が続く。
		スーパー（役員）	販売量の動き	・6月19日に外出自粛などの制限が解除されたが、その少し前から、一般食品の購入量が一気に減ってきた。外食する人が増えてきたためとみられる。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は減少したままである。新型コロナウイルスの影響が継続しており、特に朝や夜間の落ち込みが大きい。
		家電量販店（店員）	お客様の様子	・5月末から6月中旬にかけて、エアコンの売行きが好調である。前年を上回って推移しており、下見の客も増えてきている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスが引き続き大きな影響を及ぼしている。レンタカー需要の大きな落ち込みがみられるほか、積極的な営業活動ができないことなどで、販売量も落ち込みが大きい。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3～5月にかけて新型コロナウイルスの影響で販売量が相当落ち込んだが、低金利の施策などの活用をメーカーがうたっていることもあり、6月以降は若干回復している。ただし、水準自体はまだ低いままであり、劇的な回復とはなっていない。
		その他専門店 〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・良い意味で平常時の状態に戻りつつある。検疫防疫商材を買い求める客も、以前のような買いあさる行為をしなくなってきた。マスクやウイルス対策商材はこのまま普通の安定商材になる。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・6月下旬に都道府県をまったく移動の制限が解除されたことで、徐々にではあるが、週末の観光客が目立つようになってきた。ただ、平日はまだ開店休業の状態が続いている。今のところ、ランチのみの営業となっているが、売上は前年比で88%の減少となっている。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・北海道の緊急事態宣言は解除されたものの、依然として客の警戒心が強く、旅行需要は戻ってきていない。6月も取扱が皆無のため、前月と同様に各社員に休業日を追加設定させている。このままの状態が続く場合、会社全体が危機的状況に陥る可能性もある。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、販売量などが最低となっている状況に変化はみられない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・2月28日の北海道知事による緊急事態宣言発出後、全く人の動きがなくなった。さらに、4月7日の国の緊急事態宣言後は一段と人出がなくなった。当地のタクシー1台当たりの売上は5月でマイナス55%であったが、休業などで稼働台数を減らしていたため、全体ではマイナス70%の売上であった。6月以降は少しずつ動きが出てきており、タクシー1台当たりの売上はマイナス40%程度まで回復するなど、5月と比べればマーケットの動きは若干良くなっている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による減収は底を打った感がある。今後は回復のスピードに期待することになる。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客の様子をみると、商材の評価に対してものすごく敏感に反応している。また、単価の安い商材を求める傾向もみられる。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・観光関係の動きが少しずつ戻りつつあるが、まだ完全に戻った状況ではない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・店舗における来客数の動きや周辺における宿泊施設の動きから、景気はやや悪くなっている。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・集客が厳しい中、売上確保のために投売り以下のセールを実施している。売上が伸びたとしても、投売り商材しか売れていない過酷な日々となっており、購入者の目の厳しさが強く感じられる。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・特別定額給付金の支給がようやく始まったが、まだ客の購買意欲にはつながっていない。客からは生活資金や貯金に回すといった声も上がっている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による活動自粛が影響し、客足が伸びてこない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・営業日数、営業時間を自主的に短縮し、感染拡大防止を考えた前月と比べれば、若干持ち直した感があるが、いまだに客自体が来店に慎重になっている傾向がみられる。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除に伴って少しずつ来客数が増えてきているが、通常の状態に戻るまで、まだまだ時間が掛かる。商店街では閉店したままの店や、やめてしまった店もあるため、以前のような状態に戻るのか、心配している。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されたが、一向に回復の兆しがみられない。客の心理に怖いというイメージが定着しているためとみられる。日中の人出は徐々に戻ってきているが、夜の行動は若干の増加にとどまっており、全く商売にならないほどである。特に人が集まる繁華街を徹底的に嫌う傾向があり、回復のめどがいまだに立っていない。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・売上は前年比10.7%となり、景気は悪い。月末になり、昼カラで新型コロナウイルスの感染者が続けて出たこともマイナスである。
	×	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・6月1日から飲食店などの休業要請が解除され、平常の状態に戻る第1歩との期待があったが、飲食店への客足はまだまだ戻っていない。下旬には当地で初のクラスターが発生したこともあり、回復がますます遠のいたとみられる。ただ、当社の売上は、前年比70%台まで回復しそうである。
	×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・新型コロナウイルス対策による外出自粛などの制限が解除されたが、客の消費マインドは回復しておらず、来客数の減少が続いている。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・客単価の上昇が継続しているものの、新型コロナウイルスの感染拡大以降、依然として来客数の減少が続いている。
	×	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス対策での外出自粛などの制限が解除されたことにより、前月からみると販売量の動きは良くなってきているが、3か月前との比較ではまだ6割ほどにしかっていない。
	×	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除されたが、まだ以前のような客足はみられない。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・6月1日から営業を再開しているが、来客数は2割程度にとどまっている。これからも営業は続けていくが、どのような対応を取れば良いのか、また分からない面も多い。
	×	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されたものの、まだ多くの人の警戒心は高いままである。新しい生活様式が浸透していることや国のGoToキャンペーン事業が始まっていることから、客の動きはみられない。
	×	観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・6月末まで営業を休止している。7月以降についても、海外からの予約は皆無であり、国内客も募集型ツアー商品はゼロに等しい状況にある。
	×	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で欠航便が増加していることで、5月の空港利用者数は前年比7.7%と過去にない低水準となった。しかしながら、緊急事態宣言が解除されてから、航空機の利用者数は増加傾向に転じてきている。利用者が低迷する中で、地域医療を守る派遣医師の足となる航空便を欠航させない航空会社の姿勢に、地域からは感謝の声が上がっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、貸切りハイヤーや観光タクシーの注文、インバウンド客やイベント関係者の利用がほぼゼロとなるなど、状況は悪くなるばかりである。普通タクシーの利用も前年の約半分という状況にある。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大により、タクシー業界では売上が大きく落ちており、今現在も影響が続いている。当分の間は、このままの状態推移するのではないかと懸念している。
	×	観光名所（従業員）	来客数の動き	・3月の時点では、前年比15%程度の利用客があったが、6月は25日時点で約6%の利用客にとどまっている。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・景気は悪い。緊急事態宣言が再度出されると終わりである。
	×	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、輸送量、特に旅客については、数量、金額共に前年から大幅なマイナスとなっており、経営基盤に多大な影響を与えている。
	×	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・住宅産業ではモデルハウスやショールームを訪れる客が大幅に減るなど、来客数が著しく減っている。客のムードも悪く、先行き不透明なことで大きい買物を控えるようになっている。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・今後、所得が減少する可能性が高いと話す客が多くみられる。分譲マンションの商談も以前と比べて減少している。
企業動向関連 (北海道)		家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言の解除後は客足が戻りつつある。4～5月はほぼ閉店状態が続き、受注が低迷したが、6月に入って若干上向いてきた。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・社会全体としては新型コロナウイルスの影響を強く感じるが、通信業界では、リモートやオンライン関係での需要増加が顕著になってきており、3か月前と比較すると、景況感は改善傾向にある。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・緊急事態宣言が解除され、幅広い業種で経済活動が再開されたため、道内景気は外出自粛などが行われていた3か月前と比べればやや良くなっている。ただし、新しい生活様式への対応など、経済活動への制約が残っているため、持ち直しのペースは緩慢である。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス対策での緊急事態宣言が解除されたことで、建設現場が本格的に動き出している。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・関東地方の気温が高めに推移していることで、飲料関連の荷動きが戻ってきている。また、道内産の農産関連品も徐々に動き出し始めた。一方、紙パルプ、建材関連は動きが鈍い。一般雑貨の物流も、経済活動が依然として全体的に停滞しているため、動きが弱い。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上の前年比がほぼ横ばいで推移している。
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・戸建て住宅の4月の着工件数が落ち込んだこともあり、景気はやや悪くなっている。今後の受注も前年より落ち込む可能性が高い。
		建設業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスが経済に及ぼす影響が次第に明確になってきていることで、業種を限定することなく、建設投資の着手延期が目立ち始めている。今後の民間工事の総量に対する危惧も広まってきている。
		建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言解除後も新型コロナウイルスの影響で企業活動が停滞しており、民間企業の設備投資が慎重な姿勢に転じている。6月からの着工予定で仮受注していた分譲マンション建築案件が次年度以降に白紙見送りとなった例もみられる。
		司法書士	取引先の様子	・建築関連業種や不動産仲介業の活動状況が思わしくないなか、新型コロナウイルスによる社会経済への影響が大きくなっていることで、関連業者の動向も落ち込んでいる。景気が悪化していることは確かである。
		司法書士	取引先の様子	・例年と比較して、不動産の売買、建物の新增改築工事の受注が減少したまま推移している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		司法書士	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が大きく、当分、景気の回復は見込めない。不動産取引は、実行するまでに長い時間が掛かることが多いため、営業活動の中断状態が続いたことで、当分の間は低迷することになる。
		コピーサービス業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が徐々に出てきている。設備投資案件の多数がストップしている。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	取引先の様子	・取引先の設備投資意欲がまだ回復してこない。ただし、緊急事態宣言解除後、仕事は動き出しているようである。
	×	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・ここ数か月、前年から約2～3割の売上ダウンとなっている。
	×	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・6月の販売量は前年比プラス1%であったが、3か月前の3月の販売量は前年比プラス18%であったため、景気は悪くなっている。
	×	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により東京への往来が自粛されたことで、新規案件が全く取れない状況にある。
雇用関連 (北海道)		-	-	-
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数は5月で底を打つとみられる。若干ではあるが、飲食や小売では募集を開始している。人を採用しやすい市場になっていることで、介護や建設などの求人も堅調に推移している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・当地は国内でも早い段階で新型コロナウイルスの感染がみられたが、その分、落ち着きも早かった。休業していた店舗もほぼ営業再開しており、影響の大きかった居酒屋では、天候、曜日によっては、新型コロナウイルス感染拡大前の水準まで来客数が戻ったという声も聞く。ただ、残念ながら閉店に追い込まれた店舗もみられる。新型コロナウイルスの影響が余りなかった建設業界では、受動喫煙対策の影響で、特に設備工事の会社が多忙である。
		求人情報誌製作会社（編集者）	それ以外	・新型コロナウイルスへの警戒感が根強く、繁華街にある飲食店やアパレル、小売店、大型スーパー、百貨店などの客足が今一つ伸び悩んでいる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・緊急事態宣言が解除され、往來の制限も緩和されたことで、自粛ムードも徐々に緩んできてはいるが、感染症のリスクが払拭されない限り、雰囲気も含めて状況は大きく変わらない。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数が4月との比較で約3割減少している。欠員対応の求人は辛うじて確保できているが、ここ数か月の状況次第では差止めとなることも懸念される。派遣の依頼もイベント系は4月以降ゼロの状況が続き、販売・販売促進系も減少している。事務系も様子見の状況であり、業績が悪化すれば依頼の取下げが増えることになる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・5月の有効求人倍率は1.02倍であり、前年を0.06ポイント下回っている。
	×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・来所する企業の話聞いてみると、経営維持が難しいとか、一時的に手助けをしてもらえないかなどといった相談が増えている。3か月前よりはそうした傾向が強くなっている。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・5月の有効求人倍率は0.86倍であり、前年を0.19ポイント下回った。今年1月以降、有効求人倍率の低下幅が拡大していることから、景気は悪くなっている。
	×	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・来春の新卒採用について、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、説明会が従来型のface to faceからWeb形態のものに変更されているが、対応できていない企業が想像以上に多い。また、学生側もWebでの対応に慣れていないため、活動量の大幅な減少傾向がみられる。新型コロナウイルスに対する先行き不安から、採用予定数を決め切れていない企業もあり、しばらく混乱は続くことになる。

## 2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
----	---------	-------	-------	----------------

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (東北)		一般小売店 〔酒〕(経営者)	販売量の動き	・3～4月は最悪だったので、それに比べたら今は売れている。
		家電量販店(店長)	来客数の動き	・エアコンやテレビなどの大型商品は、単価も上がり、販売量も前年比120%となっている。特別定額給付金の10万円、それから消費税上げに伴うキャッシュレス決済のポイント還元による需要喚起が効いたとみている。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・在宅時間が増えたため、自宅のインターネット環境を整える人が多くなり、需要が急激に増えている。特にテレワークや、遠隔授業のためにWi-Fi環境がなかった人からの申込みが多い。契約訪問や工事対応も通常に戻ったため、停滞していた工事も一気に進んでいる。
		競艇場(職員)	それ以外	・2月28日から5月31日まで新型コロナウイルスの影響で休業していたため、3か月間の売上はほぼなかった。
		一般小売店〔寝具〕(経営者)	販売量の動き	・二次製品の売上は相変わらず今一つだが、布団の打ち返し等の仕立ての注文は徐々にいただけになっている。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・1人当たりの購入量が増えている。
		百貨店(経営者)	販売量の動き	・前月後半から本格的な営業体制に戻ってきた。来客数は新型コロナウイルス禍前に比べ2割減っているが、自粛解禁の動きからか、高額商品が好調である。少しずつ県外からの客も増えている。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言解除に伴い、客足は戻ってきている。売上は前年比71%まで回復しているが、夜間及び土日の客足は戻っていない。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・3か月前は新型コロナウイルスの影響で外出自粛が始まっていたので売上が大きく落ちた。今は自粛が解けて来客数は戻りつつあるが、まだ完全には戻り切っていない。特にホテル下の店舗はいまだ大きく落ちた状態が続いている。
		コンビニ(経営者)	単価の動き	・来客数は前年並みだが、単価が上がっている。
		コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・来客数は前年比80%台が続いているが、緊急事態宣言解除後は5%以上改善している。特に週末の来客数の回復が顕著である。
		コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・3～4月頃と比べ新型コロナウイルス禍の影響が減少し、来客数が戻りつつある。
		コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・6月の緊急事態宣言解除に伴い、人の動きも新型コロナウイルスによる自粛前に戻ってきているが、まだまだ夜の飲食店等からの客の動きは悪い。
		衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・2～3か月前は新型コロナウイルス感染症防止による自粛で来客数が大幅に減っていたが、少しずつ戻ってきている。
		衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・家庭でくつろぐための安価なリラクシングウェアのニーズが多い。特別定額給付金の使い道に関して気になるところだったが、ショッピングという選択肢は少ないようである。
		衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・仕事が再開するなどの環境下で、スーツやスラックス、ワイシャツなどを買い求めて夏の準備をする客が明らかに増えてきており、何とか今月は上向きになっている。
		衣料品専門店(店長)	それ以外	・新型コロナウイルスでの自粛解除後の反動と給付金特需で一時的に売れているようなものである。
		衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・自粛解除と特別定額給付金により、客の購買モチベーションが一時的に回復している。
		家電量販店(従業員)	販売量の動き	・給付金の支給が始まってから我々も生活必需品の販売を始めているが、それらの購入件数及び金額が上がってきている。
		住関連専門店(経営者)	来客数の動き	・前月までは散々であったが、今月に入り客足が少し伸びてきており、売上も回復の兆しがみられる。学校が再開したことにより、経済活動も少し活発になってきたようである。
	その他専門店〔酒〕(経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言解除から少しずつ商品が動いているが、どの程度まで戻るのが見通しが立っていない。今月は想定よりは売上がありそうだが、予断を許さない状況は続いている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍の影響は前月と比べると幾分落ち着いているが安心はできない。観光客も戻ってきておらず、ギフト需要も思ったほど伸びていない。3か月前と比べて良くなっているようにはみえるが景気は悪い。
		その他専門店 〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、結婚披露宴や部活動大会などのイベントが中止となり、靴の需要が落ちている。
		その他小売 〔ショッピングセンター〕（統括）	来客数の動き	・営業自粛解除後、客足は伸びてきているものの、土産、飲食は前年比50%以下である。多少の上向きはみられるものの、全体的な景気はまだみだである。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・6月の2週目辺りから徐々になじみ客が戻りつつある。しかし、前年比では50～60%であり、厳しい状態が続いていることに変わりはない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによって一時ストップした経済活動が再び動き始めている。まだまだ慎重なようであるが、行政による支援もあり徐々に戻ってきているようである。
		観光型旅館（スタッフ）	販売量の動き	・県の事業として県民限定宿泊助成補助金を実施され、域内需要が微増ではあるが増えている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・ここ数か月、前年比で3～4割減少していた販売量が、6月は1割程度の減少となっている。
		観光名所（職員）	それ以外	・3か月前がひどすぎるという状況で、3か月前のどん底を考えると幾らか良くなっている。ただし、例年と比べると非常に悪い状態が続いている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・3か月前は新型コロナウイルスの発生時期であり、外出自粛等いろいろなことが起こり始めた月であった。それと比較すれば当然改善しており客が増えている。
		その他住宅投資の動向を把握できる者（住宅展示場運営会社）	来客数の動き	・平日、週末の来場者数が向上しており、前年比で約6～7割になっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・集客や客の出入りが厳しい状況は、外出自粛解除後も続いている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる自粛が終了し、助成金が配布されて上向きかと思われたが、再度感染者が出る事態となっているなど、先が見えない状況に左右されている。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	販売量の動き	・全体的に好調な商品が乏しい。3か月前と現在とでベストセラーになっているものがほとんど変わらず、景気を計り切れないというところがある。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・売上は前年比125%となっている。中身をみると、一般医薬品、化粧品、雑貨は前年を下回っており、新型コロナウイルスに関連した商品が動いている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	お客様の様子	・ようやく今月中旬頃から客も様々な対策を講じながら営業を再開し始め、商品の配達も少しずつ出てきている。旅館も県内在住者対象の宿泊キャンペーンの実施などにより動き始めたが、以前の状況にはまだまだ程遠い。
		百貨店（買付担当）	お客様の様子	・通常営業になり来客数は戻りつつあるが、前倒ししたクリアランスセールは思ったほどの盛り上がりがない。一方で先行して実施したなじみ客向けプレセールでは例年どおりまとめ買いが目立つ等、客によって消費動向は分かれている。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・6月は平均1品単価が前年を大きく超えている。ただ、価格強調商品の動きは余り良くない。無駄な買物はしない傾向が見て取れる。来客数も減少傾向が続ぎ、買上点数も前年割れが続いている。良くない傾向が続いている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による来客数増加の状況は落ち着き、以前の状況に戻ってきている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、自粛が解除されても客の動きが元に戻るような気配がなく、3か月前と変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・3月は新規来場が月末に掛けて減少傾向になり、4月以降外出自粛が解除になった5月連休明けまでは前年比50%以下であった。6月は僅かだが来客数は上向き傾向にあるものの、大きくは増えていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後から来客数が増えつつある。また、滞在時間も徐々にではあるが伸びてきている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・6月中旬からランチ営業を再開している。3か月前と比べて、少しではあるが来客数が増えている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・緊急事態宣言が終了し、県をまたいでの移動制限も解除になり、業務のための出張需要が動き始めた。そして、観光需要においては、県内の宿泊需要が動き出す。しかしながら、まだまだ新型コロナウイルスの感染の可能性があるため、広域での観光性需要は発生していない。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスにより来客数、販売が完全に消失しており、雇用調整助成金頼みの状況である。県をまたぐ移動が可能となり人の動きが活発になりつつあるものの、販売業である我々の業界にはいまだ結び付いていない現況である。
		遊園地（経営者）	来客数の動き	・土日はまずまずだが平日が低調である。今月が山場の学校、団体がキャンセル、延期となり、前年を大きく割り込んでいる。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・移動の制限は解除されたが、依然としてビジネスでの出張などは控えられているので低調である。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・戸建て用地供給数は増えているが、賃貸物件、特に飲食店等の解約が増えている。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	販売量の動き	・住宅設備器具販売はエアコン工事が急増している。また、エアコンを中心としたハウスクリーニングも増えている。リフォーム工事は増改築工事が減っている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・健康に対する不安が高まっているせいか客単価は上昇している。一方、来客数は前月に増して低下傾向がみられ、全体としての売上はやや悪い状況である。
		一般小売店〔カメラ〕（店長）	来客数の動き	・来客数は徐々に回復してきているものの、まだまだ売上確保が厳しい状況が続いている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・3月は地域的状況として経済活動面への新型コロナウイルスの影響はまだ小さいものであったが、4～5月の全国的な対応を経て、特に御年配層の方々が外出や消費活動に慎重になっているものと思われ、売上低迷につながっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・5月の売上前期比118%に対して、6月21日現在で同109.7%となっている。良い前提ではあるが、その伸びが小さくなってきている状態である。
		スーパー（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染防止で内食傾向にあったが徐々に通常に戻りつつある。買い置き需要も減り、客単価、来客数は前年割れが始まっている。
		スーパー（営業担当）	来客数の動き	・週を追うごとに来客数の減少がみられる。外出規制の緩和から、外食、観光への関心も増えてきているため、内食需要が減退してきている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・夕夜間の客足がまだ戻らない。この時間帯は特に客単価が高い時間帯なので、売上が上がり苦戦している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・市内のコンビニは皆そうだが、土日に人が動いておらず、あるいは学校行事もないということで人の動きがない。平日はまずまず戻ってきているが、土日の落ち込みがなかなか回復してこない。客数的になかなか苦しい状況である。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大のなか緊急事態宣言で来客数も激減し、ギフト商品も結婚式や葬儀もなく、親族での挙行が増加したため売上減が著しい。
		衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で5掛けだったのが、今月は8掛けまで戻ってきているが、前年確保にはなっていない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3月時点ではまだそれほど景気が悪い状況ではなく受注もそこそ上がっていたが、今月はほとんど受注が上がり、新型コロナウイルスの影響がかなり出ている。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・受注生産品を扱っており、ある程度の受注残があるため生産、納品しているが、受注量の減少によって販売量が減少しているという状況である。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 [白衣・ユニフォーム] (営業担当)	販売量の動き	・相変わらず飲食店、観光地からの注文はほぼなしの状態である。また、いろいろな業種で様子見をしたり購入を控えたりしている様子がうかがえる。全体的に夏物の受注も芳しくない状況で、前年比約2割減で推移している。
		その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除に伴い、ピーク時の落ち込みからは回復しているものの影響は残る。人の移動に伴う燃料需要は、今後の第2波に備え、完全に戻るとはみていない。
		通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・客の設備投資意欲について、よりネガティブな印象を受ける。
		通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で最低限のものしか売れない。また、新規商談ができない。
		観光名所 (職員)	来客数の動き	・営業自粛や県をまたいでの移動制限が解除となったが、いまだ客足は伸びない。新型コロナウイルス感染リスクがある観光施設としては防疫面で全面営業が難しく、問題発生以前のようなサービスを提供できていない。席数も制限せざるを得ないため予約要望に対応できない状態である。
	×	商店街 (代表者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で地元商店街の来街者数は4～5月と大幅に減少したが、6月は緊急事態宣言解除もあり固定客を中心に客入りが増えてきている。しかし、新型コロナウイルス感染の不安感から生活必需品以外の消費は落ち込んでおり景気は悪化している。
	×	一般小売店 [医薬品] (経営者)	来客数の動き	・6月1日から通常営業を復活した飲食店がかなり多くなっているが、人混みがあるのは金曜日と土曜日に限り、その他の曜日は全く人が出てきていない。そして、人の引上げも非常に早く、夜の12時には人が全くいなくなり、店も閉まってしまふ。当店でも来客数がなかなか戻らず、3か月前の約半分がやっと戻ったかという状況である。
	×	スーパー (経営者)	お客様の様子	・緊急事態宣言も解除され、地元でもここ1か月以上、新型コロナウイルス感染者が出ていない。キャッシュレス・消費者還元事業も間もなく終了であるが、駆け込み需要は起こっていない。
	×	乗用車販売店 (本部)	販売量の動き	・緊急事態宣言解除後も、県内市場の落ち込みは戻る気配がない。客足、販売量共に前年を大きく下回る状況である。新車の販売台数は前年比60%と現状かなり苦戦している。収益状況も比例して悪化が著しい。
	×	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数、売上共に悪い。
	×	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・どん底ではあるが、月末に近くなって少しは客の動きが出てきている。ただし、大人数の会もないし、前年の半分にもいかない。また、来月の予約状況も良くない。
	×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・我々のような夜食、夜の商売は新型コロナウイルスの影響がかなり響いており、回復率も30～50%くらいである。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍の影響で人が全く出てきていない状態である。ただ唯一、給料日後に少し客の入りがあったことが希望の光である。
	×	一般レストラン (経営者)	競争相手の様子	・新型コロナウイルスについてはまだまだ未確定要素があるので、県をまたいで仕事や観光をしてもよいとなっても、万が一感染して家庭や会社の取引先までも巻き込んでしまうことがないよう、外食を避ける傾向が続いている。地元客で成り立っている店は回復傾向にあるが、県外客やインパウンドで商売をしていた店は持続できないのではないかと。観光立国はアベノミクスで頑張ってきた図式が崩壊している。
	×	旅行代理店 (従業員)	お客様の様子	・観光業においては新型コロナウイルスの影響で依然として悪化傾向にある。海外需要は渡航制限による出入国規制が解除されない限り、アウトパウンド、インパウンド双方の需要は見込めず、6月も取扱ゼロ状態が続いている。国内需要は都道府県をまたぐ移動が可能となり、個人需要において少しずつ取扱が発生しているものの、需要回復までのレベルまでには到底追い付いていない。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が出ている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルス対策での外出自粛解除後もまだまだ客の動きがみえない。
	x	タクシー運転手	競争相手の様子	・利用客がいないため、市内で営業をしているタクシーの台数が新型コロナウイルス前に戻っていない。気温も30度近くになる日があるが、タクシーの利便性が発揮できない日々が続いている。
	x	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍の影響で飲食業を始め製造業などでも倒産が一気に増加しており、失業者も出ている。食品販売等一部の業種では売上が伸びているところもあるが、全体ではかなり景気が悪くなっている。
	x	美容室（経営者）	お客様の様子	・客の来店間隔が伸びている。
	x	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・医療関係の客から、新型コロナウイルスの影響で市内の病院において経営者が変更になる事案が発生し、拡大しているとの話を聞いた。新型コロナウイルス感染症が早期に収束しなければ、経済的な損失だけでなく、日常生活に必要な機能も失われるのではとの危機感を持っている。
企業 動向 関連  (東北)		-	-	-
		電気機械器具製造業（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響による自粛が始まった当初と比較すると、町にも活気が戻りつつあり、少しずつ景気も良くなっている。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で売上を大幅に落としていたが、ここにきて客や県、自治体の案件が動き出している。
		経営コンサルタント	それ以外	・県外への移動の緩和により人の流動性が高まっており、少しずつ消費を上向かせつつある。
		農林水産業（従業者）	それ以外	・地元温泉旅館のパート従業員から、今月もほとんど仕事がない状況で大変困っているという話を聞いている。
		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・さくらんぼの出荷価格は大幅下落する予想に反して近年にない高値であったが、不作のため収益増加とはなっていない。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4～5月から比べると人の動きは良くなっている。郊外の店舗の売上はかなり回復している。しかし、駅、空港、観光地の店舗は観光客が少ないので売上は半分以下である。19日の県をまたぐ移動自粛解除以降は少しにぎわってきている。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響はあるが、電子部品業界としてはプラス要素とマイナス要素が共存するため、大きな変化にはなっていない。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・客の反応をみる限り、いまだ対面営業しにくい環境下である。
		広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・商店街は日常に戻り、人出も復活しているため、少しずつではあるが消費喚起を促す広告発注も増え始めている。最悪の状態は脱しつつあるが、それでも今月の広告売上は前年には遠く及ばない状況である。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量が前年比で10%ダウンしており、在庫過多の商品も発生している。工場稼働率も下がっている。
		出版・印刷・関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・売上高は3か月ほど前から落ち込んでいる。最大で前年同月比で40%の落ち込みとなっており、6月も前年同月比で20%ほど落ち込んでいる。
		窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・公共、民間需要の減少傾向の中で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、出荷量は低調となっている。
		建設業（従業者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、事業そのものが減少したり、発注手続が遅れたりしていることなどにより、全体的に受注量は減少傾向にある。
		建設業（企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス禍の影響で、客先の設備投資計画が延期や規模縮小、中止となる案件が散見される。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・自粛解除になり、プレミアム付商品券等による飲食業、宿泊業への応援はあるが、客の戻りは鈍く、様子見の状況が続いている。	
	金融業（広報担当）	取引先の様子	・飲食業はテイクアウト頼みから通常営業に戻りつつあり、底を打った感はあるものの、客足は従前の水準までは戻っていない。観光業はインバウンド需要が消えて以降、国内ニーズの捕捉に努めているが、目立った業況改善はまだ見られない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・客は通常どおりに戻りつつあるが、設備投資となると様子をみている状況で商談が進みにくくなっている。受注案件も少なくなってきたおり、金額も小ぶりである。
	×	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され6月からは売上は少し回復したが、他県からの観光客等が回復しないため、前年同月比では半分以下で厳しい。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・イベントが軒並み中止で印刷物の受注が減少している。学校の混乱でP T A関係の印刷物が減少。情報誌を発行しているが広告や求人広告も減少している。
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客からの情報は前月よりも不透明になり、追加の減産が予想されるような状況である。
	×	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が更に広がっている。5月の売上は予想以上に悪く、前年比で20%以上減少している。
	×	公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況から判断している。小売、飲食業、塾経営の客は軒並み悪化。これに対して、一部小売、建設業はこの時期に業績が向上している。相反する状態の客が混在しているが、全体的には悪化している企業が多く、3か月前より景気が悪化している。
	×	その他非製造業 [ 食料品卸売業 ]（経営者）	取引先の様子	・取引先であるスーパーの様子をみても、客が支給された特別定額給付金を使っている様子は見受けられない。客足も余り良いようにはみえず、以前とは様変わりしている。
	×	その他企業 [ 企画業 ]（経営者）	取引先の様子	・セミナー関連の受注数ゼロが続いている。新しい生活様式を拡大解釈しているのではないかといった場面によく出会う。工夫した解決可能策を提案するも、密の一言で片付けられる。行き過ぎた用心がまん延し経済活動の足を引っ張っている。
雇用 関連 (東北)		-	-	-
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・3～4月で求人が終了した企業から求人を頂くケースが増えてきており、案件数が増加してきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同期比で減少しているが減少幅が4割から2割弱へと小さくなっている。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・緊急事態宣言が出されている状況の中では新卒採用、中途採用共に不透明な状況であったが、6月に入って、若干人数は少ないものの新卒採用活動を復活する、若しくは中途採用を開始するという企業が、特に中堅中小企業において増えてきている。当初厳しかったホテル、旅館、飲食業は相変わらず厳しい状況ではあるが、建築や不動産、商社などが新卒採用の活動を継続するという状況になっている。
		新聞社 [ 求人広告 ]（担当者）	周辺企業の様子	・地場企業の広告の動きは鈍いままで、上向く気配がみえない。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で人員調整を図る企業が出てきている。今後、ワクチンが開発されるなど安心して働ける環境にならない限り、この状況が続く可能性が極めて高い。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、求人が減少傾向にある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響が出ていることは間違いない。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材派遣の受注数が7割減と未曾有の減少幅になっているが、新規登録者が増加しているわけではなく、現時点では縮小均衡での負の方向である。
	×	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・外資系企業の派遣スタッフ終了、大手企業のリモートワーク推進により、北日本で支店を展開する必要がなくなってきた。
	×	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響でかなりの数の会議が中止になっている状況は変わっていない。
	×	新聞社 [ 求人広告 ]（担当者）	求人数の動き	・緊急事態宣言解除後、少しずつ地元経済界も動き出してはいるが、求人には至っておらず、5月に続き求人数は半減以下である。特に主要業種である流通、飲食、サービスが戻らず厳しい状態が続いている。
	×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響が広範囲な業種に及んでおり、新規学卒向け求人の減少や廃業、雇用調整の動きが進んでいる。
	×	学校 [ 専門学校 ]	それ以外	・新型コロナウイルスの影響からまだまだ脱却できず、沈滞ムードである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
----	---------	-------	-------	----------------

### 3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)		百貨店（店長） 家電量販店（店員）	販売量の動き 販売量の動き	・来客数がかなり多く、回復している。 ・売上は前年比140%で、来客数は同比120%と好調に推移している。10万円の特別定額給付金の給付と、緊急事態宣言が解除されたが、ステイホームの意識から家で楽しむ家電が売れている。特に、焼肉ホットプレート等の家で食事を楽しむ家電が目立っている。
		住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・単純に3か月前と今月の来客数を比較すると、2けた以上増えている。新型コロナウイルスの感染防止は心掛けつつも自粛意識が薄れてきていることや、特別定額給付金の給付もあり、積極的な来店や購買が目立っている。
		一般小売店〔青果〕（店長）	販売量の動き	・3月半ば過ぎくらいから休業していた、ホテル、式場、飲食店等が、皆営業を再開している。ふだんに比べるとまだまだ戻っていないが、一時期よりは良くなっている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・3か月前は新型コロナウイルスによる影響が顕在化したタイミングで、その頃になれば当然良くなっている。衣料品の夏物セールも2週間近く前倒しでスタートしており、お中元商戦も思いのほか悪くはない。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・今月中旬から、来客数が前年比100%を超えるようになってきている。
		スーパー（商品部担当）	それ以外	・プレミアム付商品券の影響で、一時的に売上、来客数の増加があり、現状はやや良い状況である。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・客1人1人の買上単価をみると、単価の高い商材を買う方が増えている。少し買い控えをやめているようである。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・特別定額給付金の給付があったので、客の購買意欲が高まっている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・給付金や東京オリンピック需要で、やや良くなっている。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・会社関係の販売は苦戦している。購買担当者に確認すると今後の状況がまだ分からないため、無駄な在庫は控えるように指示されている会社が多い。店頭ではパソコン、プリンター、周辺機器等は、働き方が通常に戻った後でも、前年比170%で売れている。家電商材は全体的に好調に推移している。輸入商材は入荷が悪く、厳しい状況である。
		住関連専門店（店長）	単価の動き	・10万円の特別定額給付金の給付に伴い、高額商材の需要が増加している。また、新しい生活習慣としてアルコール除菌やマスク等の商材が好調に推移している。
		その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	来客数の動き	・6月前半は5月からの緊急事態宣言の延長だったので、最悪の状況である。20日過ぎから店の営業ができるようになり、開店時間は短いながら、正常に戻りつつある。東京に近い地域としては、都心との県をまたぐ移動が許可され、客の動きが多くなってきている。また、10万円の特別定額給付金や地域活性化の補助金が給付されたことも、良い結果に結び付きそうである。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・自粛要請の解除が影響し、来客数が増えてきている。ただし、前年並みまでは戻っていない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・少しずつ来店客が戻っているが、まだ元の状態に戻りきっていない。近隣にある複数の工場では、海外情勢の影響で生産が再開できず、依然として休業している人がいるようで、ふだんの外食に対してシビアになっている。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・何となく客足が戻ってきている。ただし、宴会需要は皆無で少人数の飲食が目立っている。
	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	お客様の様子	・事業所給食の提供食数は、影響度に違いはあるものの、ほぼ全ての業種や業態で、新型コロナウイルスの影響がある。5月の業績が大きく落ち込んだのに対し、6月に入ってからは、徐々に改善されてきている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・県の「宿泊応援キャンペーン」により、宿泊予約客が戻り始めている。ただし、売上はまだ微々たるものである。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・6月19日に、県をまたぐ移動制限が緩和されたので、不十分ではあるものの、観光客の来訪数は増えている。ただし、日帰り客が多く、宿泊利用者はまだこれからといった動きである。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・4～5月の新型コロナウイルスの影響の反動で、不動産管理会社、新築戸建て案件の入居数が増加傾向にある。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・販売量は前年同月並みに回復してきている。
		ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が解除され、人の動きが出てきたため、来場客が増加してきている。
		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・新規分譲並びに在庫分の土地仲介への問合せが多くなり、幾つかは成約に結び付いている。2月以降、問合せが皆無だったが、成約物件が増えてきている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・大型店は少し動きが出てきたようで、駐車場も埋まってきている。中型店、小型店は客が余り増えていないようで、近隣の1店舗が閉店した。採算が取れないのだろうと思うが、一般の店も同じように、経費がかさんで倒産となるのではないかと。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除を受け、食品フロアのみ営業から全館営業へと戻っているものの、顧客の消費行動は依然慎重であり、前年水準までは程遠い状況は変わらない。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・市外や県外の客が少しずつ増えているようである。しかし、まだまだ本来の様子とは違っている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・1日当たりの売上は前年比92%、4万2000円のマイナスである。来客数は同比89%、80人のマイナスとなっている。3～6月は新型コロナウイルスの流行から、売上はずっと悪い。しかし、緊急事態宣言解除後は戻ると予想していたところ、生活様式の変化、リモート勤務の影響か、来客数の落ち込みが戻らない。特に、夜8時以降の来客数が戻っていない。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・前月同様、軽自動車中心の販売台数である。また、比較的価格の低い中古車も客からは求められている。救いは車検制度があることで、お陰で整備売上はほぼ安定している。
		乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスのせいで、本当に必要最小限の客しか来ない。前もって約束している車検や点検等での来店である。今まではどこか調子が悪いということでも来店する客もいたが、そういう客はほとんど来ない。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車販売は補助金や給付金等の給付もあってか、やや動きがみられ、2～3か月前と比べてやや良くなっている。一方で自動車の稼働率が下がっているため、修理、来客、その他附属品の取付け等はかなり低迷しており、この先どうなるかが読めない。
		都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・ビジネス客は少しずつ戻ってきているが、現状は少ない客の取り合いになっており、破格な料金を提示する安価なホテルに流れる傾向が強い。レストランは、再開のめどは立ったものの、新型コロナウイルス感染予防対策への準備に追われている。
		競輪場（職員）	販売量の動き	・ナイター競輪を無観客で開催した。初めてなので比較ができない状況だが、ほぼ他場と同じような売上を記録している。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・とにかく物が動かない。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、外出や旅行がなくなり、新しい洋服を買う機会も少なくなっている方が多い。
		その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・販売量がかなり減少し、受注も減少傾向である。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、先行きが不透明である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		美容室（経営者）	来客数の動き	・5月25日に緊急事態宣言が解除された後は、徐々にではあるものの、客足が戻りつつある。ただし、前年同月比3割減と依然として厳しい。新型コロナウイルス感染症対策支援事業費は、市町村によって優遇にかなりの隔りがある。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が始めた頃から、低下しているようである。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・自粛解除になり、多少は人がカメラの撮影や絵を描きに郊外に出掛け始めている。ただし、感染拡大への不安もあるようで、大半の人は外出を控えており、商店街への入出は全くない状態である。
	×	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響がものすごく出ている。当店の客は高齢者が多く、身の安全を確保するため外出を相当控えており、年金支給月であっても本当に外に出てこない。10万円の特別定額給付金の給付があったとはいえ、全体的な客の外出や動きが本当に鈍い。
	×	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・当店の客の中には、観光地で民泊をやっている客がいるが、ほとんど全てと言っていいほど、個人経営の民泊、旅館が閉鎖している。有名観光地付近で、ホテルのメンテナンス、クリーニングをやっていた最大の会社が、新聞記事にもなったが、かなりの負債を抱えて倒産している。今後は相次いで、ホテル、物産、ドライブイン関係の、倒産や閉鎖が随分出てきそうである。景気は悪い方に進んでいる。客の様子をみても、とにかく活気がない。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・今月から店を再開したが、依然として来店客数が少ない。
	×	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・今月19日に県をまたぐ移動の自粛制限が解除され、首都圏の客が増えてきている。しかし、地域によって来客数はかなり差がある。新型コロナウイルス感染予防対策のため、意図的に宿泊客数を減らしている事業所もあるのが現状である。第2波への恐怖もあり、6、7月は非常に不透明である。
	×	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・東日本大震災のときよりもひどい状況である。休業要請があっても休業補償がなく、最悪である。
	×	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・ホテルの集客については、緊急事態宣言解除もあったが、稼働はなかなか戻らない状況であり、低迷している。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・相変わらず客が少ない。雇用調整で、稼働台数を3分の1に減らしても、1台当たり2万円の売上が良いところである。7月も稼働台数を調整する予定であり、地方では、この状態がしばらく続きそうである。雇用調整助成金は2～4月の平均で日当が決まるらしく、人によって違うが1日3000円ぐらいである。
	×	タクシー（経営者）	お客様の様子	・全体的に人の動きが悪く、前年同月比51%の減少である。
	×	タクシー（役員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響と国の政策が悪過ぎるため、悪化している。
	×	通信会社（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響は、飲食や観光だけでなく印刷やデザイン業界等、広く影響を及ぼしている。
	×	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されたものの、県をまたいでの移動自粛の影響が強く、来園者数が激減している。
	×	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・メンテナンス主体の整備工場で自動車販売も行いながら保険、板金塗装、車検を展開しているが、厳しい状態が続いている。特に、新型コロナウイルスの影響は板金塗装部門に顕著で、不急不要の外出自粛が影響し、前年比マイナス40%と大きく落ちている。
	×	設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急事態宣言が解除されたとはいえ、いまだ客足は戻っていない。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、特に飲食業が厳しい状況になっている。倒産も出ており、撤収等もあり、貸店舗がかなり増えてきている。アパート関係はそれほどでもない。事務所関係については、地方のため、皆撤収して本社に戻っており、貸事務所の空室が目立ってきている。今までにない大変悪い状況が、現在進行している。
企業動向関連		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・特別定額給付金の効果により、今月は通販、家電量販店の夏物商材、エアコンやサーキュレーター、4Kテレビ、冷蔵庫等、大幅な物量確保となり、前年の25%増の輸送量で、大変良い実績となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
(北関東)		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・工場の稼働を止めていた取引先も、徐々に稼働を再開している。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響も受けず、前年並みの売上で推移している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が、部品や生産等に及んでおり、3か月前と余り変わらない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、自動車販売が前年比マイナスのまま変わらない。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・飲食店、商店等で、少し人出が戻っているところもあるが、依然として新型コロナウイルスの影響があり、良くなるには程遠い。中小製造業、下請企業等の業況はまちまちであり、まだしばらく不透明な状況が続く。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・考えていたよりは余り落ち込まず、推移している。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月に入り、徐々に引き合い、商談件数が増えている。
		食料品製造業（経営者）	取引先の様子	・経営する不動産賃貸部門では、飲食業から賃下げ要求や撤退の話合いがある。
		化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注が回復せず、7月の生産は大きく落ち込むことが予想される。大手企業関連の生産活動が1日も早く回復することを祈る状況で、やや悪い。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の様子や話を聞くと、8月過ぎから9月頃には仕事が多くなるとのことで、今、見積関係の問合せはたくさん来ている。ただし、実際に受注されてみないと分からない。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年比で4月の売上は半分、5～6月は半分以下である。7月も現状、半分がそれ以下といったところである。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・5月は前年同月比4割減だったが、6月は同比2割減ぐらいまで持ち直してきている。余り景気が良いわけではないが、最悪は脱したような気はする。ただし、まだ予断は許さない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・受注量、販売量、競争相手や取引先の様子、全てが新型コロナウイルス発生以来、悪くなっている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事はともかく、民間の発注が少ないと感じている。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・建物の維持管理作業では、法令に基づく点検、作業は、多少の延期はあるものの中止は減ってきている。相変わらず、医療や介護関連施設の清掃作業は中止が多い。
		社会保険労務士	取引先の様子	・製造業でも一部休業する部署が出てきたり、長めの夏休みを取る事業所も出てきている。
	x	建設業（開発担当）	それ以外	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現政権誕生後、公共工事は順調に推移している。今期は新年度4月は新型コロナウイルス禍のなか、公共工事発注は前年比81%増と経験したことのない発注であるが予算は前倒しだとみている。年間を考えた場合、平準的に発注した方が良いと思うが、これもコロナ禍の影響が出ているためだと思われる。当社受注も前年比10%増と有り難いが、年間を考えた場合、先行きが心配である。
	x	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・取引先ホテルの5月の宿泊、レストラン売上は前年比30%とのことである。それでもエリア内の競合ホテルよりは良い方だという話である。
雇用 関連  (北関東)		-	-	-
		-	-	-
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・お中元商戦等や配送関係で人員等の確保があり、製造加工等も機械関係の一部や食品関係の募集が活発さをみせている。依然として、看護職、介護職はわずかではあるものの、募集がみられる。今後については不安が隠せないところである。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・6月に入り、製造業関係の事業所から、取引先の受注量減少やキャンセル等による休業等の実施の話が聞かれる。合わせて求人も減少している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・11月から新規求人数は減少傾向にあるが、前月は前年同月比マイナス41.3%と、全産業でマイナスとなっている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言が発出され、外出自粛や事業所の休業等、先行き不透明な状況で、求人そのものを検討する事業所が増加したためと思われる。
	×	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・当社の主要な取引先は宿泊施設なので、新型コロナウイルスの影響がある。今は宿泊施設も稼働し始めているが、全く稼働していなかったこともあり、当社の仕事はまだ元どおりには程遠い状況である。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・前年同期比で、派遣受注が半減している。今後の見通しが立たない状況では、なるべく既存の人員で業務を調整する派遣先が多い。
	×	人材派遣会社（管理担当）	周辺企業の様子	・取引先より休業要請があった。取引先の周辺企業も同様で、悪くなっている。
	×	学校〔専門学校〕（副校長）	採用者数の動き	・例年と比べ企業からの求人数が減り、採用控えが顕著である。

#### 4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (南関東)		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除されて、ファッション系フロアが再開し、それに伴い食料品もかなり戻ってきている（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	それ以外	・3か月前の3月は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、催事の中止や変更、その後の緊急事態宣言につながる外出自粛要請もあり、売上に大きく影響のあった時期である。今月は緊急事態宣言の解除を受け、来客数も回復傾向にあり、3か月前との比較では良くなっている。
		スーパー（ネット宅配担当）	販売量の動き	・折込広告やポイント販促の自粛を継続している。前月よりは売上が減ったものの、依然として前年比を高水準で上回っている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、徐々にではあるが販売が戻ってきている。冷凍食品やチューハイなどは前年と比較しても継続的に前年の販売を上回っている（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年比140%、売上は135%、婦人アウター、肌着、靴下等まんべんなく売れている。それに加え、冷感マスクの需要が出てきている。年金と特別定額給付金10万円、外出自粛の解除等が追い風になっている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・特別定額給付金効果なのか、季節商材の売行きが良い。買いに来る人も前年に比べて増えている（東京都）。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言に伴う外出自粛が緩和されたからか、自動車を見て回る客が増えている。
		ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言に伴う外出自粛が解除になり、客の動向が活発化しているように感じる。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で5月までは売れなかったが、緊急事態宣言に伴う自粛が解禁されたことと、暑さが戻ったことにより、エアコンが売れている。
		一般小売店〔傘〕（店長）	来客数の動き	・人通りは少ないものの、買物をする客足は戻りつつある。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響での休業後、5月下旬より時間短縮で営業を再開した。来客数は前年に比べてマイナス20%となっており、全体の売上も同様に推移している。来店客は買物リベンジという趣もあり、客単価は高めである。本格化してきたお中元商戦は、EC部門が120%以上に伸長し、全体を底上げしている（東京都）。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・3か月前は新型コロナウイルスの影響で通常の営業ができていない状態であったため、それに比べるとやや良くなっている。しかし、今月も前年と比較しようもない状態であることには変わりがない。現状の動きも、食料品等の生活必需品が中心であり、衣料品、雑貨関係の動きは鈍い。客の消費行動や意識自体が、過去のものとは違っている（東京都）。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・来客数は前年比で大きくマイナスだが、売上は来客数ほどマイナスになっていない。客1人当たりの買上額が前年比で高くなっており、購買目的の客の来店が多いようである（東京都）。
		百貨店（広報担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス収束の兆しが見えず、感染者の拡大傾向に歯止めが掛からなかった3月に比べれば、足元ではマインドに幾分改善傾向が見える。しかし、本質的には外出を控える傾向に変わりはなく、消費の力強さには欠ける（東京都）。
		百貨店（広報担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、10万円の特別定額給付金によるリベンジ消費がある。一時的な需要の回復ということも十分考えられる（東京都）。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、全館営業を再開している。来客数は前年を割っているものの、購入点数と客単価が前年を上回っているため、売上は前年実績を確保している。営業再開したアパレル関連もセールを前倒しで実施し、売上を確保している（東京都）。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・3か月前と比較すると改善してきている。インバウンドの売上はほとんどないものの、国内消費に限れば良くなってきているという実感がある（東京都）。
		百貨店（店長）	それ以外	・緊急事態宣言を受けて休業をしていた。営業再開後、少しずつ客足が戻ってきているが、思いのほか他府県からの戻りが鈍く、先の見通しが立ちにくい（東京都）。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による休業後、営業を再開し、現在クリアランスセールの真ただ中であるが、来客数は7掛けにとどまっている。理由は、同じ館内にあるオフィスのワーカーがほぼテレワークのまま戻ってきていないことと、客はいまだに密を恐れ、来店する気分ではないからではないかと推測している（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	販売量の動き	・5月14日より営業範囲を拡大し、5月27日、6月24日より順次営業時間も延長したことで、特に6月10日以降は来客数が前年の近似値となっている。営業機会の拡大とともに消費者の動きも活発になっている。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・4～5月のように、前年を若干下回ったような状況から、今月は衣料、住まいの品、食料品について1割ほど売上が伸びている。自粛型、在宅勤務型の消費ということで、部屋着や食料品の売上が良い。来客数は前年並みだが、1人当たりの買上単価が1割ほど伸びている。
		スーパー（販売促進担当）	単価の動き	・来客数は横ばい傾向だが、買上点数、買上単価が2割伸びている。新型コロナウイルスの影響により、買物の回数を減らしているため、まとめ買いが増えているのではないかと。また、家にいる時間が長くなっていることにより、菓子、飲料、冷凍食品が好調となっている。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響で、多少単価が上がっている。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数はまだ前年比100%程度だが、緊急事態宣言解除後の人の動きが戻ってきている。客単価は107%と好調である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響があるため何とも言えない。少しずつ来客数は戻ってきているものの、訪日外国人はまだ戻ってきていないので、景気が良くなってきているとはまだ言えない。
		コンビニ（商品開発担当）	販売量の動き	・買上点数が確実に増えてきており、来客数も徐々に戻ってきている（東京都）。
		衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・緊急事態宣言で外出を自粛していた人の外出、買物が増えたことによって、来客数が増加している。
		衣料品専門店（役員）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されてから、客足が徐々に戻ってきている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・エアコンは、在宅勤務と夏日の影響で前年比150～180%以上で推移している。冷蔵庫も好調に伸びている。パソコンと周辺機器は、在庫不足の解消により実績が上がっている（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・緊急事態宣言に伴う外出自粛が緩和され、来客数が増えてきている。前月は前年比85%程度であったが、今月は前年比100%弱くらいまで回復している。単価も前年より高めで推移している。家電販売は特別定額給付金の影響もかなりある。
		家電量販店（経営企画担当）	販売量の動き	・6月に入り緊急事態宣言が解除され、休業していた店舗も時短営業で再開し、国内需要の数字は回復している。ただし、新たな生活スタイルを模索する月間となっており、趣味趣向性の高い商材はいまだに動かないが、テーマ性のある商材は活発に動いている傾向にある（東京都）。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で客の動きが鈍化していたが、ここにきて多少購買意欲が出始めている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・6月に入り、来客数がかかなり増えている。4～5月の客がまとめて来店しているような状態である（東京都）。
		その他専門店 【貴金属】（統括）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業を自粛していた。6月から営業を再開したことにより、販売量は前年を下回っているものの、3か月前と比較すれば良くなっている（東京都）。
		その他専門店 【ガソリンスタンド】（団体役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言解除に伴い、来客数、販売量共に戻りつつある。ただし、前年比ではマイナスが継続しており、大局的には景気は悪化している（東京都）。
		その他小売 【ショッピングセンター】（統括）	販売量の動き	・業種によって様々である。映画は極端に悪く、戻っていない。サービス業、飲食店も前年にはとても届かない。物販は外出自粛の反動から金額的には好調だが、中身が在庫品の処分なので、テナントの利益には結び付いていない。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・外出自粛の解除後から昼の店内飲食は戻りつつあるが、夜はまだまだ少ない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されてから、夜も客が大分戻ってきているが、企業の集まりなど団体の宴会はまだ入ってきていない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・営業自粛要請が解除されたことにより、輸入卸部門は幾分取引先からの注文が戻ってきている。飲食部門も来客数、売上共に戻ってきているが、いまだ前期にはほど遠い売上額である。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響でいまだに厳しい状況だが、3月を少し超えるくらいの稼働になっている。しかしながら、競合ホテルがボトム料金の設定を下げて販売しているため、単価は非常に低い。
		旅行代理店（販売促進担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う自粛が解除されて、客からのリクエストが少し動き出している。その結果、少しではあるが、販売にプラスが生じている。当然のことながら国内旅行、更に言えば個人旅行の話である（東京都）。
		タクシー運転手	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、客の動きが戻りつつある。特に、病院の送り迎えが午前中に集中している。会社からのオーダーも少しあり、本来の仕事ができるようになってきている。
		タクシー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの拡散前には遠く及ばないが、4～5月頃よりは大きく改善している。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、数か月前の案件を受注し始めている（東京都）。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・SIMを販売する量販店や小売業が順次営業を再開したことにより、SIMの販売数が戻りつつある（東京都）。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・出社の制限が解除されて、営業活動も徐々に元に戻りつつある。それに伴い、客からのサービスへの問合せも増加してきている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の解除以降、徐々に契約数が戻りつつあり、営業や工事関係者が訪問することに対する警戒心も相当下がっているように感じる。
		通信会社（管理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染防止のため営業を自粛していたが、マスク着用で6月中旬より再開し、従来の8割程度まで回復している。新型コロナウイルス感染症への懸念を漏らす客が5%程度いるが、おおむね問題は無い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		競輪場（職員）	来客数の動き	・3か月前が悪過ぎたので、徐々に人が戻ってきているという印象である。6月6日から客を入れて車券の販売を始めた。新型コロナウイルス対策で、マスクや消毒液、体温管理、席数の削減などの手間ひま、経費が掛かる。正直なところ、客がたくさん来場しても対応に困る部分もあり、複雑な心境である。
		その他レジャー施設〔総合〕（広報担当）	来客数の動き	・6月から段階的に営業を再開しているため、徐々に来客数は増えている。その点では3か月前より良くなっているが、人数制限などを行っているため、回復したとはいえない。イベントの開催もまだできない（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・展示場に来場する客の内容が良くなっている。
		商店街（代表者）	それ以外	・景気が上向きか下向きかについて、「変わらない」というのはかなりの高評価だと思ってほしい。景気が落ち始めた3月の状態に戻りつつある。3月後半から急降下し、地獄の底だった4～5月に比べれば大分回復している。クレジットカードの取扱高も大分戻っている。リベンジ消費もある。ただし、飲食はまだまだ厳しい（東京都）。
		一般小売店〔和菓子〕（経営者）	それ以外	・店頭販売は徐々に回復してきているが、取引先からの発注はほとんどが半分以下である。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	販売量の動き	・キャッシュレス決済の5%還元セール最終月ということもあり、需要はそこそこあるが、商品の欠品が多く手配が大変である。自粛生活が終了したこともあり、細かい仕事の問合せが集中し、手間取っている。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・県の緊急事態宣言解除を受け、6月は月初から全館営業ができてきているものの、営業時間の短縮を継続したことなども影響し、前年と比較して来客数が大きく落ち込んでいる。セールの前倒し等が功を奏し、服飾雑貨、婦人服、紳士服等には堅調な動きがあるものの、近隣大型商業施設のオープンに伴い、デイリーの食品及び高額商材が大きくマイナスし、全館で苦戦している。
		スーパー（販売担当）	単価の動き	・競合との価格競争もあり、平均単価が下がる傾向にある。客は、前年を上回る点数を買ってくれているが、平均単価が下がっている分、客1人当たりのトータルの買上額がなかなか前年を上回らない状況が続いている（東京都）。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・ここ数か月、来客数は前年割れ、単価、点数は上振れという状態で推移している。外出自粛も解除されているが、今までの状況とは明らかに違う（東京都）。
		スーパー（店員）	それ以外	・緊急事態宣言が解除され、客の購買についても従来どおりに戻りつつあるが、外食よりも内食傾向が続いているため、生鮮食品や米等の商材の動きが良い。
		スーパー（営業担当）	単価の動き	・消費者の内食化傾向はまだ続いており、食料品並びに生活必需品の売上は堅調である。来客数はそれほど変わらないものの、販売点数が伸びており、前年比で7～8%ほど上向いている（東京都）。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・このところの客の動きはよく分からない。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数が週末にかけて増えている。自宅の近くに出掛けるので、食品などの買上点数が増えているのではないかと。
		衣料品専門店（営業担当）	販売量の動き	・前月25日から当ショッピングセンターも2か月間の休業を経て、営業を再開した。当初は、前年の半分もいけばよいだろうと思っていたが、客のコロナ疲れやストレス発散で、前年比70%までいくことができた。持続化給付金等がなければもたなかった経営も何とかなっているが、懐事情は厳しく、借入れをかなり増やすことになった。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・緊急事態宣言に伴う自粛は解除されたが、市場には大きく反映されておらず、景気はまだ上向きにはなっていない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車整備は順調に入ってきているが、販売は前年度比で5割減となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、乗客数がやや増加してきているが、メーカーからの新車供給が遅れており、なかなか納車できない状態が続いている。
		乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・自動車整備については、新型コロナウイルスの影響で思ったより需要が伸びないが、車検は期日が来れば必ず整備をしなければならないので、大きくは変わらない。新車については、展示会などを開催できないので、やや悪い。そうしたことが今後も数か月は続くのではないかと(東京都)。
		その他専門店 [ドラッグストア] (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルス関連商材の売上が前月に比べて落ち着いてきている。薬局は処方箋枚数や売上共に減少しているが、ドラッグストアは前年比ではまだ好調といえる。
		その他専門店 [ドラッグストア] (経営者)	販売量の動き	・販売量の動きは、前月よりは幾らか良いようだが、単価的には低下傾向にある。商売柄、品切れの商品が多いので、早くこれが回復できればと思っている。
		その他専門店 [雑貨] (営業担当)	販売量の動き	・6月1日より営業を再開したものの、25日までの対3月比では来客数が80%減となり、客足は戻ってこない。テレワークや時差通勤などの影響からか、ピークタイムだった夜の時間帯に店舗前の通行量が大きく減少している(東京都)。
		その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	お客様の様子	・緊急事態宣言解除後、客の動きは活発化しているが、先行き不安を払拭できておらず、不安定な状態が続いている(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・3か月前と比べれば客足は多少良くなってきているが、ケータリングなどは一切入らず、売上も店内のみなので、3か月前と大して変わらない。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ランチは通常時の8割、夜は2割の客足であるが、少しずつ戻りつつある。隣のラーメン店では時間により行列も見かける(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・3か月前の3月1~26日までの前年比は、売上56.7%、来客数54.6%である。今月6月1~28日までの前年比は、売上62.3%、来客数57.0%である(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・営業自粛解除により4~5月のような売上の減少はなかったが、3か月前の3月と比べると売上はほぼ横ばいである。ただし、心理的にはこれから良くなるようには見えない(東京都)。
		旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・ツアーの申込数が伸びない(東京都)。
		通信会社(経営者)	販売量の動き	・余り変わらないように感じる(東京都)。
		通信会社(社員)	お客様の様子	・スポンサーの引き合いが出てきている。次の準備なのか分からないが、資金の回転が良くなったとは思えない(東京都)。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・新規加入、コース変更共に、必要最低限にして無駄は省くという意識を相変わらず強く感じる。
		通信会社(経理担当)	競争相手の様子	・累計加入者数の純増がほぼプラスマイナス0で推移している。対面式の営業が中心であったため、世の中の状況に合わせて販売方法を変更していく予定である。当社は、光ファイバー網がないため、インターネット接続の通信速度と携帯電話とのセット割引に価格で負けている。
		観光名所(職員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの関係で3か月前とほぼ変わらない。今後、収束に伴い旅客が増えることを期待している(東京都)。
		ゴルフ場(経理担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染防止のため営業を自粛していたゴルフ場も、6月に入り再開しているが、引き続き営業施設の一部閉鎖、時短営業の対応を余儀なくされ、業績回復の見通しは立っていない。
		パチンコ店(経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除後から来客数がやや復活しているものの、その後の動きは鈍く、横ばいの状態が続いている。
		その他サービス [保険代理店] (経営者)	販売量の動き	・生活に必要な商品であるとの考えで、新型コロナウイルスの影響もあるものの、買い控えは余りみられない。景気動向にある程度の慣れを感じる。
		設計事務所(経営者)	お客様の様子	・3か月前というと、新型コロナウイルスの影響で在宅勤務を命じられていた頃であり、年度替わりでもあったが、仕事内容としては現状も全く変わらない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・今月に入ってから計画等の話が多少入ってきてはいるが、今のところ話のみで、先へ進むかどうかは不明である（東京都）。
		設計事務所（職員）	それ以外	・影響を受けにくい業界なのかもしれないが、今後の状況を注視する必要がある（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・3か月前と比べて大きな変化はない。投資用不動産は新型コロナウイルスの影響を余り受けていない。地価が下がると予想していたが、変わらず推移しているので、仕入れを再開していく予定である。
		その他住宅〔住宅資材〕（営業）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で建材需要が落ち込み、上向く様子がまだみられない（東京都）。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が今後いつまで続くのか分からないため、商店会では今年1年間の会費を徴収しないことを決定した。加盟店の負担を少しでも軽減し、店が継続できることを願っている。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で自宅待機になり、家の中を整理したことで、幾らか客が来るかと思っただが、ほとんど効果はない。来客数が非常に少なく、景気は悪い（東京都）。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	販売量の動き	・今月の売上も新型コロナウイルスの影響に左右されることが多かった。休業要請が解除され、広い文具売場を持つ大型店舗が営業を再開したためか、当店でのもつめ買いの客も減少し、その結果、売上が若干減少している。また、自宅でのテレワークが当初に比べて減ったことにより、自宅の近隣文具店での購入が減り、これも客単価低下の要因でも考えられる（東京都）。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	お客様の様子	・店頭販売は、緊急事態宣言が解除されてから、徐々に客足が少なくなっている。一番大きいのは、外商部の大型案件が全てストップしてしまったことである。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	来客数の動き	・客足は徐々に戻ってきており、売上も徐々に戻る見込みだが、イベントの売上がなく、全体的には売上は減っている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響を大きく受け、商業施設への入館客数、売上共に大きく減少している。ほとんど営業ができなかった前月、前々月に比べれば回復し始めているものの、3か月前の水準には届いていない（東京都）。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・3～5月は良かったが、6月は少し落ちてきている。来客数が大きく減り、客単価で何とか売上を維持している状態で、状況が大分変わってきている。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・客単価が落ちてきている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は前年比97.6%で推移しているものの、買上点数、単価は前年を上回っているため、売上は何とか予算達成という状況である。3か月前と比べると、新型コロナウイルスの影響が少しずつ薄れてきて、こういっては何だが、コロナ需要の勢いが鈍り、売上が少しずつダウントレンドになっている（東京都）。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で仕事がないという人が多い。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が出ている（東京都）。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除後も夜間の来客数が伸びない。外出自粛中の生活リズムに慣れたのか、特に午前0時以降は全く来店客がなく、24時間営業が困難になっている。
		住関連専門店（統括）	来客数の動き	・緊急事態宣言に伴う外出自粛の影響で来客数が激減し、それに伴い売上も半分以下で推移している。
		高級レストラン（営業担当）	来客数の動き	・当月の売上は前年比20%と大変厳しい。特に、大人数での宴会、婚礼を柱としている当社にとっては、死活問題となっている（東京都）。
		高級レストラン（仕入担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う営業自粛から、6月1日に営業を再開したが、個人客の利用がやや戻ってきた程度で、まだ法人利用はほとんどなく、かなり厳しい（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般レストラン（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大による影響が大きい。緊急事態宣言は解除されたものの、客の行動感覚はまだまだ自由ではないので、外食を利用する人は少なく、当社では65%程度の回復にとどまっている（東京都）。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス対策でテレワークが増え、会社関係の宴会がゼロになり、復活していない。さらに、会社によっては外での飲食禁止というところもあるらしい。今まで半分近くがそうした会社関係の需要であったため、来客数が激減している（東京都）。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	販売量の動き	・社員食堂など単価制営業店は新型コロナウイルスの影響で多くが一時閉鎖し、全く売上が立たず、固定費が回収できない状況である。閉鎖店舗は50店程度あり、収益に大きく影響している（東京都）。
		タクシー運転手	お客様の様子	・テレワーク等でいつも乗ってくれていた社員が乗らなくなっている。また新たに客を探している（東京都）。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により、こちらからのアクション営業は自粛を継続中だが、客からの問合せによる営業は、継続して一定数がある。しかしながら、例年同時期よりは低下傾向で、3か月前との比較でも低下傾向になってきている（東京都）。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・テレワークの影響で自宅でインターネットを使用するボリュームが高まり、当社の通信環境がひっ迫したことで、客からの苦情が増えた。それにより解約が増加し、営業自粛とのダブルパンチで、純増数が激減してしまっている（東京都）。
		通信会社（経営企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で終了する案件が増加している（東京都）。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、訪問営業機会の減少等から、新規契約獲得件数が減り始めている（東京都）。
		その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	販売量の動き	・3月はまだ良かったが、4～5月は最悪で、6月も若干客が増え始めているが、客足が悪い（東京都）。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・民間案件は新型コロナウイルスの影響が大きいので、非常に厳しい。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・展示場来場者数、現場来場者数共に以前の水準には程遠く、見込み客が増えない状態が続いている。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響で、対面での相談がほとんどできないので、相変わらず厳しい状況が続いている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症が発生する以前と比べると、商店街の通行量は4～5割くらいに回復しているが、それでも非常に少ない。来客数も比例して減少しており、なかなか来店してもらえないような状況が現在も続いているので、このままだと大変厳しい。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で取引先の仕事量が減っており、交換や設備投資などの話が止まってしまっている。まだ入ってこない商材もあるので、どうしても先延ばしになってしまう傾向があるようである（東京都）。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	来客数の動き	・ソーシャルディスタンスがある限り、以前の売上には届かない。
	×	一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・当店のような業種は、必要な時には必ずオーダーしてもらえるのだが、どちらにしても客が来店しない。外出を控えているのか、それとも今この時期に会社を作るという客が少ないのか、どちらかではないか。
	×	一般小売店〔祭用品〕（経営者）	来客数の動き	・若干動き出したが、夏のイベント、祭事の中止が響き、受注がない。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響か、来客数も売上も減少している（東京都）。
	×	一般小売店〔米穀〕（経営者）	お客様の様子	・客の購買力が低下しており、先行きを考え過剰に堅実になっている（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般小売店〔生花〕(店員)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症が発生してから、花屋は全然駄目である。お祝いの花束もほとんどない。今月は少しは良いかと思ったが、まだ全然である。発表会なども行われていないようである(東京都)。
	×	一般小売店〔茶〕(営業担当)	販売量の動き	・今更いつまでもなく、販売数は全然伸びず、注文もない。従業員は交代で休んだり、半日で帰ったりしている状態である。イベントなどもなく、販売ができない(東京都)。
	×	百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・お中元などのギフト商戦に関しては、オンラインストアへの移行で健闘しているものの、店頭については営業自粛前の状況とは比較にならないほど厳しい状況が続いている(東京都)。
	×	スーパー(経営者)	来客数の動き	・6月に入り、天候の影響もありそうだが、来客数が減っている。
	×	スーパー(仕入担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスは収束を見せず、家で食事、飲酒をする家庭が多く、買物頻度が落ちて来客数は減っているが、客単価は上がっている。小麦粉、パスタ、デザート類の品薄状態が続いている。
	×	衣料品専門店(店長)	それ以外	・当社が扱う主力商材はオケージョンに関するものが多く、緊急事態宣言解除後も、式典等のイベントが通常に戻らないため、6月の売上も前年同月比60%減にて推移している(東京都)。
	×	乗用車販売店(店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響がまだ残ってはいるが、上向き傾向ではある。販売量や来客数は5月と比べても増加している。
	×	その他小売〔生鮮魚介卸売〕(営業)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響は一体いつまで続くのか。このままでは持続化給付金をもらっても間に合わない(東京都)。
	×	一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・3月ももちろん良くなかったが、少しずつ戻ってきている。ただし、新型コロナウイルスの影響がまだ強いので、来客数や販売量に限らず、全てが悪い。
	×	一般レストラン(経営者)	お客様の様子	・日本では新型コロナウイルスは収束に向かっていると言われていたが、飲食業としては夜の客、特に団体客が現状では戻ってきていない。
	×	都市型ホテル(経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、街中には客足が幾らか戻ってきているが、当館は近隣の大型コンベンション施設が全く稼働しておらず、宿泊客の動きがほとんどないため、現在宿泊部門は休業している。アウトレット等もオープンしたが、客足は鈍い。当業界は回復が遅れ、最後になるのではないかと日々持ちこたえられかどうかが非常に心配している。
	×	都市型ホテル(支配人)	来客数の動き	・団体や宿泊研修の利用、宴会などの会食利用は全てキャンセルで、売上が立たない。
	×	都市型ホテル(スタッフ)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、3月の売上と比べると激減している。
	×	都市型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・5月一杯ホテルを全館で休業していたが、緊急事態宣言の解除を受けて、6月からようやく段階的に宿泊やレストランを再開している。ただし、開店休業状態が続いており、入っていた予約もほぼキャンセルとなり、売上が立っていない。3か月前より一層自粛傾向が強くなっており、経営的にも厳しい状況が続いている。
	×	都市型ホテル(スタッフ)	単価の動き	・当地域は、新型コロナウイルスの影響があるにもかかわらず、幸い客足が90%ほど戻ってきている。ただし、どうしても全体的に単価は下がっている(東京都)。
	×	旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来店客が1人もいない。
	×	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により旅行実施0件が続いており、仕事がない。会社がいつまで耐えられるか不安な毎日である。
	×	旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除後、個人消費に移行し始めているが、夏休みの家族旅行には間に合わず、申込みはない(東京都)。
	×	旅行代理店(営業担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で休業していたため、売上はゼロである。
	×	旅行代理店(総務担当)	お客様の様子	・旅行業界は、新型コロナウイルスの影響により、国内、海外共に客の動きがストップしている(東京都)。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	タクシー運転手	それ以外	・緊急事態宣言が解除され、1か月がたとうとしているが、人通りは確かに増えているものの、タクシーを利用する人は少なく、相変わらず乗り場では長蛇の空車列が続いている（東京都）。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、人の動きが少し出てきているが、それでも利用客は全然少ない。特に、夜になるとぱたりと止まってしまう。新型コロナウイルスが早く収束しない限りは難しい（東京都）。
	×	通信会社（管理担当）	販売量の動き	・企業向けのインフラソリューションは、テレワークが終了した企業からの戻し工事があり堅調だが、1件あたりの受注額が低く業績を戻すまでには至っていない。一方、個人向け携帯電話や周辺機器の販売については、外出自粛の影響もあり低調となっている（東京都）。
	×	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・生活に必要なライフライン以外に掛かる、月額の娯楽的な経費を削減する傾向がみられる（東京都）。
	×	ゴルフ場（従業員）	それ以外	・企業の倒産の報道や、街中でも閉店する店があり、浮浪者も多少増えているように感じる。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が、客の来店頻度が鈍っている。
	×	その他サービス [フィットネス クラブ]（マネージャー）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響がある（東京都）。
	×	設計事務所（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、社会の在り方が全体的に変わってきている。建築の営業においても、客を訪問することができず、会って話を進めることが困難になっている。そうしたこともあり、社員も在宅勤務にしている状況である。
	×	設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、得意先からの受注が激減しており、非常に厳しい。この先も景気が良くなるという見通しは一切立っていない。
	×	住宅販売会社 （経営者）	お客様の様子	・当社は不動産ディベロッパー業と総合建設業である。ここ4～5年住宅の売行きがかなり落ち込んでいるところへ、新型コロナウイルスの影響で気持ちが冷えてきて、余計売れなくなっている。ホテル業の方も賃料が全く入らない状態になっている。建設業は、このような状況では新規のプロジェクトがなかなかない。公共工事はあるが、受注額が低く、利益が出ないところもあり、赤字となるため誰も入札しないこともある。
	×	住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・今月の販売量は目標数字の61%となり、景気は悪い。3か月前と比べても、販売量が3分の2となり、悪くなっている。前月に比べると販売量は倍になっているが、住宅の請負は受注に至るまでに約1か月の商談が必要となるため、まだ景気が回復したとはいえない状況である。地方と首都圏で販売量に違いがあるのではないかと思っていたが、それほど差は出していない。
企業 動向 関連  (南関東)		*	*	*
		食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量の動き	・清酒製造業なので、3～4月は非常に悪かった（東京都）。
		出版・印刷・同 関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4～5月は全く仕事がなく、従業員にも交代で休んでもらっていたが、6月に入って少しずつ動き始めた感じがする。
		通信業（広報担 当）	受注量や販売量の動き	・徐々に正常に戻りつつある（東京都）。
		経営コンサル タント	取引先の様子	・緊急事態宣言に伴う外出自粛が解除され、移動可能になったため、集客なども戻りつつある。しかし、以前にも増して支出を吟味するようになり、元どおりにはなっていない。
		その他サービ ス業[警備]（経 営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で中止になっていた公営競技が、来月から開催されることになっている。
		その他サービ ス業[映像制作] （経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前の全て休業していた頃に比べれば、東京アラートや県外への移動が解除されたことで、徐々に仕事が増えてきているが、まだ以前の状態には程遠い（東京都）。
		食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量の動き	・4月から売上が減り、イベント等もなくなり、今月もそのままの状態が続いている。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響で、3か月前から景気は 悪いままで変わらない（東京都）。
		建設業（従業 員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響を受け、受注が減ってい る。
		輸送業（経理担 当）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響により減少した荷動きが 少し回復しつつあるが、厳しい状況が続いている。
		輸送業（総務担 当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響は多少あったものの、ほ ぼ例年並みに出荷できている。しかし、物量は増えて こない。
		金融業（総務担 当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言は解除された が、サービス業、特に飲食業は客足がまだ戻らず、苦 戦している。不動産業は、賃貸物件の空きが出始めて おり、家賃を下げる物件も多く、利益減少につながっ ている。取引先は緊急融資が入っている関係で資金繰 りは落ち着いてきているが、全体的に売上は減少して いる（東京都）。
		金融業（役員）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、市 内業種は全体的に平常に戻っていない。7月から市内 の観光施設の稼働を平常に戻す動きがあるが、第2波 への懸念もあり、観光客の増加を見込めるか懸念して いる。製造業は部品調達の状況は良化しているが、借 入れ増加による今後の返済に懸念を抱いている取引先 が多い。
		不動産業（従業 員）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響による最悪の事態からの 回復傾向は見えるものの、ホテル需要は相変わらず低 調である（東京都）。
		不動産業（総務 担当）	取引先の様子	・飲食系テナントの売上が半分に落ち込んでお り、気の毒な状況である。密にならないように席の間 隔を空けなければならず、売上が伸びるはずがない。 できる限りの賃料減額に応じてはいるが、終わりが見 通せないのも、不安感が払拭できない。耐えるのみで ある（東京都）。
		出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き	・印鑑、ゴム印、名刺印刷などの営業をしている。店 頭販売と、法人関係の取引がある。今月の売上は通常 月の2割減で、だんだん落ち込みが大きくなってい る。法人関係では、会社設立の印鑑は1本だけで、新 会社というよりは同じ会社の客が少し景気が良いので もう1本追加という注文である（東京都）。
		プラスチック製 品製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響で全体の動きが悪くなっ ているので、それに伴い当社も2割ほど落ち込んでい る。
		プラスチック製 品製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・医療品容器の受注に大きな落ち込みはないが、新型 コロナウイルスの影響で、化粧品容器の受注は大幅に 落ち込んでいる。
		金属製品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・今月は受注がなく、最悪の売上になっている。
		その他製造業 〔靴〕（経営 者）	取引先の様子	・東京の得意先は小売店が多く、新型コロナウイルス の影響で店を出せない、閉めたところもあり、 3月から注文がストップしている。もう1軒は個人的 な客をつかんでいるので、何とか頑張っているという 状況である。
		不動産業（経営 者）	競争相手の様子	・緊急事態宣言が解除され、各分野の規制事項も良い 方向に向かっているが、現状は厳しい状態が続いてい る。会社から解雇され、やむなく退去して帰省する人 が増えている。賃料の延期要請や値下げ交渉依頼、長 期のステイホーム期間で隣人との騒音トラブル等が増 えている。新型コロナウイルスが収束することを願う のみである（東京都）。
		税理士	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態 宣言は解除されたが、「新しい生活様式」の実践によ り、飲食、旅行、ショッピングなどは心理的に抑制さ れ、お金の回りが極端に悪くなっている。東京での感 染者はいまだに高水準で、予断を許さない。安心して 暮らせない以上、仕方のないことである。
		その他サービ ス業〔ビルメンテ ナンス〕（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響なのか、突然のビル売却 による契約解除がある。どうすることもできないので 今後が心配になっている（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により受注が激減し、業 況は一層厳しさを増してきている。
	×	出版・印刷・同 関連産業（所 長）	受注量や販売量 の動き	・夏に向けたイベント等、集客を目的とした広告宣伝 が全く行えず、仕事が停滞している。
	×	出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、クライアントの委員 会、セミナー及び講演会が中止又はWeb開催とな り、配布予定の資料や要旨集がデータ納めになり、売 上に影響している。また、新型コロナウイルスに関係 なく、今後もWeb開催が増える予定なので、印刷の 需要はますます減ることが予想される（東京都）。
	×	化学工業（総務 担当）	受注量や販売量 の動き	・3か月前は既に新型コロナウイルスの影響はあった ものの、受注の落ち込みは微減にとどまっていた。当 社は受注生産が大半であるため、4月以降取引先の多 くで企画が決まらず、5月以降受注が激減した状況が 今も続いている。
	×	金属製品製造業 （経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、取引先では新規設備 関係の仕事がなく、手すきの状態である。当社は精密 機械加工を得意としているので、精密加工部品につい ては、数は少ないものの仕事はある。
	×	一般機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・自動車関係の仕事をしているので、全体的に沈んで しまっている。
	×	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・3か月前まではほぼ例年どおりの受注であったが、 2か月前から急激に売上が減少している。40年間この 商売をしているが、こんなことは初めてである。輸出 を増やして売上を維持しようとしても、外国も新型コ ロナウイルスの影響で静まり返っている（東京都）。
	×	精密機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・3か月前と比べ50%以上の売上減となっている。
	×	建設業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・消費者の購買力がどんどん落ちている。
	×	建設業（経営 者）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響もあり、競争見積りでと んでもない数字が出ることが多い。
	×	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・予定していた案件が新型コロナウイルスの影響によ り延期又は中止になってしまい、受注量が激減してい る。また、官庁工事も、学校の休校により予定してい た案件が延期になっている。
	×	輸送業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からな い状況下、販売不振の影響からか、取扱量の減少が拡 大し、経営環境は厳しさを増してきている（東京 都）。
	×	輸送業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・業務委託契約の解除が出てきている（東京都）。
	×	金融業（支店 長）	取引先の様子	・飲食業の売上は前年比1～2割と大幅減少してい る。外出自粛によりアパレルも同様であり、厳しい状 況が続いている。
	×	広告代理店（従 業員）	受注量や販売量 の動き	・イベント事業がメインだが、イベント事業が全くな い。
	×	税理士	それ以外	・いつも夜に近隣の駅まで1時間、商店街を歩いて歩 いている。飲食店が結構あるので外からのぞくと、客 が入っていない。安価でいつも超満員の中華料理屋 も、やはり新型コロナウイルスの影響が、全然入っ ていない（東京都）。
	×	社会保険労務士	取引先の様子	・飲食業を中心に、休業や時短営業が多く見受けられ る（東京都）。
	×	経営コンサル tant	取引先の様子	・新型コロナウイルスは、特に飲食業や集会を伴う事 業の業績に大変大きな影響を及ぼしているが、中小製 造業でも、大手の部品輸入の滞り、自宅待機などによ る業務の変化での発注減少などが響き始めている（京 都都）。
	×	その他サービ ス [ 廃棄物処 理 ] ( 経営者 )	受注量や販売量 の動き	・取引先工場等の稼働率の悪い状態がまだ続いてお り、受注が減少している。
	×	その他サービ ス [ ソフト開 発 ] ( 経営者 )	受注量や販売量 の動き	・現在受注中の案件終了後の、次の案件が見つから ない（東京都）。
	×	その他サービ ス [ 情報サー ビス ] ( 従業員 )	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響が、受注数が激減してい る。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
雇用 関連  (南関東)		人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・求人数の伸び率が新型コロナウイルス感染症の発生前に戻ってきている(東京都)。	
		人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・求人数は3か月前比で50%強と、依然として低い水準ではあるものの、直近2か月と比べて増加傾向となっている。前年同月比でも50%水準までには回復してきている(東京都)。	
		求人情報誌制作 会社(営業)	求人数の動き	・6月に入り、本当に少しだが求人数が増えた気がする。クライアントの動きにも多少変化が出てきているように感じる。ただし、仕事が戻りきっていないクライアントがほとんどなので、まだまだ先の見えない状況が続いている。	
		求人情報製作会 社(営業)	求人数の動き	・4～5月と比べると少しずつ回復傾向にあるように感じるが、景気が良くなってきているとは言えない。求人数の動きも増え始めているが、前年と比べると動きはかなり鈍いように感じる(東京都)。	
		人材派遣会社 (社員)	それ以外	・緊急事態宣言下における休業により、業務委託料の減額要請が多く寄せられている。今後の状況が見通せないなか、体制の見直しを考えている取引先も多く、請負業務に関しては、ポスト削減、仕様変更による委託料見直しの申入れも多くなっている。各社共平常営業に戻りつつあるなか、更なるコスト削減に取り組み始めている様子がうかがえる。コスト削減イコール人件費削減に直結することから、徐々に影響が出始めている(東京都)。	
		人材派遣会社 (社員)	採用者数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、設備投資を凍結したり、採用計画を見直している企業が増えている。	
		人材派遣会社 (社員)	それ以外	・会社の業績等にはまだ大きな影響は出ていないが、緊急事態宣言に伴う自粛が緩和されても、自身の消費行動等は元に戻っていない(東京都)。	
		人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・前年と比較すると、求人依頼数は70%程度となっている。	
		求人情報誌製作 会社(広報担 当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で業績がとでも落ちている。中途採用を中断しているので、人材をなかなか確保できない状況が続き、見通しがつかない(東京都)。	
		求人情報誌製作 会社(所長)	求人数の動き	・少しではあるが、募集が増えている。	
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、人員を維持することが優先となり、企業の採用活動が以前に比べて抑制されている(東京都)。	
		民間職業紹介機 関(経営者)	採用者数の動き	・全般的な購買意欲が低下している。特にメーカー、製造業関係の商品の購買力が随分悪くなっていて、それが生産に影響している(東京都)。	
		学校[大学] (就職担当)	採用者数の動き	・全体として、大きく下向いている印象はないが、特定の業種で採用を控える動きがある(東京都)。	
		x	人材派遣会社 (支店長)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、人材依頼数が前年同月と比べて20%程度落ちている。また、現在派遣中のスタッフの契約も、新型コロナウイルスの影響による業績悪化という理由での契約終了が目立ってきている(東京都)。
		x	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響により派遣求人数が減少しており、前年比で半数程度になっている。そのため、登録者数が減少し、契約確定数も減少している(東京都)。
	x	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・製造業の設計部門からのエンジニア派遣の引き合いは明らかに減少しており、契約終了の話も出てきている(東京都)。	
	x	新聞社[求人広 告](担当者)	求人数の動き	・例年、あるいは3か月前とは違い、募集する職種が限られ、募集したとしても人数的に少なく、例年の5分の1くらいである。とにかくひどい状況である。	
	x	民間職業紹介機 関(経営者)	採用者数の動き	・新卒採用イベントの中止が長引いており、セミナー講演の仕事が全く入らない。リモート講演は学生の反応が分かりづらく、件数が少ない(東京都)。	

5. 甲信越(地域別調査機関:株式会社日本経済研究所)

(-:回答が存在しない、\*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
----	---------	-------	-------	----------------

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)		スーパー（副店 長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる、外出等の自粛傾向が続いた結果、自宅での食事が増え、食品スーパーの売上は増えている。ただし、景気が良くなっているわけではない。
		商店街（代表 者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの勢いが収まった分だけ人出が戻っているようである。2か月余り、外出自粛で買物を控えていた客が必要に迫られて、来店している。
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染の状況も多少落ち着き、県をまたぐ移動の自粛も解除された。商店街も通学客、通勤客、一般客、観光客の順に、人通りが戻り始めている。ただし、飲食、宿泊を中心に厳しい状況が続いている。
		一般小売店〔家 電〕（経営者）	販売量の動き	・2～3か月前は、イベントもできず客の動きも非常に悪かったが、今では工夫してイベント等を行うと、少しずつ客の動きも出てきている。
		スーパー（経営 者）	来客数の動き	・短大はまだ登校していないようだが、中学、高校が始まって人出が増えてきている。今月の売上は前年比34%減、来客数も13%減である。前年はイベントが8件あり、300万円以上の売上があったが、今年は全くない。いつになったらイベントが再開するのか。新型コロナウイルス禍の収束には18か月かかると予測しているホテル経営者がいるが、イベントの対応で売上をあげていた当店にとっては死活問題である。数は少ないものの毎日仕事がある弁当の配達や野菜等の納品を新しく4件増やしている。もう1件、1日2万円ほどは仕事を増やしたい。
		コンビニ（店 長）	お客様の様子	・地域的に新型コロナウイルスの感染者が少なかったこともあるが、自粛解除になったことで、比較的、人が出てきている。客が買物に来るようになったので、前月に比べれば、少し良くなってきたのではないかと。
		家電量販店（店 長）	来客数の動き	・特別定額給付金の効果で、季節商材の動きが活発になっている。
		乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言解除、県をまたぐ移動自粛の解禁と、段階を踏むごとに少しずつ来客、販売は上向いてきている。しかし、いまだに元に戻っているとは言えない。
		自動車備品販売 店（従業員）	来客数の動き	・来客数は前年比で110%を超えており、新型コロナウイルスが落ち着き、客の購買行動が増えていると感じている。
		その他専門店 〔酒〕（店長）	それ以外	・3か月前と比べたら良くなっているが、それ以前の景気から比べて良くなっているという印象である。現状、感染の第2波の入口にいるようなので、我々も警戒している。
		高級レストラン （経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスに一定の落ち着きが見えてきたため、会議や接待の動きが少しずつ出てきているものの、動きは悪い。
		都市型ホテル （支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、5月の宿泊実績は前年比9割減と最低だったが、6月になってビジネス客の宿泊がやや上向いてきている。また、月後半は首都圏の自粛解除の影響もあり、更に予約が増えてきている。
		ゴルフ場（経営 者）	来客数の動き	・今月の予約は前年並みの予約状況に戻っている。当コースは元々県外来場者が少ないため、新型コロナウイルス関連での予約減は、前月より縮小している。
		その他サービス 〔葬祭業〕（経 営者）	単価の動き	・当社を利用する客は少人数がほとんどである。お金をかけなくても、十分満足してもらえるような工夫、提案をしている。
		一般小売店〔家 電〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスに対する「新しい生活様式」に慣れが出てきたのか、落ち着いた状況がみられる。先の見えない社会情勢のなかで、消費者は出費に関して慎重である。ただし、特別定額給付金の給付により、今まで我慢していたと思われる家電等の購入が出てきている。
		スーパー（経営 者）	競争相手の様子	・4～5月は広告の販促チラシの自粛があったものの、6月からはチラシの投入が増えてきており、価格競争が進行している。
		コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・レジ袋有料化やキャッシュレス還元の終了で、客の買い控えが起きそうな気配である。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・お話にならない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車両販売は依然、低迷を続けているが、車検や一般整備は前年同月とほぼ同じである。今後、デフレ時の価格競争のような状況になるのではないかと強く感じている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・相変わらず回復基調にならないので、変わらないとしたが、見通しは暗い。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・4～5月と売上が低迷し、6月は若干期待を持っていたが、ほぼ変わらず推移している。前年比ではまだ80%減の売上である。
		旅行代理店（副支店長）	それ以外	・新型コロナウイルス感染の拡大で3か月前と変わらない。自治体等で「ふっこう割」等の支援を受け、県内旅行者は確かに増えたものの、一時的なもので継続性がない。国内、海外共に「ふっこう割」以外の旅行や企業出張が皆無である。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・今後の経済的不安から節約志向が強くなり、解約や保留を検討する人が増えている。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されても、急激な改善はみられない。訪問営業は客の様子をみながら、徐々に再開している。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・学校がようやく始まったが、特に、高校は6月まで休みだった上、クラブ活動等はまだできない。新入部員も入らないため、品物の動きは、まだほとんどない。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス拡大防止の自粛が解除され、少し買上点数が落ち着き、来客数も減少している。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・会社関係で金曜日が休みになったり、新型コロナウイルスの影響で、勤務日数が減っていることで、コンビニ業界も、売上がやや低調である。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・学校のリモート化に伴う来客数減小が、大きな問題となっている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・比較対象の3月よりは悪いが、4月と比べれば大分ましにはなってきた。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・県から休業要請のあった4～5月の底は脱して、ようやく営業再開できた。さらに、県や市による観光誘客キャンペーンで予約が入り始めている。ただし、入込は今までの半分以下で、平日はいまだに予約がなく、休館する日もある。また、浴衣や土産品、ティッシュ、酒類等の消耗品や材料が残っているため、関連業者への発注ができない。関連業者もしばらくは厳しいのではないかと。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・計画中の物件で中止や延期になる物件もあり、新規計画依頼も少ない。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・県をまたぐ移動の自粛は解除されたが、県外からの入込客は引き続き低調である。
	×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、客に購買意欲が全くない。
	×	その他専門店【貴金属】（営業）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で悪くなっている。
	×	スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子と回答したが、まるっきり客が来店しないので、回答のしようもない。表を見ても、歩いている人は少なく、これからどうなるのか、ただ心配なだけである。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	それ以外	・緊急事態宣言が解除され、また、県をまたぐ移動の自粛要請解除もあり、1週間ごとに人の動きが出てきている。元々、全く動きのない状況だったので、良くなっているわけではない。個人利用は、急速に動きが活発になってきているものの、法人利用はほぼ変わらず、動きがない。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、徐々に良くなってきているが、依然として悪い状況である。
	×	観光名所（職員）	来客数の動き	・県をまたぐ移動の自粛が全国で解除になった翌日から営業を再開したが、今のところ来客数は平常時の1～2割程度と低調である。
	×	ゴルフ場（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が続いている。
	×	その他レジャー施設【ボウリング場】（経営者）	来客数の動き	・客足は徐々に戻ってきているが、前年比40%程度である。依然として厳しい状況には変わりがない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	その他サービス [貸切バス] (経営者)	乗客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は大きい。
企業 動向 関連 (甲信越)		食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量 の動き	・今月19日に県をまたぐ移動制限が解除されて以来、かなり人の流れは変わってきており、工場見学者は若干戻りつつある。ただし、パート従業員を元に戻すほどの活気はない。
		窯業・土石製品 製造業(経営 者)	取引先の様子	・大口の特注への対応で、多忙である。
		食料品製造業 (製造担当)	受注量や販売量 の動き	・依然として、販売量は戻っていない。
		金融業(調査担 当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスによりストップしていた経済活動が若干戻りつつあるものの、影響は依然として続いている。
		食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量 の動き	・普通の暮らしに戻りつつあることで巣籠り特需は先細り、さらに暑い季節を迎えるため、取扱う商材の特性上、売上は減少する。
		電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・受注は多少あるものの、保留案件や単発物がほとんどで、安定しない。売上は落ちている。
		電気機械器具製 造業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・周辺の会社のなかには、週休3日や4日のところもあると聞いている。
		その他製造業 [宝石・貴金 属](経営者)	受注量や販売量 の動き	・小売店も順次通常営業に戻ってきている。ほぼ3か月間耐久生活を強いられた反動で、多少商材も動くようになってきたが、高額商材が売れるまでには至らない。卸売では展示会、催事の中止が続いており、海外バイヤーが来日できないこと等も響き、業況の改善は見られない。
		建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・社会的な自粛の影響により、工事発注をためらい、先行きに不安を感じている客が多く、受注が停滞している。
		新聞販売店[広 告](総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・前月に比べれば回復しているものの、3か月前の新型コロナウイルスによる規制がかかり始めたところと比べると、やや悪くなっている。
	x	金融業(経営企 画担当)	取引先の様子	・緊急事態宣言が解除され、県外ナンバーの車を見かける機会も増えてきている。ただし、外国人観光客はもちろん国内観光客も余り見かけない。観光業や宿泊業が新型コロナウイルス発生以前の水準を取り戻すには、まだまだ相当な日数が必要であると感じる。
雇用 関連 (甲信越)		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けていた旅館や飲食店等の業種から、新規求人が出始めてきている。
		職業安定所(職 員)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響が薄れてきつつあり、業務を再開し始めている企業が増えてきたため、やや良くなっている。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・緊急事態宣言が解除されても、休業を続けている企業が多くみられる。
		民間職業紹介機 関(経営者)	求人数の動き	・求人をけん引する製造業で、派遣、契約、パート等社員に対して、解雇や雇止めが目立ち始めている。
	x	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・今夏のボーナス支給をなくした企業もあるためか、消費意欲が全くない。日中の社用車の台数や買物客の減少が目立っており、景気は上向かない。
	x	求人情報誌製作 会社(経営者)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、求人は大幅に減少している。求人情報誌に掲載する企業は、前年同月比30%と激減している。

## 6. 東海(地域別調査機関:三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)

(-:回答が存在しない、\*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)		美顔美容室(経 営者)	販売量の動き	・5%還元キャンペーンが今月で終わるため、今月中に購入しようという客が多かった。
		商店街(代表 者)	お客様の様子	・現状の不景気は間違いなく新型コロナウイルスの影響である。ただし、今月に入り週末のにぎわいは戻りつつある。売上も80%ダウンから50%ダウンまで回復した。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスが少し収束してきたため、これから良くなっていくと見込む。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・主要店舗の全てではないが、集客は回復の兆しがある。
		一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・新型コロナウイルスのどん底からは回復しつつあるが、実際はそこまで良くはない。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・2月下旬から急な坂道を転がるように新型コロナウイルスが社会全体に大きな影響を与えた。6月に入ってやや復旧しつつあるが、まだ50%強の戻りとしか感じられない。観光業が一番ダメージを受け続けている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・消費地の飲食店への出荷が、徐々に戻ってきた。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・5月中旬まで休業していたため、夏物を購入できなかった客が来店している。店によってはクリアランスセールも始まっており、まとめ買いをする客が多い。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・売上は、インバウンド客の売上が剥落しているため前年並みの確保は難しいものの、少しずつではあるが回復をしている状況である。また、政府の給付金がこの地域でも支給され始めたこともあり、消費意欲が落ち込んでいるようにはみえない。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・5月の最悪期からは脱した。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・お中元、バーゲンセール時期になり、少し来客数が増えている。前年に比べれば、半分以下である。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・前月まで営業自粛していたが、時間短縮ではあるものの通常営業できるようになった。
		百貨店（業績管理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言、移動自粛の解除があり、客の消費マインドが回復しつつある。それでも新型コロナウイルス発生前の来客数、売上にはまだまだ及ばない。集客力のある物産展が3密のおそれから開催できず来客数減少の要因になっている。
		百貨店（計画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍での底の状況に比べて、来客数も増加傾向にあり、特にカードホルダーの買上の回復が顕著である。
		スーパー（ブロック長）	単価の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言解除の後、外食やデパート、行楽地に出掛けてスーパーマーケットは売上の伸びが鈍化する見通しであったが、依然として客単価の伸びが継続している。
		スーパー（販売担当）	競争相手の様子	・最寄り駅近くの競合店が改装のため11月まで閉店する。そのお陰で売上、粗利は上がった。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・休業していた店舗が再開して、少しずつ商品が動くようになった。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大時期と比較すると、来客数は7%回復できている。同時に客単価も大幅に改善した。商品カテゴリーごとに見ると、デザート、米飯、調理麺などが伸張した。
		衣料品専門店（売場担当）	お客様の様子	・お中元の時期に突入したこともあり受注が増え、3か月前と比較すると若干ではあるが改善傾向にある。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・景気の傾向としては、若干良くなっているように見受けられる。3か月前は新型コロナウイルス禍の中でどうなることかと思われたが、10万円の給付金があり、外出せず自宅にいてエアコンやテレワークによるPC・関連商品の動きが良く全体を押し上げた。来客数は若干の伸びにとどまったが、特に機能の良い商品を購入する傾向が強く、単価を大きく押し上げる結果となった。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	単価の動き	・6月は気温が高くエアコンがよく売れている。例年より1か月ほど早いように見受けられる。テレワークや巣籠りの影響もあり、今まで使ってなかった部屋にエアコンをつける客が多い。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されたことで、人の動きが出てきている。ただし、業種によってはまだまだ先がみえない状況である。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスで自粛ムードだった3か月前と比べると、来客数も増えている。客も以前のような自粛ムードが減り、気軽な来店が増えてきた。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの関係で新車の販売台数が大幅に落ち込んでいたが、徐々に回復しつつある。前年比では2割程度落ち込んでいる。
		その他専門店 [貴金属](経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス対策の自粛ストレスの反動か、客の購買意欲が向上しつつある。
		その他専門店 [雑貨](店員)	販売量の動き	・緊急事態宣言解除後は、以前と比較して販売量は増加している。特別定額給付金の影響もあるのではないかと見受けられる。
		高級レストラン (経営企画)	来客数の動き	・自粛解除に伴い、徐々に来客数が戻ってきている。4月に始めたテイクアウト商品のニーズが高く、売上を補充している。
		その他飲食[仕出し] (経営者)	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除により人の流れは戻りつつあり、どん底のときよりはまだ良くなっている。
		都市型ホテル (営業担当)	お客様の様子	・3か月前は新型コロナウイルスの影響で全く営業ができなかった。今月に入って少し宴会の利用もあるが、前年の10%前後で稼働している。大型の宴会は、全て開催見合せとなっている。
		旅行代理店(経営者)	それ以外	・新型コロナウイルス禍による移動の自粛が解けて、デパートや飲食店等も再開して経済活動も以前よりはまた良くなってきた。人通りも増え閑散としていたターミナル駅前にもにぎわいが戻りつつある。
		タクシー運転手	お客様の様子	・3～5月よりは夜の街や飲食店に客が戻っており、少し良くなってきた。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・通信設備の容量が10Gへと変わり、販売も好調となっている。
		観光名所(案内係)	それ以外	・商店街や街中に人が段々と増えつつあり、期待できると見込む。
		設計事務所(職員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響もあったが、現在は3か月前よりは景気が良くなっている。
		その他住宅[不動産賃貸及び売買] (営業)	販売量の動き	・アフターコロナで、少しずつだが客足も回復し、通常並みには届かないものの入居したい客が動き始めている。
		一般小売店[結納品] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス対策の外出自粛以降、来客数が激減したままである。
		スーパー(店長)	単価の動き	・新型コロナウイルスによる買物習慣の変化で来客数は減少傾向だが、1品単価は、特に週末には高く推移している。
		スーパー(店員)	単価の動き	・外出自粛終了と学校再開によって、客の流れる時間帯が戻ってきた。給付金もあり、梅など高単価な物を買求める姿が見受けられた。
		スーパー(商品開発担当)	販売量の動き	・売上は3か月前と比較して余り変わらない。3か月前は新型コロナウイルスの影響でパスタ、レンジ米飯やラーメン等、売れる商品は決まっていたが、6月に入り通常の売れ方を取り戻しつつある。
		スーパー(販売担当)	来客数の動き	・客の様子から、どちらともいえないと判断した。
		コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・3か月前と比べたら来客数は落ちているが、客単価が上がり、販売量は戻ったように見受けられる。
		コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・3月の新型コロナウイルスの感染が拡大し始めた頃と比較すると、3月の方がまだ来客数は多い状態であった。今月は昇り調子のため、トータルの実績では同ペースである。
		コンビニ(店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響はあったが、少しずつ売上の減少幅が小さくなってきている。
		コンビニ(本部管理担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響からの売上の回復が、まだ遅延している。6月の売上の前年比は91%で、関東圏では75～90%の地域も存在する。売上の回復に時間を要している理由には、新しい生活様式が影響している可能性も考えられる。
		衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・バーゲンセール案内で来店した客の単価が、例年の3割減であった。外出自粛をしていた結果ではあるが、購買意欲が戻ることを祈るばかりである。
		家電量販店(店員)	販売量の動き	・定額給付金の影響なのか客が増えており、商品は日々よく売れている。
		乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・4～5月の外出自粛の頃と比べると、来客数、販売台数共に増えてきて、3月頃程度には戻っている。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・乗客数が回復しつつあり、成約率も上がってきている。ただし、元に戻りつつあるだけで、前年割れ、目標割れは続いている。ここ3か月の中では、持ち直してきたと思える売上になっている。
		乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・客の様子は様々であるが、個人的には売上は悪くなく問合せ件数も多い。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・緊急事態宣言は解除されたものの、客の新型コロナウイルス感染に対する警戒感は強く、用のない立ち寄りには嫌がられ門戸の広い営業活動はできない。また、客の仕事の状況が以前のように回復せず、今後の生活にも不安を感じているという話が出てきている。
		乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により、客の消費マインドが低下している。買い控えや、車検をせずに買換えをしていた客も車検を受けるようになった。
		乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・4～5月に比べれば世の中の雰囲気が変わり、客との会話でも徐々に回復していると感じるが、数字には現れてこない。4月から例年の半分ほどの感覚が続いている。また、4～5月に工場や港が閉鎖されていた関係で、本来なら入ってきている商品が7月中旬まで入荷しないため、商談も弾まない。
		その他専門店 [書籍](店員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は続いている。ふだんの生活に戻りつつも巣籠り需要で書籍の売上は好調で、前年比20%ほどアップしている。
		その他小売 [ショッピングセンター](経理担当)	販売量の動き	・全国どこでも同じだと思うが、4～5月は新型コロナウイルスの関係で前年比はかなりのマイナスで、異常値である。
		一般レストラン (従業員)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により客が激減した。まだ自粛ムードもあり、外食する客が少ない。
		一般レストラン (従業員)	来客数の動き	・特別給付金のお陰が一部では売上が上がっていると聞かすが、飲食店では団体客が見込めないで売上につながらない。
		都市型ホテル (総支配人)	販売量の動き	・宿泊は、予約は若干増えたものの通常の15%程度の売上である。レストランも鈍い。宴会はほぼない状況である。
		旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・海外旅行の売上はゼロである。国内旅行も前年の5%程度で、まだ受注見込みが立っていない。
		旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・都道府県の移動が解禁となり、8月1～16日までの国内家族旅行の問合せが多数あった。やっと旅行を楽しめる雰囲気になってきた様子である。しかし、ここ数日で新型コロナウイルスの第2波も押し寄せてきているので、緊急事態宣言が発出されたらゴールデンウィークと同じ状況が起き、何をしているのか分からないことにもなりうる。Go To Travelキャンペーンのキャッシュバックを多少は期待しており、旅行終了後に領収書をキャンペーン事務局に送れば旅行代金・土産代を負担してくれる方法が一番合理的だと考える。まだ、きちんと決まっていないGo To Travelキャンペーンの支払を待っている、短い夏休みが終わってしまう。
		旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・まだ終息の動向をみながらという条件付が多く、件数は少ないながらも、個人、小人数グループから夏休み以降の旅行相談が発生してきている。逆に、大型団体については、受注済みの案件がキャンセルや延期になる状況が続いており、総合的には、まだ数字の回復は程遠い。
		旅行代理店(営業担当)	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大からの観光業界の復興は程遠く、県による宿泊割等の復興支援の補助金を利用して観光需要喚起を行っているが、取消しや延期になった団体旅行が復活しない限り景気の回復は見込めない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・繁華街は静かで、地下鉄の駅周辺にも人が少ない。最終電車の時間帯でも人がほとんどおらず、売上が少ない状態である。
		通信会社(企画担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により積極的な営業ができていないにもかかわらず、客からの引き合いが多く、ほぼ計画どおりの新規契約数を維持できている。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・テレワーク環境のためか解約件数が例年より少なく、契約件数は微増している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		レジャーランド（職員）	来客数の動き	・団体利用が全くなく、移動制限の解除後も個人客の出控えが続いている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスのダメージが大きく、消費活動をする状況ではない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・来客数はやや落ちている。外出を控える傾向は今も続いており、買物を楽しむ余裕がなくなっているように見受けられる。
		一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	販売量の動き	・外出自粛が明けて人出は大分戻っているが、皆の財布のひもは固い。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業活動の制限があり、完全に再開できない状況が続いている。
		百貨店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの第2波に危機感を覚えながらも、来客数は徐々に増加してきている。給付金やボーナス支給のめどが立った客の来店もあり、自分へのご褒美で自家需要が高くなっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・競合店の販促再開や外食需要が戻りつつあり、来客数が減少している。
		スーパー（支店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの終息がみえず先行き不安のため、金にかかわる全てのことにシビアが見受けられる。
		スーパー（販売担当）	お客様の様子	・通常営業に戻ったが、18時以降の来客数が15%以上減少しており、売上が伸び悩んでいる。
		コンビニ（店員）	単価の動き	・緊急事態宣言が解けてふだんどりの生活が戻ってきたため、少し客単価が落ちてきたように見受けられる。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・車検などの必要な点では変わらないが、その他の臨時整備などによる来客数が極端に減少しており、仕事量が少ない。新型コロナウイルス対策による外出自粛などの影響で事故が少なく、板金の仕事が少なくなっている。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・5月に新型コロナウイルスの影響でイートインスペースを閉鎖し、6月からカフェだけ再開したが、思ったよりも客が少なかった。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が残る。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	来客数の動き	・外出自粛は解かれたものの、旅行や外食などを自粛しなくてもよいのか、消費者は半信半疑な様子である。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で宿泊者数が確保できておらず、6月は回復基調とはなっていない。
		テーマパーク職員（総務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響もあり、まだ心配している様子がうかがえる。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・今月は新型コロナウイルスの影響も多少薄れ、入場者数は4～5月よりは増加している。しかし、前年比でまだ10%以上減少しており、完全に元に戻る兆しがみえない。レストランの売上等はまだまだ減少したままで、景気は非常に悪いと判断する。
		その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	来客数の動き	・通学は分散登校を経て正常に戻りつつあるものの、3か月前より若干少なく感じる。満員だった列車に余裕がある状況である。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が大きく、ボーナス時期で人の動きが出ると思っていたが、客足はまだ少ない。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	販売量の動き	・日常で必要な介護用品の販売・レンタルなので、新型コロナウイルス禍の影響を大きくは受けていないが、売上は目標に到達できなかった。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で受注量は大幅に減少し、会社自体も人員や仕事内容の見直し整理に入っている。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	お客様の様子	・管理している飲食店が新型コロナウイルス対策で自粛をしたまま廃業した。別の店をオープンしても客は戻らず、まだ影響が出るのではと懸念している。
	×	商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数、売上全てが悪い。問合せの電話などもなく、営業していてもほとんどが暇な時間になっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店は、自粛解除となっても客足は悪く、3か月前に比べても悪い状態が続いている。新型コロナウイルスの影響で、飲食店内での飲食は増加していない。
	×	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・国内客については需要の緩やかな回復がみられるが、海外客は各国の渡航制限によってほぼゼロの状態が続いている。
	×	スーパー（経営者）	来客数の動き	・3月はまだ前年並みの来客数、売上があった。4月は前年比で75%減、5月が60%減、6月はまだ締めていないが50%減くらいと見込まれる。
	×	コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・まだまだ前年と比較して売上、来客数共に70%を下回っている状態ではあるが、前月と比べると若干改善の傾向がみえる。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・やや回復しつつあるが、来客数、売上共に前年比25～30%減の状況が続いている。先行きのめどが立たない。
	×	コンビニ（商品企画担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言が全国的に解除となり、営業を自粛していた店舗の営業が再開されたことで売上も回復傾向にあるが、前年比でみると依然として50%を下回っており、赤字が続いている。郊外店舗の売上はある程度回復している一方で、主要駅に立地する店舗の売上が依然として厳しい。
	×	衣料品専門店（販売企画担当）	来客数の動き	・客が来ない。95%ダウンくらいである。電話やメールの問合せもほとんどない。
	×	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により最悪の状況である。
	×	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・製造業が生産を減らしていることもあり、自動車の登録台数が増えない。少しずつ動きはあるが、販売量の動きは低迷している。
	×	住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により各企業へ営業できなかったことが、7月以降の売上に現状として出てくる。工事の延期、キャンセルが続いており、建築工事については3～6か月前の状況が反映されるため、これから秋口に掛けて更に厳しくなる。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により客足が戻っていない。
	×	観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・3か月前と比べると景気は相当悪いが、前月と比べると10ポイントだけ回復してきた。それでも全社で前年の20%、つまり80%のダウンである。一般宴会と宿泊宴会は、4月から今月まで皆無の状態である。7月1日より閉めていた食堂を再開するが、席数も半分近く減らしているため、以前のような売上は当分の間は望めない。
	×	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・予約が全く入ってこない。
	×	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの関係で改善の見込みはない。
	×	タクシー運転手	それ以外	・1つの項目が原因ではなく全てが悪い。生活できない。
	×	テーマパーク（職員）	それ以外	・新型コロナウイルス感染症により人の動きがない。
	×	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数や単価の動きが悪い。
	×	理美容室（経営者）	来客数の動き	・暖かくなって人出が増えてもよいはずだが、まだ客は外出を控えているため客足が伸びない。
	×	美容室（経営者）	それ以外	・客の高齢化により、新型コロナウイルスの感染を恐れて来客数が少ない。
	×	理容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により仕事が激減した。
	×	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・4～6月の収入が0である。
	×	住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・競争相手も景気が悪く、先行き不透明で不安である。表向きの景気だけが良いように見受けられる。
	×	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響がまだまだ続き、3か月前より更に買い控えが進む。住宅は慌てて買うものでもないため、以前から考えていた人は影響を受けず動いているが、絶対数が少ない。短期集中で客が動いていないのが苦しいところである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	住宅販売会社 (従業員)	競争相手の様子	・取引先業者より、他社からの依頼が減ってきたといわれた。一部の業者からは、5月の売上は0であったと聞く。
企業 動向 関連 (東海)		-	-	-
		窯業・土石製品 製造業(社員)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルス禍の始まりの頃に、供給断絶を心配して前倒しで注文が入ったが、その後も例年と同じペースで受注している。新規の見積依頼も多く、成約率も高い。
		建設業(役員)	受注量や販売量 の動き	・6月に入り新型コロナウイルス対策の自粛解除に伴い客が少しずつ動き出し、来場者数や契約が伸びてきた。特に、実需として必要な客は動いている。
		不動産業(経営 者)	それ以外	・例年同様に曇りや雨の日が多い上に、新型コロナウイルスの影響はまだ続いている。公共交通機関の利用者は少しずつ回復傾向にあるが、売上は前年同期を大きく下回っている。
		新聞販売店[広告] (店主)	受注量や販売量 の動き	・6月に入り折込広告がやや戻ってきている。
		会計事務所(職 員)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で売上の落ち込みが激しかった飲食店やサービス業を営む取引先からは、少しずつではあるが、来客数が戻ってきたという話を聞く。実際の売上高を確認しても、最も低迷していた時期に比べると増収の取引先が多い。
		会計事務所(職 員)	取引先の様子	・絶不調だった飲食店の客足が半分くらい戻ってきている。従業員を全休させていた事業所も、何日かは実際に仕事ができるようになってきた。
		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・販売量が少ない状況が続いている。
		電気機械器具製 造業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響が減ってきたものの、もともと時差出勤程度の対応だったため、状況は余り変わっていない。
		電気機械器具製 造業(総務担 当)	取引先の様子	・ケーブルネットワーク構築事業では、新型コロナウイルスの影響で一部工事がストップしていたが現況は動き出し、受注も好調である。通信に関連する事業は、どこでもネットワークの高度化に向けて対応を積極的に進めている。
		建設業(営業担 当)	取引先の様子	・現在携わっている業種においては、特別に新型コロナウイルスの影響はないが、仕事が減っているという取引先の話も聞くため、どちらともいえない状況である。
		輸送業(エリア 担当)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響で国際物流量が減っている。
		広告代理店(制 作担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルス禍での緊急事態宣言は解除されても、客側が積極的な行動を控えているため、広告業界そのものが足踏み状態となっている。
		その他サービ ス業[ソフト開 発](社員)	受注量や販売量 の動き	・派遣契約の契約終了が続き、次の取引先が決まらない。新入社員については配属先が決まらずにいる。
		食料品製造業 (経営企画担 当)	受注量や販売量 の動き	・一部の行動規制が解除された解放感から、一時的に消費は上向いた感じがするものの、将来を見据えれば不安は多い。
		化学工業(総務 秘書)	取引先の様子	・飲食チェーン店やクラブなど、社用の飲食で使われる店は惨たんたる状況であり、廃業を考える経営者も多いのではないかと。3か月前は自粛が浸透していった時期で、現在は緊急事態宣言が解除されて街はにぎわっているが、社用での飲食の再開は、1か月ほど様子見をしてからとなるだろう。
		金属製品製造業 (従業員)	受注量や販売量 の動き	・もともと今年は少ない予定だったが、新型コロナウイルスの影響かは分からないが、案件の動きが鈍くなってきている。引き合いが減ってきている。
	一般機械器具製 造業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・北米では、自動車向け設備投資の引き合い、受注が全くない。既に受注している案件も納入を先延ばしにする依頼が入っている。欧州も、多くの客、代理店で休業状態が続いており、このまま夏のパカンスへ突入しそうである。	
	電気機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・新型コロナウイルス対策による客先業界の休業は明けてきたが、設備投資をするほどのホールがなく、なかなか売上につながらないのが現状である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・取引先の話では、6月の取引量ははまだ4～5月と同じくらいで回復には至らない。緊急事態宣言が解除されてもすぐには変わらないようで、現在は世間の荷動きの回復を待っている状況である。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・毎日の取扱荷物は3か月前より5%減少している。新型コロナウイルスも終息の見通しが立たないため、ヒトモノも動かず全体的に上向き要素がない。購買意欲も落ちていることから、この状況は続くと考えられる。
		通信業（法人営業担当）	競争相手の様子	・自治体等の提案先で競合他社に出会う回数が増えたが、逆に民間企業への提案時には、ほとんど競合他社に出会わない。民間企業には提案しても投資は厳しいということが、常識になりつつある。
		通信業（法人営業担当）	それ以外	・親会社のテレワークの導入により受注量が30%減り、発注量も減少している。4～6月のGDP予測から、欧米や我が国の経済はL字回復となるのか。消費マインドが冷えたままなのか、世界の国々との共栄や交流次第となるのか、経済の変化への対応力が試されている。
		通信業（総務担当）	それ以外	・前月同様に、新型コロナウイルス対応の自粛で人の動きがまだまだ制限されている。警戒心の強い人に影響されて、活動自粛を緩和したい人も動きが取れない。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が依然として大きい。ホテル、飲食店や旅行関連の業種が特に厳しい状況である。製造業でも自宅待機がまだ継続している企業もあり状況は変わらないが、時間が長くなっている分、体力がそがれていく企業が増えている。
		不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・売却時の値引きや価格の低下があり、購買意欲の後退がみられる。
		行政書士	受注量や販売量の動き	・出荷量が減少している。
		その他非製造業 [ソフト開発] (経営者)	取引先の様子	・取引先のトップが許可を出さず新しい仕事がストップしたままで、試練となっている。これまで以上に努力しなければならない。
	×	食料品製造業 (営業担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が濃厚に残っており、取引先の注文数も少なく業界自体の景気がとても悪い状況である。
	×	パルプ・紙・紙 加工品製造業 (顧問)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で取引先も休日を増やしている状況であり、受注量、販売量は前年比60～70%と大幅に減少し、景気は大変悪い。
	×	出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が本格的に出てきた。取引業者が倒産するという話もあり、これから景気が下がっていくと考える。
	×	化学工業（営業 担当）	受注量や販売量の動き	・自動車に関連する化学薬品の需要が悪くなっている。また、新型コロナウイルスの影響で3～4月に在庫積み増しを行っていた客先について、在庫過多の状態となったために調整が入り、需要が悪くなっている。
	×	鉄鋼業（経営 者）	受注量や販売量の動き	・3～6月と月単位の受注量が減少している。各月で1～2%ほど通常値より減少している。これに新型コロナウイルスの影響による受注減が重なっている。
	×	輸送用機械器具 製造業（経営 者）	受注量や販売量の動き	・業界の目安である工作機械の月次動向が下がり、上向き気配がない。設備関連も半分以下の状態である。取引先の訪問も規制されたままで、取引先の正確な状態もつかめない。
	×	輸送用機械器具 製造業（品質管 理担当）	取引先の様子	・航空業界の景気が最悪の状況となっており、派遣切り等が大発生している。自分自身も今の派遣先が終了となった。
	×	輸送用機械器具 製造業（総務経 理担当）	受注量や販売量の動き	・完成車メーカーの生産ラインがストップしており、部品供給の下請会社も生産量が少なくなっている。
	×	輸送用機械器具 製造業（管理担 当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響による収入減で、買い控えをしている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
	×	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費財は、物量が減ってきてはいるものの、前年並みを維持している。生産財は、前年比20%以上減少の客が増えている。収益が落ちているにもかかわらずサービスレベルを落とすことが許されず、運転手、物流センター作業員共に仕事がないにもかかわらず休ませられず、助成金の申請もできない。	
	×	金融業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響により、製造業は例年に比べて夜勤、残業がなくなり仕事量が減っている。自動車製造業、部品製造業は、景気としては良くないと判断する。	
	×	公認会計士	それ以外	・客の業績が悪化している。	
雇用関連					
(東海)		人材派遣会社（企画統括）	求人数の動き	・求人を見合わせていた企業で求人を再開する動きが、一部にみられてきた。	
		アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・自動車製造に関して、6月までは生産調整で休業日を設定していたが、7月以降は通常稼働をする予定となっている。また、自動車販売においては、国内外の市場において上向きに推移しているため、今後も良くなると見込まれる。ただし、自動車メーカーや車種によっては厳しいところもある。	
		民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・将来予測をした上での募集終了等も、一旦底を迎えた状態である。今後に関しては、本質的に必要となるポジションで募集をしていく会社の動きが、顕著に表面化してくる可能性がある。	
		人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・製造業について、自動車関連に限っては下げ止まりの感がある。当面この状況が続くため、下げ止まりが継続すると想定する。	
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で取引先が休業のため、収益はない。	
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・緊急事態宣言の解除から1か月たつが、求人は減ったまま変わっていない。	
		人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・開発支援の新規需要はやや回復基調であるが依然低い水準で、新規採用者の稼働遅れや既存稼働者の契約終了も発生し、稼働率低下の要因となっている。	
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・主要客である自動車メーカーでは、3か月前の新型コロナウイルス感染拡大前に比べて、派遣の引き合い件数が明らかに減少している。	
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・事業主都合の離職者が大きく増加してきている。	
		職業安定所（次長）	求職者数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、外国人を中心とした非正規労働者の雇止めが多くなっている。	
		民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・サービス業、小売業の大手の求人はまだ戻ってきていない。製造業も同様である。	
		×	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・人材派遣の求人数は前年比で50%を下回っている状況で、求職者数は前年に比べ2割程度増加している。
		×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前月と比較し、新規求職者の増加に加え、新規求人数の大幅な減少がみられる。
		×	職業安定所（次長）	求人数の動き	・新規求人数が、前年同月と比較すると大きく減少している。
	×	職業安定所（次長）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響等から、製造業を始めほとんどの産業で、前年同月より有効求人数、新規求人数共に減少している。	

## 7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連		家電量販店（店長）	販売量の動き	・特別定額給付金が入ったことでエアコン、冷蔵庫、洗濯機など大物商材の売行きが良い。
		住関連専門店（役員）	販売量の動き	・一過性の特需のため本質的な改善ではないが、キャッシュレス決済によるポイント還元終了目前の駆け込み消費と、新型コロナウイルス対策の特別定額給付金が非常に大きく消費に影響している。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・個人客の利用に関しては、例年の90%近くまで回復したが法人利用や団体利用は少なく、全体の回復は40%ほどにとどまる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（代表者）	来客数の動き	・ようやく街に入出が戻ってきている。土日は若者の姿も多く見掛ける。昼は飲食店にも活気が出てきている。夜の飲食店もまだ平生には戻っていないが、半分ほどは席が埋まっている光景をよく見掛けるようになっている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・クリアランスセールが好調に推移している。お中元の総合ギフトセンターは新型コロナウイルスの感染対策から土日の混雑を避ける動きがみられ、平日に来店する人が増えている。併せてWebでの受注が大幅に伸びている。月を通しての売上高は前年比マイナス3%の見込みである。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・お中元や父の日、主に仏事のお返しといったギフトを中心に動きが良い。外出自粛でゴールデンウィーク中に帰省できなかった遠方の家族や親戚への個人的なギフトが好調である。また、特別定額給付金の振込みが始まり、ブランド品や時計等に動きがみられる。自粛中の我慢の反動とみられる動きがある。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・キャッシュレス決済によるポイント還元への駆け込みがある。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる規制の解除により来客数が若干戻っている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・郊外に立地する店舗の売上は回復してきている。ただ、週末の夜などの売上はいまだに回復していない。また、回復したといっても前年の100%近くまで売上が回復しただけで、前年同様の売上まで戻るにはもう少し時間が掛かると考える。新型コロナウイルスの影響を受け、売上が激減していた3か月前よりは売上の減少が落ち着いてきたため、やや良くなっていると考えられる。
		コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・夕方以降の来客数が前年を大きく下回っている。
		家電量販店（本部）	販売量の動き	・暑くなってきたことと特別定額給付金の効果でエアコンを中心に動いており、全体を底上げしている。ただ、単価がそれほど伸びていない。
		乗用車販売店（役員）	来客数の動き	・外出自粛の緩和による影響で来客数が徐々に増えており、購買意欲も以前と比べ格段に上がっているようにみえる。
		自動車備品販売店（役員）	販売量の動き	・自粛ムードの緩和により集客面は回復の兆しがみえてきている。しかし、必要なものの購入のみにとどまっているようで、売上面では依然として厳しい状況が続いている。一方で、買物を控えていた反動から、高めの商品を選択する客も若干だが増えてきている。
		その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	来客数の動き	・新型コロナウイルス発生前の水準にはまだ遠いが、6月に入り新型コロナウイルスの流行期と比較して来客数の改善が続いており、週を追うごとに改善していることが実感できる。
		一般レストラン（統括）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の解除後から、徐々に消費者の外出頻度が増え、それに伴い徐々に外食する家族が増えている。また、外食の機会としては、企業の自粛やテレワーク期間が終わり、ランチ需要が早々に戻ってきている。一方でディナーはまだまだで飲酒を伴う利用の戻りは40～50%程度だが、晴れの日における家族需要の高い、すし店や焼肉店は戻ってきている印象を受ける。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・5月は全面休業し、6月5日からの週末営業を経て、11日より通常営業している。6月8日の県民宿泊割引の受付開始後からは、予約受注が大幅に増加している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・自粛ムードもやや解消の方向となり、少しずつ外出するようになってきている。夜の街も週末を中心に少しずつ人出が増えてきたが、以前のように戻るのはまだまだである。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による受付制限があったため販売量は激減していたが、規制解除に伴って原則来店予約を中心とした受付に変わってから、販売量が増え始めている。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されて営業を開始したため、放送、通信共に契約数が増え、前年同月比で80%くらいまで持ち直してきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		美容室（経営者）	販売量の動き	・6月から営業時間、休日共に通常営業に戻したの で、来客数は前年並みになっている。売上の方も、夏 のキャンペーンを1か月早め実施しており、商品の 販売は好調である。
		住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・今月は土地の問合せや住宅の相談が増え、商談の件 数が多くなっている。約3か月間動きが止まっていた ので、これまで我慢していた人達が動き出した感じで ある。
		住宅販売会社 （営業）	販売量の動き	・商談数が確実に増えてきている。
		一般小売店〔鮮 魚〕（役員）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除や県境を越えた旅行等の解禁の おかげで、旅行者などが若干目に付くようになってい る。地元の人たちの飲食店の利用も少しだが増えてき ている。
		百貨店（販売担 当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス対策を実施し、来店者を恐る恐 る迎えた。6月からは新型コロナウイルスの影響が一 段落し、来客数が増加している。必需品から購入が増 加し、特に一般家庭では特別定額給付金の支給が30万 以上あるようで、子供の衣料品や靴、ランドセル等の 購入から回復している。大人の衣料品も先行値下げが 影響し、1品単価は低下しているが、購買意欲は増加 している。前年比の90%後半までと予測以上の回復で ある。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による自粛で内食需要が 依然としてある。全体的に一度の販売量が多い傾向が 続いている。
		衣料品専門店 （経営者）	お客様の様子	・閉店していた店舗が再開し、少しずつ客が戻りつつ あるが、売上が回復しているとは言い難い状況であ る。
		衣料品専門店 （店舗運営）	来客数の動き	・大幅に落ち込んでいた来客数が、新型コロナウイル ス発生以前の状態に戻りつつある。
		乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・6月後半から車の走る量が多くなり人の動きも出て きたと考えるが、新車販売はここ2～3か月変わらず 悪い。景気の状態はまだ変わっていない。
		乗用車販売店 （従業員）	来客数の動き	・相変わらず厳しい状況が続いているが、週末の来客 数は以前の状態に戻りつつある。
		その他専門店 〔酒〕（経営 者）	販売量の動き	・ニュースでも出ているように、新型コロナウイルス による影響の深刻さは大変なものである。この先どう なるかは全く想像ができない状態である。
		一般レストラン （店長）	来客数の動き	・人の動きは戻っていない。今はテイクアウトでしの いでいる。ゼロよりはましだが、例年には程遠い。
		スナック（経営 者）	来客数の動き	・なじみ客が一部しか戻ってきていない。やはり新型 コロナウイルスに対する警戒心が強いためと考える 。当店においては持続化給付金で補っている状態であ る。
		観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・6月は週末の土日だけ営業したが、部屋の稼働は1 割ぐらいしかない。
		旅行代理店（所 長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により自粛ムードが続い ている。
		通信会社（職 員）	販売量の動き	・延期となっていたものや、新規の問合せについても 契約に至っていない。
		一般小売店〔書 籍〕（従業員）	販売量の動き	・生活必需品は横ばいで、それ以外は大きく落ち込ん でいる。
		スーパー（店 長）	お客様の様子	・外食を控えているため、食料品に関しては購入点数 が増えている。しかし、菓子や生活用品を含めた全体 としては必要最小限の買物にとどめている印象を受け る。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の解除後、 県外からの出張客が必要最小限ではあるが、出てきて いる感じである。
		住宅販売会社 （従業員）	来客数の動き	・住宅展示場や問合せ等の来客数が減少している。
	×	商店街（代表 者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染防止対策でのデパート休業 の影響もあり、入込客が極端に減少している。下旬に なり、デパートの全面再開等で少しずつ客の流れが出 てきた様子である。売上の増加に結び付くかはまだ分 からない。イベントの全面中止もあり、入込客の回復 がどの程度期待できるか不明である。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・自粛解除になり、少しずつではあるが客足は戻りつつある。とはいえ、購買まではなかなかつながらないのが現状である。
	×	一般小売店〔事務用品〕（店員）	来客数の動き	・店頭では来客数が少なく、営業部では客先に足を運ぶ機会が減少したので売上が激減している。
	×	スーパー（総務担当）	競争相手の様子	・客単価が下がってきている。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・季節商材が売れない。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊部門は引き続き前年に対し9割減、宴会部門も会議のみで前年に対し9割減、レストラン部門も一部営業再開したが客の戻りが悪く、恐る恐る食事に来る感じで前年に対し8割減である。ようやく9月以降の予約や問合せが出てきたが、新型コロナウイルスの感染状況次第で再びキャンセルになる可能性がある。
	×	テーマパーク（役員）	来客数の動き	・来客数でみると県内客が若干ある程度で、県外からは個人客、グループ客共にほとんどなく、インパウンド客もほとんどないため、事実上の休業に近い営業状況である。
	×	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる影響で会員数が20%以上減少し、6月1日の再開後も再来店しない人が多く、単月での収支がマイナスになってしまっている。
	×	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・高価格帯商品の販売量が減っている。建て売りの在庫も増えてきている。
企業動向関連		-	-	-
(北陸)		電気機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・来客数が増えている。
		精密機械器具製造業（役員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響は4月が最も大きかった。ここ1か月は、不安定な要素はあるものの、若干戻ってきた気配を感じる程度である。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量について大きく変わらない。
		通信業（営業）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の全面解除を受けて営業活動を開始したが、受注に結び付いていない。今月の売上高は前月を僅かに上回る程度である。
		司法書士	取引先の様子	・助成金申請のための書類作成や書類確認の依頼が多い。会社の解散登記の依頼も多い。
		食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの爪痕は深い。外食ルートを中心に業務用は大幅に前年割れで推移しており、小売用の受注は引き続き好調でもその穴は埋まらない。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大による自粛や経済活動の停滞により、個人消費のみならず企業業績にも大きな影響が出ており、受注、販売共に厳しい状況が続いている。
		税理士（所長）	取引先の様子	・新型コロナウイルスショックに尽きる。少しずつ飲食店や観光業関係の店は開いてきているが、以前ほどではない。製造業や建設業で先行きが非常に厳しくなっている。受注残高が徐々に減少している状態が続いている。産業全体がマイナスに向かっている感じがしており、少し心配である。
	×	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・繊維資材、衣料共に目先の稼働率も、長期の稼働率も非常に見通しが悪い状態であるが、新型コロナウイルスの感染拡大の収束次第で少しずつ回復してくるのではないかとみている。ただ、今のところの見通しは非常に悪い。
	×	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・欧米、国内市場共に新型コロナウイルスの影響で営業活動がストップしているため、受注活動ができない。したがって、受注が取れない状況である。
	×	建設業（経営者）	それ以外	・当社の公共土木事業は新型コロナウイルスの影響をほとんど受けずに済んでいるが、知り合いの飲食業、旅行者、ホテル業者は青息吐息である。
	×	輸送業（役員）	受注量や販売量	・異常気象と新型コロナウイルスによる影響がある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	金融業（融資担当）	取引先の様子	・4～5月の業績の速報値も悪く、新型コロナウイルスの影響から先行きを見通すことが難しく、事業や資金繰り計画がなかなか固まらない。担当先の申込件数は落ち着いてきたが、信用保証協会の応諾に時間が掛かっている。
	×	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者からは全体的には決して良くないが、少し動きが出ているという話を聞いている。
雇用 関連 (北陸)		-	-	-
		新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・どん底からみて上向きなだけだが、各業種で動きがみえてきている。依然として動きのみえない業種も存在する。
		人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大による影響か、求人数が激減している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・この先の状況が不透明であるといった理由で、開発技術者の提案が受け入れられない。
		民間職業紹介機関（経営者）	それ以外	・毎年あった行事や事業等が今年は新型コロナウイルスの影響で中止が多く、関連した委託業務も減少している。
	×	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・1回の発行で100件近く掲載数が減っている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・政府の緊急事態宣言が解除されたことを受けて経済活動が再始動したことで、前月よりはやや上向きになったようだが、新型コロナウイルス発生以前の状況と比較すると、依然として底に停滞している。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・5月の有効求人倍率は1.32倍で、前年同月比0.67ポイントの大幅な減少となった。産業別の前年同月比では、製造業で52.4%減、宿泊、飲食サービス業で60.0%減、生活関連サービス、娯楽業で51.6%減となっている。
×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・事業所からの雇用調整助成金の相談も引き続き多く、求人は前年度と比較して減少している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	学校〔大学〕 (就職担当)	求人数の動き	・求人票を出す企業数が前年度より少ない。

## 8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (近畿)		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・インバウンドや催事などによる売上がないなかで、お中元ギフトを中心とした食料品や、身の回り雑貨の売上は順調に回復している。今月の売上は前年比で15%減となっているが、もともと食料品の比率が高い郊外の中小型店では、既に前年の数字を上回っている。
		百貨店（サービ ス担当）	それ以外	・今月は19日から通常の営業に戻ったため、売上は前年比で75%前後の推移となっている。前月は30%程度であったため、回復傾向にある。
		家電量販店（店 員）	来客数の動き	・4月までのテレワーク需要から一転し、エアコンや白物家電が売れている。
		家電量販店（店 員）	来客数の動き	・外出の自粛緩和と、気温の上昇が重なって、特に季節商材の需要が高まった。今年は特に、家で長く使う耐久消費財の販売が、一時的に伸びた感がある。
		家電量販店（人 事担当）	販売量の動き	・気温の上昇に伴い、エアコンなどの季節商材が動いている。また、特別定額給付金が支給されたこともあり、テレビや冷蔵庫、洗濯機などの大型商品の売上も増加している。
		住関連専門店 (店員)	単価の動き	・給付金の支給や、クレジットカードのポイント還元サービスなどがあり、6月は来客数、単価共に上向いている。
		競輪場（職員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスで営業を自粛していたため、3か月前は売上がゼロであった。今月は営業を再開したため、売上が回復している。自粛前に比べると、近くの競輪場はまだ再開していないため、客が若干流れてきているように感じる。
		美容室（店員）	来客数の動き	・外出などの自粛が解かれ、今まで我慢していた客が戻ってきている。
		一般小売店〔鮮 魚〕（営業担 当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響から少しずつ開放され、売上の前年比も、4月の27%から60%まで回復している。
		一般小売店〔呉 服〕（店員）	お客様の様子	・接客が密になるのを敬遠しているのか、客の動きは良くない。
		百貨店（売場主 任）	単価の動き	・衣料品を含めた売上の前年比が、28日までで3.3%増と前年をクリアしている。特に、食料品は6.0%増と好調で、前月の買い控えの影響を考慮しても、順調な回復といえる。入店客数は6.4%減と苦戦しているため、買上単価の大幅な上昇が好調の要因であり、巣籠り消費の影響が考えられる。
		百貨店（企画担 当）	お客様の様子	・緊急事態宣言の発令に伴い、営業の自粛を行った4月に比べると、今月は営業時間の短縮は続いているが、終日での営業ができるようになったため、売上は回復している。国内客に限れば、月の後半には前年を上回る日も出てきている。
		百貨店（外商担 当）	来客数の動き	・自粛の解除後は、確実に来客数が増加傾向にある。特に6月の最終週は、前年比で8割程度まで回復している。
		百貨店（外商担 当）	販売量の動き	・富裕層の客は、自粛期間中に買物ができなかった反動もあり、高額の時計や海外ブランド品の購入が増えている。全体的な売上も、前年比で100%には届かないものの、少しずつ前年の水準に近づいている。
		百貨店（マネー ジャー）	来客数の動き	・3か月前は営業時間の短縮で入店客数が減り、前年比で70%減となったが、営業時間が通常に戻った現在は、前年の30%減にまで回復している。売上も同様に、30%減に回復してきている。
	百貨店（マネー ジャー）	来客数の動き	・お中元商戦は少し遅れてスタートしたが、堅調に推移している。ファッション部門については、3密を避けるために、例年のような大々的なクリアランスセールは実施しないものの、各メーカーは6月初旬から春物を中心に値下げを始めている。自粛に疲れた客の購買意欲の高まりもあり、予想を上回る推移となっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（服飾品担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、営業時間の短縮やインバウンド客の減少が続き、売上は前年比で約80%、来店客も約70%と厳しい状況が続いている。ただし、緊急事態宣言の解除で徐々に来客数は伸び、回復の兆しが出始めている。特に、フード関連は郊外店舗で前年を上回り、都心店舗も回復傾向にある。ファッション関連でも、婦人服、雑貨が80%、ラグジュアリー関連が90%となり、特にブライダル関連では、数か月ぶりに来店した客が購入するなど、前年を上回っている。化粧品関連も、接客面での制限はあるものの、インバウンドを除くと90%以上の回復となっているため、営業時間が正常化すれば、更に回復が進むと予想される。
		百貨店（宣伝担当）	お客様の様子	・3～4月の状態に比べると、国内客は70～80%まで戻ってきた。購買意欲は高く、新型コロナウイルスの感染前に比べると、1人当たりの単価が高くなっている。ただし、以前は都市型店舗が好調で、郊外店舗は苦戦していたが、5月の休業明け以降は逆転し、郊外型店舗は前年を上回っている。客の生活スタイルの変化がうかがえる。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されたが、まだまだリモートワークの頻度は高い。外食も控えられ、家庭内での食事の機会が依然として多い。それに伴い、保存が良く加工食品の販売は落ち着いてきたが、野菜や果物、肉類、魚介類の買上点数は多い。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・都道府県をまたぐ移動の解禁から、父の日と続き、来客数はほぼ前年並みになってきている。一方、施設内の滞在時間は長くなっているが、夜の時間帯は以前に比べて来客数が少なく、特にレストランは厳しいようである。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・数か月ぶりに売上目標を達成している。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス関連での特需も落ち着きつつあるが、まだ家庭での食事は多く、野菜を中心とした生鮮調理商品の販売は伸びている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年比で50%から70%台に増えてきた。テレワークを行っていた人も週に3～4日は出勤している。ただし、インバウンド客は戻ってきていないため、ホテルからの夜の客が少ない。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が少し落ち着いてきたように感じる。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる自粛が解除されて、仕事が再開となった人が多く、出勤前の買物やランチの客が戻ってきている。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・外出の自粛が解除され、近隣ホテルの宿泊客などによる来店が増えている。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・少しずつではあるが、客が戻ってきているように感じる。観光客がいない状況でも、忙しい日が増えてきた。新型コロナウイルスの影響による自粛から、通常の生活に戻りつつあると強く感じる。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・常連客のテレワークの頻度が減り、店頭に来客者が戻りつつある。客単価も少し回復してきている。
		家電量販店（経営者）	お客様の様子	・10万円の支給や、様々な消費支援策により、エアコンなどの家電を購入する客が増えている。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・特別定額給付金の支給により、高額商品が動いている。特に白物家電が好調で、ちょうど梅雨の時期であるため、エアコンの販売が増えている。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・近隣の一部で給付金が支払われ、家電の購入が増えてきている。また、今年は猛暑の予報でエアコンの需要が増えそうであるが、既に週末の来客数も多く、エアコンの販売量が増えている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・外出の自粛の解除により、客の行動が大きく変化している。その一方、購入を我慢していた客の来店が増えている。
		乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除による影響もあり、客が動き出している。
		その他専門店【医薬品】（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス関連商品の動きは、引き続き良い。マスクやアルコール、ハンドソープのほか、湿気の多い時期に入ったため、殺虫剤や飲料の販売も好調である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 [ドラッグストア] (店員)	来客数の動き	・生活必需品のまとめ買いが多いほか、給付金の支給によって、いつもよりもプラスワンの購入が増えている。売上も顕著に増えている。ただし、次の感染拡大に備えた行動が多く、それに関連した物品が売れているように感じる。
		その他専門店 [ガソリンスタンド] (経理担当)	販売量の動き	・ガソリンの出荷量が前月比でプラスに転じている。
		高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・6月に入り、予約が日に日に増えている。特に、休日はすぐに予約で満席になっている。
		一般レストラン (企画)	来客数の動き	・4～5月の最悪の状態からは上向きに転じている。6月の来客数は、前年比で70%程度と徐々に上向いてきている。ただし、関東地方の戻りは、関西や九州と比べて遅めとなっている。
		観光型旅館 (経営者)	来客数の動き	・県境を越えての移動が解禁となったため、来館者が増えている。日帰りの利用は前年の80%程度で、宿泊は50%程度に回復している。
		観光型旅館 (団体役員)	来客数の動き	・例年並みとはならないが、夏季の予約状況が徐々に回復しつつある。
		都市型ホテル (フロント)	来客数の動き	・以前から継続的に法人の利用があり、ある程度の稼働を維持できていたが、企業の出張が再開されつつあるため、ビジネス利用が増え始めている。また、自粛期間中から好調であった、リモートワークでの利用が引き続き好調である。
		都市型ホテル (総務担当)	来客数の動き	・5月21日の緊急事態宣言の解除直後は、客室稼働率が11%であったが、6月19日の全国的な移動制限解除後は31%と、徐々に客の利用が増えつつある。また、レストランの利用も徐々に増えつつあるが、宴会については、飲食を伴う予約はほとんどない状況である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、人の動きに少し活気が出てきた。ただし、景気が回復するまでには、まだまだリハビリが必要である。
		その他レジャー施設 [複合商業施設] (職員)	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除後、郊外を中心に回復が進んでいる。ただし、服飾、衣料雑貨は、バーゲンセール以外では不調である。
		美容室 (店員)	来客数の動き	・少しは良くなっているが、非常に不安定な状況に変わりはない。新型コロナウイルスの感染第2波に備え、客が慌てている様子である。
		住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・Webサイトからの反響が増加傾向にある。
		その他住宅 [情報誌] (編集者)	お客様の様子	・不動産販売の現場では、新築マンションの販売再開により、停止期間中に検討を始めた客の動きがみられる。戸建て住宅や中古物件についても、動きは良くなってきている。在宅ワークの長期化により、住宅の潜在需要が顕在化したり、現状からの変化を求める客もそれなりに増えている。
		商店街 (代表者)	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除後は、商店街の人出も増加しているが、買物は控え気味である。特に、飲食店の状況は厳しい。
		百貨店 (売場主任)	お客様の様子	・営業の再開により、前年の8割くらいまで売上が回復している。郊外店の方が回復は早く、都心部はインバウンド需要の減少や、3密を避ける傾向から、回復が鈍い。客の間には、これまで購入できなかった商品をまとめ買いする傾向があり、売上が伸びている商品もある。ただし、特殊事情を除けば、景気が良いとはいえない。
		百貨店 (店長)	お客様の様子	・来客数は増加しているものの、旅行を含めて外出する機会が減っており、ハレの日の買物も少ない。それをけん引してきた年配層の購買力が低下しており、この状態は今後も変わらない。
		百貨店 (商品担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状態が沈静化しつつあるなか、営業体制は元に戻ったものの、新しい生活様式の実践により、以前のような来客数には届いていない。また、店内を買い回る滞留時間も伸びていない。その一方、海外からの入国規制によるインバウンド売上の減少は、他の売上による補填が不可能であり、大きなハンディキャップを背負った状態が続きそうである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（営業推進担当）	お客様の様子	・外出を控える傾向は続いているようで、入館者数は前年を割り込んでいる。ただし、営業の再開から1か月以上が経過した現在も、複数の売場を買い回る傾向は前年よりも強く、これに伴う客単価の上昇が続いている。特に、若年層と中高年の富裕層の消費は、以前と比べても大きな変化はない。
		百貨店（販促担当）	お客様の様子	・ようやく営業を再開したため、化粧品を始めとする消耗品のほか、休業明けと季節の変化が重なった、住関連などの夏物商材は好調である。その反面、衣料品は季節が変わった割に動きが鈍く、ファッションに対する優先度の低さや、いまだに気分的な自粛ムードが残っていると感じる。高額品も同じく、動きは鈍い。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・依然として必要な商品の購入が中心となっており、今後も生活防衛志向が続くと予想される。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、買い回り品の売上は前年比で120%となっており、今後もこの勢いは変わらないと予想される。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除後も、売上は底堅く推移している。学校の再開や通勤の増加による、家庭での飲食の減少が予想されたが、大きな影響は今のところ感じられない。
		スーパー（販売促進担当）	単価の動き	・来客数の減少と、単価の上昇という傾向に変化はない。スーパー業界としては好調であるが、全体的な景況は悪化していくと予想している。
		スーパー（社員）	お客様の様子	・食品部門を中心に、店頭の販売状況が好調な店舗が多い。新型コロナウイルスの感染拡大後は、客の買物の傾向が大きく変わり、まとめ買いをする動きが増えている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、まだ客の動きは良くなっていない。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・短縮されていた営業時間は以前の状態に戻ったものの、まだ客の動きは戻っていない。
		その他専門店 [スポーツ用品]（経理担当）	販売量の動き	・店舗が営業再開となるなど、経済活動が徐々に回復している。
		その他専門店 [宝飾品]（販売担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されて営業が再開し、展示会や催事が再開されても、来客数は増えてこない。ウィンドウショッピングの客も少ない。
		その他小売 [インターネット通販]（オペレーター）	販売量の動き	・相変わらず電話は掛かってくるが、マスクや体温計の入荷が追いついておらず、受注につながらないことが多い。
		観光型ホテル（経営者）	それ以外	・当地域では、6月末で約3分の2の宿泊施設が営業を再開しているが、休前日を除いて、まだ来客数は非常に少ない。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊については、海外客は相変わらず全減状態である。国内客ではビジネスに動きが出てきたが、まだまだ微増であり、稼働率は3割ほどである。宴会も会議が戻りつつあるが、会食はほぼ全減が続く。休業中のレストランも今月中旬から再開したが、バイキングはできず、集客は芳しくない。
		旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・国内旅行の動きは少し戻ってきたものの、まだ様子を見ている客が多い。政府のGo To Travelキャンペーンは詳細が決まっていないため、それを待っている部分がある。一方、海外旅行は出入国制限が解除されていないため、8月の予約もキャンセルが続いている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・外出の自粛時期に比べて、駅前には多少は人が戻っているが、ホテルの前は客足が少なく、状況は芳しくない。
		その他レジャー施設 [イベントホール]（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、イベント関連業種は非常に厳しい状況に置かれている。8月以降の予約は入りつつあるが、感染の第2波が来ればどうなるかわからない。その一方、来客数を制限すると収支が厳しくなるなど、八方ふさがりの状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	来客数の動き	・県外への移動も始まり、少しは動きが出てきているが、まだまだ絶対数が少ない。
		住宅販売会社（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、展示場への来場者が大幅に減少している。さらに、訪問活動も自粛中のため、新規客の掘り起こしができていない。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	販売量の動き	・前年比で50%強までは動きが戻っているが、そこから先へは進んでいかない。
		一般小売店〔事務用品〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスとの共存を目指すなかで、新しい生活様式に合わせた仕事のやり方は広まっていない。まだ感染が拡大中であるため、落ち着いてビジネスができる環境ではない。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響もあり、まだまだ販売量が伸び悩んでいる状況である。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除直後の来客数は、前年比で2～3割減という水準であったが、6月中旬以降は徐々に回復している。来街者も目に見えて増えている。一方、一部の分野では売上が前年を超えているが、全体としては前年の実績には届いていない。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによるスーパーへの特需は、来客数の減少によって収束に向かっている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・食品の買上点数や客単価は、6月の後半以降、前年の実績に近づいてきている。来客数はまだ広域からの集客が戻っておらず、客単価は維持できているが、売上は苦戦している。
		スーパー（店員）	来客数の動き	・気温や雨の影響で、野菜の値段が上がれば売れなくなるほか、雨の日は客足も減る。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・インバウンド需要はほぼ皆無で、まだまだ在宅勤務者も多いため、以前の来客数のレベルには戻っていない。
		コンビニ（経営者）	それ以外	・働き方のほか、レジャーや外食で当たり前であったことが、新型コロナウイルスによる自粛期間を経て変化した。特に、夜は人が出歩くことが少なくなっている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・6月に入り、客はこわごわと来店している。3か月ぶりに公共交通機関を利用した人がみられた一方、いまだに外出をとまどっている人もいる。電話でのアプローチの結果、安心や安全が担保されない限り、景気回復はままならないと感じる。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・まだ世の中の誰も、新型コロナウイルスとどう向き合っていくのが正しいのか、答えが分からない。
		美容室（店長）	来客数の動き	・6月に入って、外出の自粛解除を待っていた人たちが来店しているが、6月の実績は前年の3分の1以下という状況である。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・全体的に新型コロナウイルスの影響で人の動きが少なくなっており、不動産の売買案件が減っている。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・広告に対する、一般の消費者からの反響が少ない。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が続いている。
	×	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、月初には客が少し戻ってきたように感じたが、すぐに失速した。気温の上昇とともに、マスクをして外出をすることに無理があるようで、なるべく外出を控えているという話をよく聞く。不要不急という言葉が、前回とは違う意味合いで出てきており、我慢できるところは後回しになっており、以前の状態には戻りそうにない。店の前を歩く人も、気温の上昇とともに減少している。
	×	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	来客数の動き	・直営店の営業も再開したが、来客数は前年比で10%以上減少している。また、卸売の販売先も全店で営業再開となっているが、各店舗の納品量は減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般小売店〔菓子〕（経営企画担当）	販売量の動き	・6月と3月の売上前年比を、各地区別に上位5店舗の平均でみると、関西は6月が60.4%で、3月が58.1%、関東は6月が75.4%で、3月が78.4%、中部は6月が77.3%で、3月が87.0%、中国は6月が84.5%で、3月が74.9%となり、各地区合計の平均は6月が70.1%で、3月が70.9%であった。一時の最悪の状況からは多少持ち直しているものの、依然として新型コロナウイルスによる影響は深刻である。また、この状況がいつまで続くのかも不透明である。
	×	一般小売店〔野菜〕（店長）	お客様の様子	・居酒屋からの注文が入らない店舗が出てきている。廃業したのか、店を縮小したのか、良くない状況となっている。この動きは、当社だけではなく、様々な場所で起きている。
	×	百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され ファッション関連商品の購入意欲はみられるものの、3密を避ける傾向から、来客数が極端に少ない状況が続いている。特に、今月末からのクリアランスセールスタートに影響が出ており、売上は前年比で50%以下の水準となっている。
	×	百貨店（売場マネージャー）	お客様の様子	・6月29日現在の状況としては、売上が前年比で7.3%減、入店客数が13.0%減、レジ客数が11.1%減であり、客単価は4.3%上昇、インバウンド売上は91.6%となっている。食料品以外の休業が続いた5月からは改善したが、客単価以外は大きく前年を下回っている。特に好調な分野としては、子供服や玩具が5.2%増となったほか、特選洋品が9.2%増となった。一方、苦戦している分野は、婦人服が17.2%減、呉服や宝飾、美術品が25.6%減、レストランが18.4%減となっている。
	×	百貨店（販売推進担当）	それ以外	・自粛の解除により、徐々に通常どおりの営業状況となりつつあるが、アパレルや飲食系の取引先は疲弊が激しい。一時的に給付金効果があるにせよ、新型コロナウイルスの感染前の状況に戻ることはないと感じている。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で業績が悪化している企業では、雇用情勢も悪化し始めており、収入の減少で消費マインドも冷え込んでいる。
	×	スーパー（店長）	それ以外	・6月は衣食住共に、売上目標を達成している。これまで抑制されていた分、リベンジ消費で来客数は目に見えて増えている。ただし、旅行やリゾート関連の商品は全く動きがなく、飲食業などのイベント関連を含め、引き続き厳しい環境に置かれる企業は多い。
	×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されて1か月になるが、まだ客が戻ってこない。5月の売上は前年の半分以下となり、6月も同じく半分以下となる見込みである。このままでは会社の維持が難しくなる。今後は社長が私財をどれくらい投入するかに懸かってくる。
	×	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・テレワークの拡大に伴い、パソコンなどの情報関連商品のほか、ゲーム機がよく売れている。また、ホットプレートなどの調理家電やミシン、自宅用のヘアカッターの動きも順調である。給付金の支給もあり、猛暑予測によるエアコンや冷蔵庫の販売も好調である。
	×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車修理業は、余り新型コロナウイルスの影響を受けないと考えていたが、売上がじわじわと減少し、前年比では3割減となっている。
	×	住関連専門店（店長）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、客は戻ってきている。ただし、春の購入予定が延期されたに過ぎず、景気や消費の基調が戻ってきたわけでは全くない。
	×	その他専門店〔宝石〕（経営者）	お客様の様子	・株価は比較的高めに推移しているが、社会活動が元に戻っていないため、厳しい状況がまだまだ続く。
	×	その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染予防に対する、客の買物の変化に対し、店側の売り方が何も変わっていない。これでは売上の減少を食い止めることができない。
	×	その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除から1か月が経過したが、新型コロナウイルスの感染リスクや雇用不安が影響し、客の消費意欲は低調なままとなっている。食料品は前年並みの売上となってきたものの、レストランは半減であり、プライダル関連に至っては前年比で80%減となるなど、自粛の長期化が懸念される。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は依然として大きい。客足は徐々に戻っているものの、感染のリスクは続いているため、団体客の利用はほとんどない。また繁華街では、観光客や関西近辺からの客が多少は増えなが、絶対数の回復についてはまだまだ先がみえない。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・外出等の自粛要請が解除された週末は、こぞって都市部に外出したのか、当店を含め、近隣の店舗への来客が少なかった。また宴会の予約などが入ってこないため、大きな動きはない。
	×	その他飲食[自動販売機（飲料）]（管理担当）	それ以外	・経済が回り出したものの、以前と同じようにはいかない。遠方には出掛けず、近場で静かに過ごしているため、食材以外は動いていない。
	×	観光型旅館（経営者）	それ以外	・3か月前は新型コロナウイルスの影響が出始めた頃であり、緊急事態宣言解除後の状態とは比較できない。客は動き出したものの、戻ってくるまでには時間が必要である。
	×	都市型ホテル（管理担当）	来客数の動き	・6月に入って営業を再開したが、客室、宴会共にキャンセルが相次ぎ、食堂もほぼ客のいない状態が続いている。海外からの宿泊客が皆無に近い現状では、収入の増加は期待できない。
	×	都市型ホテル（管理担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、レストランを中心に客足は戻りつつあるものの、3か月前の水準には届いていない。
	×	都市型ホテル（客室担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で休業していたが、5月28日から営業を再開している。景気は厳しい状況であり、稼働率が伸びず、苦戦している。
	×	旅行代理店（役員）	それ以外	・4～6月は売上がゼロである。Go To Travelキャンペーンの開始も遅れ、8月までは動きがみられない。今受注している旅行も対象となれば、来店の促進につながるため、非常に残念である。
	×	タクシー運転手	それ以外	・ふだんの動きには、まだまだ戻らない。
	×	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスにより受注が減少している。
	×	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除後に、新築分譲マンションのモデルルームを再オープンしたが、閉じている間に滞留していた客が来場している。3密を避けるために、人数制限なども行っているが、緊急事態宣言前の状態に戻りつつある。
	×	その他住宅[展示場]（従業員）	来客数の動き	・住宅展示場への来場者は、集客イベントが開けないため半減している。
	×	その他住宅[住宅設備]（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、訪問のキャンセルが引き続き多く、売上は低空飛行のままである。
企業動向関連 (近畿)		電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・外出の自粛解除や給付金の支給により、家電全般は好調な荷動きを示している。特に、6月前半は気温の上昇もあいまって、エアコンが前年を大幅に上回る状況で推移している。
		その他非製造業[衣服卸]（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先をみると、5月までは百貨店や専門店で休業の影響が大きく、チェーンストアも大きな変動がみられた。一方、ドラッグストアやホームセンター、スーパー、ディスカウントは好調であったが、大型商業施設や衣料品、玩具、ベビー用品の専門店は非常に不調であった。6月も同様の傾向が続いているが、6月20日前後からは、いわゆるリベンジ消費の動きが感じられ、急速に回復している。
		食料品製造業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、まだ飲食店の売上が戻らず、景気は悪いままである。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が増えるといった情報がない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一進一退で推移している。新機種の立ち上げ品や新規取引先が増えた一方、5年以上販売している製品の動きが落ちた。最近には特に、時代の変化を感じる。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現在も手持ち工事があるため、新型コロナウイルス対策を徹底しながら、粛々と続けている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・家具がよく売れており、配達日程が組めないほどになっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		広告代理店(管理担当)	受注量や販売量の動き	・制約はかなり緩和されてきたが、それに伴って感染の第2波の懸念が高まっており、今一つ踏み込んだ施策を打ち出せない。
		食料品製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・巣籠り消費により、一時は家庭向け商品の出荷が増えたが、出荷数は全体的に減ってきている。また、依然として業務用商品の動きは停滞したままである。
		出版・印刷・関連産業(企画営業担当)	受注量や販売量の動き	・例年受注していた案件も、新型コロナウイルスの影響でキャンセルが続いており、受注量の減少がみられる。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・当社はメーカーであるが、極端に受注は落ちていないものの、業績は落ちている。特に、海外渡航の制限は大きなマイナスである。幸い、新型コロナウイルスの感染者は社内では発生していないが、取引先では感染者がいるようで、国内での往来も窮屈になっている。
		電気機械器具製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・引き合いの件数が少ない。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・在宅勤務の取引先が多く、取引先自身が受注できていない状況であるため、当社も案件の動きが止まっている。
		建設業(経営者)	それ以外	・飲食関連や観光関連の取引先は、いまだに厳しい状況となっている。周辺で新型コロナウイルスの感染者は出ていないが、マスクが騒ぎ立てるため、自粛ムードが続いている。
		建設業(営業担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、設備投資計画の中断や見直しを行う取引先が出てきている。
		金融業(副支店長)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、飲食業などのサービス業は売上が減少している。緊急融資の相談件数も増加しているため、景気の回復には時間が掛かる。
		金融業(営業担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの感染状況が鍵となる。各自の自覚による対応で、良い方向に進んでほしい。
		新聞販売店[広告](店主)	受注量や販売量の動き	・折込収入については、新型コロナウイルスの影響も薄れつつあるが、以前の水準にはまだまだ及ばない。
		その他非製造業[機械器具卸](経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、まだ企業が全面的に動き出していないため、当社の受注も少ないままで推移している。
	x	繊維工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスによる自粛の影響で、売上は前年比で90%減少している。自粛は緩和されたものの、販売が元に戻るまでには半年以上掛かると予想している。
	x	繊維工業(団体職員)	受注量や販売量の動き	・6月に入り、受注量は更に減少している。
	x	化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・学校や幼稚園関係の商材は、学校の再開と同時に動き出しており、一気に回復している。一方、飲食店やホテル向けの商材に関しては、前月が前年比で25%減であったのに対し、今月は5割減と、どんどん悪化している。
	x	金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・各自自動車メーカーによる生産停止や休業により、関連業界の工場稼働率が半減している。
	x	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・売上や引き合いなどは、ここ数月は激減したままである。
	x	輸送用機械器具製造業(役員)	受注量や販売量の動き	・今月から製造部門が休業となり、受注量が減っている。
	x	金融業[投資運用業](代表)	それ以外	・緊急事態宣言が解除されたからといって、経済活動がすぐに元どおりになるわけもない。今後の見通しも立たない上に、もし感染の第2波が来たらと考えると、復活に向けて経営資源を一気に投入することもできず、全く先がみえない状況である。
	x	広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、6月もイベントの中止や、広告出稿のストップが続いている。
	x	広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、広告はWeb媒体、紙媒体共に、控える企業が多い。
	x	経営コンサルタント	取引先の様子	・様々な業種の取引先がいるが、新型コロナウイルスの影響で各社とも非常に悪く、今後の見通しも立たない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	経営コンサルタント	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響については、先が読めない。これを機に事業を廃止する零細企業もいるが、新型コロナウイルスと共存し、できることをやると開き直る企業もみられる。政府からの支援金や自粛の緩和で客が戻り始めているため、壊滅的であった飲食業が一息ついている。
	×	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言の解除に加え、他府県への移動も解禁となったことから、今月の後半からは、駅の利用客が多少は増え始めている。駅構内の店舗の売上も回復し始めたが、その一方で新幹線の利用客数がまだまだ前年の半分にも満たないことから、新幹線の停車駅については壊滅状態が続いている。
	×	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、取引先に訪問できる状況ではなかったため、受注量、販売量は明らかに減っている。
雇用関連 (近畿)		-	-	-
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・緊急事態宣言が解除になり、悪いながらも徐々に求人数が増え始めている。
		アウトソーシング企業（社員）	雇用形態の様子	・雇用形態が変わり、期末手当が支給されている。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・前月に比べると、求人数は徐々に回復している。ただし、産休の代替や期間限定の求人が多い一方、求職者は長期雇用を希望しているため、人選に苦労している。
		学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・2週間続けて週末に百貨店へ出掛けたが、特別給付金が支給されたせいか、自粛要請前よりも人出が多く、夫婦での来店も多かった。少し消費が回復しているように感じる。
		アウトソーシング企業（管理担当）	それ以外	・仕事の依頼は多少あるが、採算の合わない物が増えている。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	求人数の動き	・各種の自粛が解除されたとはいえ、悪化した景気の回復ペースは鈍く、求人数も減少したままである。介護や運送といった人手不足が常態化している業界の求人についても、同様である。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・人材派遣を上手に利用してきた企業は、今回の新型コロナウイルスによる業況の悪化への対応として、どんどん派遣スタッフの契約を終了させている。前月は約4割が終了となったが、6月に入ってから6割近くの契約が終了となっている。特に、大手派遣会社が逆風を受けて苦戦している。この状況は上半期を通して続きそうである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・5月の有効求人倍率は1.20倍となった。前年の7月以降、前年比で11か月連続低下しているなど、景気は悪い。
		民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・緊急事態宣言の解除後、新卒採用市場では内定が始めているが、追加募集の動きが鈍いと感じる。また、新卒学生を採用するにしても、選考試験の合格基準が高くなっており、なかなか通過できないようである。前年の内定率は70%であったが、今年は65%と、前年と比べても明らかに下がっている。
	×	人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、求人数の減少が顕著であり、求職者の動きも鈍い。
	×	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、求人件数が前年の約50%で推移している。また、派遣先からの契約更新がないケースや、更新したものの、中途解約をしたいといった問合せが増えている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、関西の地元産業からの広告には動きが全くない。企業からは、宣伝費を使う状況ではないという意見が多い。
	×	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・5月は前月に続き、新規求人数、新規求職者数共に前年比で減少した。新規求職者数は全体的に減少したが、会社都合の離職者数は大幅に増えている。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が大幅に減少している。特に、高卒求人の減少が影響している。
	×	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・緊急事態宣言により、4～5月は外出を自粛していた人が、6月に入って求職活動を徐々に始めている。それに伴い、4～5月の新規求職者数は前年比で10～15%減であったが、緊急事態制限の解除後は急速に増加し、6月に入ってから20%前後増えている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・中途採用を行う企業数の減少には歯止めが掛かってきたが、1社当たりの募集人数は減少傾向にある。企業も採用に慎重になっており、選考の通過率も悪化している。
	x	学校〔大学〕（就職担当）	求職者数の動き	・前年度は秋まで採用活動を行っていた企業が、最近のヒアリングでは、今年度の採用を終える企業が出始めている。

## 9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連		家電量販店（店長）	販売量の動き	・買換えサイクル、巣籠り、特別定額給付金、気温上昇、主にこれらの要因が家電業界に追い風となり、エアコンや冷蔵庫を中心とした大型家電の販売が好調で、売上は前年比で2けた伸長している。
(中国)		競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・今月下旬に開催したSG競走で十分な売上が上がっている。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる自粛が少しずつ緩和され、観光客も少しずつ増加し、経済が少し上向きになっている様子だが、まだ実感が無い。
		一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	お客様の様子	・移動制限が解除されて遠方からの来客数が増加している。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・全国の緊急事態宣言解除後、来客数が増加している。休業中のアパレルが前倒しでセールを行っていることもあり、20～40代の若い客を中心に週末はにぎわっている。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・5月末頃より少しずつ客足が戻ってきてつつあり、6月も週末を中心に前年を上回りつつある。新型コロナウイルスの影響でまだ県外への外出を自粛している客が近場の商業施設へ向かっている。
		百貨店（外商担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、来客数が少しずつ増加している。
		百貨店（販売計画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスがやや終息したこと、特別定額給付金の給付があったことなどを背景に、一時的に売上が増加している。ただ、3か月前に比べてのものであり、新型コロナウイルス発生前よりも景気は悪い。
		百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響も落ち着き、来客数は回復傾向にある。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は、前年比88.8%と前年を下回っているが、前月比では2か月連続で増加している。緊急事態宣言も解除され、徐々に人の流れが通常に戻りつつある。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響による自粛が落ち着き、客足が戻ってきている。また、野菜等の高値が影響して単価も上昇している。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・売上は前年比133%、来客数は前年比135%と、新型コロナウイルスによる自粛が緩和されるなか、これまで買物を我慢していた客の購買意欲が向上している。特に、気温の上昇とあいまって夏物衣料はここ数年にない伸びを示している。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・客単価が前年より上昇している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は前年比80%強だが、緊急事態宣言解除以降回復傾向にある。
		コンビニ（支店長）	販売量の動き	・来客数は減少しているが、買上点数や客単価は明らかに上昇している。土用の丑の日のうな重の予約ペースが速い。客が外食を控え、お金に余裕があるため、おにぎりも単価が高い商品が好調である。
		衣料品専門店（代表）	来客数の動き	・県をまたぐ移動制限解除以降、徐々に客が戻っているが、引き続き自粛傾向にあるため、元の状態に戻るには時間が掛かる。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの第2波が懸念されるなか、キャッシュレス・消費者還元事業も今月で終了するが、特別定額給付金の給付で客の購買意欲が改善している。
		家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・来客数が減少している。
		家電量販店（企画担当）	単価の動き	・特別定額給付金が支給されてから高額商品を購入する客が増加している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店 (店長)	販売量の動き	・前月と比べると来客数が増加しており、多少新型コロナウイルスが落ち着いた感じを受ける。販売も上向きになりつつある。
		乗用車販売店 (店長)	お客様の様子	・来客数がようやく前年の85%程度まで回復、特にサービスを中心に客の動きが出ている。
		乗用車販売店 (営業担当)	来客数の動き	・来客数は前年を下回っているが、4月と比べると増加している。
		その他専門店 [和菓子](経営者)	来客数の動き	・外出自粛が解除され、徐々にではあるが人出が増加している。
		その他専門店 [土産物](経営者)	来客数の動き	・県境に位置するため移動制限が解除されてから来客数が少し増加しているが、前年比90%台で推移しており、まだ厳しい状況である。
		その他小売 [ショッピングセンター](支配人)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が始めた3か月前と比べると、回復基調の当月の方が売上は上向き傾向である。ただ、飲食関連は引き続き厳しく、3か月前とほぼ変わらない。
		高級レストラン (事業戦略担当)	販売量の動き	・前年比ではまだまだであるが、政府や自治体主体の観光援助政策により予約の動きがようやく出てきている。
		一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、客の様子が急激に変化している。飲食店が新型コロナウイルス対策をしている安心感を全面に出し始めていることで、客の安心感が生まれ、来店につながっている。
		一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で客の外出自粛が続き、これまでにない悪い状態であったが、緊急事態宣言の解除で少しだけ良くなっている。
		観光型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる外出自粛が解除され、旅行をしようとしている人が多くなっている。
		都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・宿泊は、移動制限がなくなったことでビジネス客が若干増加しているが、団体客の予約は皆無である。また、レストランではランチ客が増加傾向にあるが、ディナーや酒席を伴うグループ客はほとんど動きがない。ただ、緊急事態宣言の解除以降、駅周辺のショッピングセンターやデパートの再開が相次ぎ、人のにぎわいが復活してきている。
		テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・県をまたぐ移動自粛が解除されたこともあり、週末を中心に来客数が少しずつではあるが増加してきている。来客数は前年の1割減程度まで回復している。
		ゴルフ場(営業担当)	お客様の様子	・来客数は販売方法を変えたことにより前年同月と比べ7割程度まで回復してきたが、売上は5割程度でなかなか上昇してこない。ただ、4月の状況と比べると若干上向いている。
		住宅販売会社 (営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響も落ち着いてきたのが販売量が増加している。
		商店街(理事)	お客様の様子	・景気が新型コロナウイルスの影響や特別定額給付金の効果など特殊要因に左右されている現状では、景気が良くなっているか悪くなっているかを判断することが難しい。
		商店街(代表者)	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響による落ち込みを完全に取り戻してはいないが、新型コロナウイルス発生前の状況に戻りつつある。
		一般小売店[食品] (経営者)	販売量の動き	・食品スーパーとしての景気は今のところ好調に推移している。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・客が自粛ムードから徐々に外出するようになり、来客数も戻りつつあるが、今後への不安もあり消費行動には消極的である。
		百貨店(売場担当)	販売量の動き	・数百万円の美術品や高級腕時計が売れているが、必ずしも景気が良くなっているとはいえない。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・まとめ買いなど新型コロナウイルスの特需で売上は前年を上回っているが、来客数は前年割れが続いている。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・3か月前と比べて、客単価は低下しているが、来客数は変わらない。
		スーパー(管理担当)	販売量の動き	・売上は前年から10%以上増加しているが、新型コロナウイルスによる特需で景気回復による増加ではない。
		スーパー(業務開発担当)	販売量の動き	・野菜類や豚肉等の価格高騰が販売点数の落ち込みをカバーしている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ(副地域ブロック長)	単価の動き	・新型コロナウイルスによる自粛が解除され、客の動きが活発になっているが、依然として主力商品のお弁当などの買い控えがある。ただ、特別定額給付金の給付もあり、購入単価は上昇している。
		乗用車販売店(営業担当)	お客様の様子	・来客数が少ない。また、依然として出勤人数や出勤日数が制限され、給与が減少している会社もある。
		住関連専門店(営業担当)	単価の動き	・特別定額給付金の給付もあり高額商品が売れている。
		一般レストラン(経営者)	お客様の様子	・4～5月の落ち込みからは回復したが、3か月前と比べると売上は変わっていない。一般の客は戻ってきているが、客単価の高い宴会、仕事仲間や友人同士など多人数での飲み会はほとんどない。
		その他飲食[サービスエリア内レストラン](店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が続き、変わらない。
		観光型ホテル(営業担当)	来客数の動き	・近郊で大規模な工事があり、関係者の宿泊予約が7月末まで入っている。
		都市型ホテル(総支配人)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されたが、ビジネス、レジャー共に動きは鈍く、間際の予約や先行予約も低調である。
		都市型ホテル(企画担当)	来客数の動き	・3～5月に掛けて大幅に下降し、底は脱したものの、景気が良くなっているとはいえない。
		旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・県外への外出ができるようになったが、新型コロナウイルスの影響が残り、なかなか思うような旅行の相談がない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・若干客が戻ってきた様子はあるが、夜の飲み屋関係はまだまだ悪い状況である。また、県外からの来訪、特にビジネスマンの来訪が少ない。
		通信会社(総務担当)	販売量の動き	・固定通信サービスへの加入申込件数の増加傾向が続いている。
		通信会社(企画担当)	お客様の様子	・支払猶予の要請は、3月以降ほとんどなく、その点では売上への影響がほとんどないが、新規契約の申込みが鈍化しており、緊急事態宣言解除以降も、戻っていない。
		通信会社(工事担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる影響が大きい。
		通信会社(経理担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響もあり、必要以上にサービス等を増やしたり、変更したりする客が少ない。
		設計事務所(経営者)	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響で着工を延期することを検討していた案件が工事を進める方向に変化するなど前向きな状況が出てきている。
		設計事務所(経営者)	来客数の動き	・来客数が少しずつ回復しているが、まだまだ多くはない。
		設計事務所(経営者)	来客数の動き	・移動制限は解除されたが、引き合いや来客数は低調な状況が続いている。
		商店街(代表者)	単価の動き	・緊急事態宣言が解除され、商店街の人通りが少し元に戻ってきているが、売上は回復していない。
		百貨店(経理担当)	販売量の動き	・休業していたショップも再開し、売上も徐々に回復傾向にある。しかし、観光営業はいまだに厳しい状況である。クリアランスやお中元ギフトセンターの前倒しなどを行い、一部売上が前年を上回っている部門もあるが、全体では前年の7割程度である。
		百貨店(営業担当)	販売量の動き	・クリアランスやプレクリアランスが前年と比べ1か月前近く前倒しになり、販売量は前年と比べ10%程度の減少にとどまっている。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・3か月前と比べ、前年と比べた来客数の減少幅がやや拡大している。
		スーパー(店長)	お客様の様子	・客の購入数量が減少し、売上も下降線をたどっている。
		スーパー(財務担当)	販売量の動き	・政府の自粛要請解除により、大型商業施設が営業を開始し、既存店売上が前年は上回っている。ただ、自粛要請期間中と比べると3%程度減少している。
		衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・4～5月は展示会が開催できず、6月ようやく展示会を開催したが、新型コロナウイルスの影響で客の購買意欲が低下したままである。
		乗用車販売店(営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で今買わなくてもいい客は無理して買わない傾向がある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他小売 [ショッピング センター] (管 理担当)	お客様の様子	・緊急事態宣言解除以降、土日は幾分客が戻ってきているものの、依然として新型コロナウイルスの影響が続いているため、売上は戻っておらず、平日は引き続き厳しい状況が続いている。今後、第2波、第3波の可能性もあり、市場感もまだ回復しているという楽観的な見方ができない状況が続いている。
		一般レストラン (店長)	来客数の動き	・3月の時点で既に新型コロナウイルスの影響を大きく受けていたが、そのときと比べても状況は良くない。常連客は戻ってきているが、観光客はほとんど見掛けない。会社員などの集まりも少人数が多く、団体の来店は予約を含めても0の状態である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・タクシーの稼働台数を増やしたが、売上は良くない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で依然として客の動きが悪い。
		タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる自粛要請がなくなり、前月よりは良くなっているが、3か月前と比べるとやや悪くなっている。
		放送通信サー ビス(総務経理担 当)	それ以外	・ケーブルテレビ利用料は家計からの料金支払が主体であり、料金の延滞金額が前月に比べて増加し、ここ1年で最大となっている。時節的な動きが生じるタイミングでもないの、新型コロナウイルスの影響が企業から家庭へ波及してきている可能性がある。
		美容室(経営 者)	単価の動き	・客を取り戻すため、単価を下げたり、値下げサービスをしたりしているが、来客数も売上も減少している。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除された後も、密になる対面接触型の集客イベントができず、商談数が減少している。
		住宅販売会社 (営業所長)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で客が様子見していることもあり景気は悪くなっている。
	×	商店街(代表 者)	販売量の動き	・一般小売業種の販売量が2~3割減少している。また、商店街にある飲食店やライブハウスは開店休業状態である。
	×	商店街(代表 者)	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後、来客数が若干戻ってきたとはいえ、状況はほとんど変わっていない。
	×	一般小売店[印 章](経営者)	販売量の動き	・個人の来客数はさほど変化がないが、事業所からの注文が少なくなっている。
	×	一般小売店[洋 裁附属品](経 営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、人通りが少なく、販売量も減少している。
	×	コンビニ(エリ ア担当)	来客数の動き	・外出の自粛要請がなくなり、多少、来客数が増加しているが、前年の90%までしか戻っていない。
	×	乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・6月の販売台数は前年比72%で大変厳しい状況であり、特に登録車の落ち込みが大きい。
	×	自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・周りの企業やそこに勤める人の状況が悪く、自社の仕事にも影響が出ている。
	×	自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が依然として大きく、月を追うごとに販売量が激減している。
	×	その他専門店 [布地](経営 者)	来客数の動き	・少しは良くなっているが、前月とほとんど変わらず、街を歩く人が少ない。
	×	その他専門店 [時計](経営 者)	来客数の動き	・今年に入り、来客数は、新型コロナウイルスの影響で、商店街も食品スーパー以外は激減していたが、今年に入り、少しずつ増加している。ただ、来街者が元に戻るには時間が掛かる。
	×	スナック(経営 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、景気は落ち込んだままであり、回復の兆しは見えてこない。
	×	旅行代理店(支 店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で引き続き旅行事業は非常に厳しい状況となっている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で乗車率が悪くなっている。
	×	通信会社(広報 担当)	お客様の様子	・全体的に買い控えの様子があり、景気は悪くなっている。
	×	通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・家計の節約傾向がより厳しくなっている様子である。
	×	テーマパーク (管理担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなっている。
	×	観光名所(館 長)	来客数の動き	・緊急事態宣言解除、県をまたいでの移動自粛も解除となったが、外出に対して抵抗があるのか、来客数は戻ってきていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	その他レジャー施設 [温泉センター] (担当者)	来客数の動き	・来客数、売上共に3か月前と比べると悪い。
	x	美容室 (経営者)	それ以外	・依然として新型コロナウイルスの影響が残っており、客が無駄な行動を控え、来店間隔を伸ばしている。
企業 動向 関連  (中国)		輸送用機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・既に景気の底は脱し、良くなっている。
		輸送業 (支店長)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスへの対応で新規にオンラインショップを開設したいと考える客が増加しているため、ネット通販の需要が高まっている。
		通信業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で受注が伸び悩んでいるが、医療、介護、飲食、観光業など特定の業態を除くと商談件数は持ち直している。
		不動産業 (総務担当)	それ以外	・来客数や成約件数が増加している。
		農林水産業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言解除後に、料理屋、魚屋関係からの注文が少し回復の兆しを見せているが、まだまだ少なく、動きが悪い。
		鉄鋼業 (総務担当)	取引先の様子	・取引先の稼働状況が悪く、発注量が低下している。
		一般機械器具製造業 (管理担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスが終息していないため、景気は変わらない。
		建設業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注済の物件等は、多少の前後はあるが順調に推移している。また、資機材の調達についても大きな問題は無い。
		金融業 (融資企画担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で地元完成車メーカーの世界販売が低迷し、在庫調整のため生産を抑制していることから、系列の地元部品メーカーの受注は5月が前年の5割、6月が前年の6~7割程度の低水準となっている。
		食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量が徐々に増加してきているが、業務用や土産関係は20~30%しか改善しておらず、依然として厳しい状況である。
		食料品製造業 (総務担当)	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響で客である外食産業が自粛していたため、打撃を受けている。
		木材木製品製造業 (経理担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で受注量や販売量が減少している。外出自粛が解除されたことで少しずつ動き始めているが、厳しい状況が続いている。
		非鉄金属製造業 (業務担当)	受注量や販売量の動き	・金属製品の受注量が減少している。
		電気機械器具製造業 (総務担当)	取引先の様子	・受注残となっていた製造装置は取引先の要望により再開時期が未定である。また、海外子会社の稼働状況も100%ではなく見通しが不透明である。
		輸送用機械器具製造業 (経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・3か月前は新型コロナウイルスの影響が少なく、受注量の落ち込みは小さかったが、6月は3か月前の半分以下の受注量となっている。
		輸送業 (総務担当)	取引先の様子	・客からの受注量が大幅に落ち込んでいる。
		通信業 (営業企画担当)	取引先の様子	・依然としてテレワークで勤務している客も多く、取引案件が動かない。
		金融業 (貸付担当)	取引先の様子	・経済活動や消費行動は少しずつ元に戻ってきているが、取引先の資金繰りは改善しておらず、厳しい状況が続いている。
		広告代理店 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による休止、延期、中止に伴い、客からの受注が減少傾向にある。
		x	繊維工業 (監査担当)	受注量や販売量の動き
	x	化学工業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が徐々に実績として表面化しており、直近の売上、粗利は共に前年同月比15%の減少となっている。
	x	窯業・土石製品製造業 (総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスや客の生産設備縮小の影響で受注量が激減している。受注量の減少に伴い、多い部署では月7日の臨時休業を実施している。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・景気は悪くなっており、回復の見通しも不透明である。
	x	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注激減のため、雇用調整助成金を活用した帰休を週2日行っている。工程によってはそれでも定時間割れとなっているため、その時々を生産状況に応じて帰休にしている。
	x	輸送用機械器具製造業（財務担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で新造船商談が停止したが、依然として商談再開のめどは立っていない。新型コロナウイルス以前に進めていた継続案件の多くも仕切り直しとなっている。
	x	輸送業（総務・人事担当）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言解除に伴い徐々に動きは出てきているが、解除前に比べると大幅に落ち込んでおり回復の見込みはない。
	x	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が始めた3月よりも状況は更に悪化しており、取引先からの値下げ要請も増加している。
雇用 関連 (中国)		-	-	-
		民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・停滞していた採用活動が徐々に再開し、6月になり移動機会が増え、新たな求人の引き合いが発生するなど、少しずつではあるが、景気は上向きかけている。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	周辺企業の様子	・6月に入り、身近な企業が通常どおり採用を行う様子が目立つようになっている。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で求人、求職の動きが遅れることを予想していたが、6月以降は遅れることなく動き出している。業界によって影響の大小があるため、求人が止まっている業界もあるが、影響の小さい業界は徐々に以前の動きに戻りつつある。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	雇用形態の様子	・2021年度の新卒採用については、ほとんどの企業が採用予定人数に変わりはないとしている。前年までと違い、いい人材がいなければ無理をして採らないという方向に変化している。中途採用も金を掛けてサイト掲載する企業が大幅に減少し、ハローワークのみで十分応募者が来るようになっている。採用は企業の業績によるところがかなり大きい。
		職業安定所（雇用関連担当）	求人数の動き	・新規求人数が減少し、求人倍率が低下するなど、景気は悪くなっている。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・求人数が例年同時期よりも若干減少している。
	x	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・求人数は前年比5～6割で推移しており、不人気職種だった介護なども求人が減少している。減少する一方の求人数をカバーする術がない状況である。
	x	人材派遣会社（経営戦略担当）	求人数の動き	・景気に敏感に反応する人材派遣の求人数の落ち込みが大きい。
	x	求人情報誌製作会社（営業担当）	採用者数の動き	・2021年卒の新卒内定者の動向をみると、前年同時期と比較し、新型コロナウイルスの影響で採用選考が遅れている。また、企業によっては前年比で内定数を絞るといった声も出てきている。
	x	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・有効求人倍率は全国でもトップクラスながら、4月の低下幅はオイルショック後の1974年11月以来の大きさとなっている。製造業を中心にほぼ全業種で低下している。
	x	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、宿泊業・飲食サービス業で旅行者、利用者が大幅に減少したことや感染症拡大防止のため休業を行っている事業所が多くみられたことなどから、前年同月比で9割減となっている。新型コロナウイルスの影響が顕著で求人全体でも3割の減少となっている。
x	職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・新規求人数を前年同期と比較すると40.8%減、有効求人数は32.3%減と大幅な減少となっており、新型コロナウイルスの影響が大きくなっている。新規求人数の直近3か月を同様に前年同期と比較しても25.1%減少している。産業別も同様で、教育・学習支援業や公務・その他を除いて軒並み減少している。有効求人倍率は、3月が2.34倍、4月が1.92倍、5月が1.55倍と低下傾向にある。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	その他雇用の動向を把握できる者	求人数の動き	・有効求人数が全般的に減少傾向である。特に娯楽・飲食・サービス業の求人数の減少が顕著である。

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (四国)		家電量販店（副店長）	来客数の動き	・特別定額給付金の給付と気温の上昇に伴い来客数が増加し、売上も増加している。
		商店街（事務局長）	販売量の動き	・政府による種々の経済的支援が遅ればせながら届き始めたことと、新型コロナウイルスの猛威が国内では一旦沈静化に向かっていることから、少しずつ経済活動が活性化し、消費に明るさがみえる業種も出始めている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・6月に入り、四国内では新たな新型コロナウイルスの感染が発生していないこともあり、かなり来客数が戻ってきている。県をまたいだ移動自粛も解除となった土日は、かなりの人出でにぎわっているが、夜の街は依然として飲食業を中心に厳しい状況である。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・全く人通りがなかった繁華街に少しずつ来客数が戻ってきている。まだ必要最小限の商品のみ購入する客が多いが、送別会などで居酒屋を利用する客も増加してきている。
		百貨店（営業管理担当）	お客様の様子	・来客数は依然として少ないものの、休業期間の反動と特別定額給付金の効果で客単価と買上率は上昇しており、売上は若干の回復傾向となっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されて以降、家庭内食材料や衛生用品の販売点数が増加し、売上高が前年を上回る状態が継続している。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・来客数は減少しているが、巣籠り消費の影響で買上点数が増加し、客単価が上昇している。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・3～4月は相当厳しい状態が続いたが、5月の中旬頃から6月一杯まで来客数が増加し続けており、景気の回復を感じている。
		衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・前月までと比較すると来客数は戻りつつあり、セールの前倒しもあって、売上は前年並みに推移している。しかしながら、セールの効果がなければ、まだまだ厳しい状況である。
		乗用車販売業（営業担当）	来客数の動き	・しばらく県内で新たな新型コロナウイルスの感染がないため、来客数が増加している。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・店頭への来客数が増加しており、新型車に対する関心度も高まっている。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・外出自粛の影響で、家で酒を飲む人が増加していると感じる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	来客数の動き	・来客数は徐々に増加してきており、3か月前に比べると最悪期は過ぎたようであるが、前年比では7～8割程度の状況である。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス関連の規制が緩和され、来客数が戻りつつある。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が収束しつつあり、来客数が少しずつだが回復傾向にある。
		タクシー運転手	お客様の様子	・2～3か月前と比較すると、週末は来客数が1～2割増加しているが、全体的には厳しい状態が続いている。当市でもタクシー会社2社が廃業に追い込まれた。
	競輪競馬（マネージャー）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる営業自粛が解除になり、消費者の行動も活発化し始め、少しずつ経済活動が戻ってきている。感染の第2波を警戒しながらも景気は回復傾向にある。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・今まで自粛していた客に動きが出てきた。	
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・営業での来客数が、前月よりも大幅に増加した。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・来客数が若干増加傾向にあり、景気は最悪の事態を脱したように思われるが、まだまだ厳しい状態が続いている。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・自粛解除後も依然として内食需要は高まっており、来客数と売上高が前年と比べ増加傾向のまま推移している。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数が減少したままの状態が続いている。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・6月から外出自粛解除や学校再開、企業の本格稼働などで前月より売上は回復している。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・特別定額給付金で購入に走る人と今後を見据えて買い控える人が半々の状況で全体としては変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の受注件数は持ち直しつつあるが、販売台数の回復は遅れている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・3～5月に比べれば明らかに来客数と売上が増加しており、特別定額給付金の効果を実感している。しかし、依然として厳しい状況は続いており、今後も回復傾向が続くかは不明である。
		衣料品専門店（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、依然として買い控えをする客が多く、来客数が伸びない。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が出ているが、さほど大きなダメージは受けていない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されても人の動きは戻っていない。また、新しい生活様式自体が楽しいものではないので、金を払ってまでサービス業を利用しない人が多い。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で年内の新規受注が全くない。その上年内の修学旅行を中止する学校も増えている。
		通信会社（営業部長）	販売量の動き	・来客数、販売数共に前年比9割程度まで回復している。
	×	商店街（代表者）	販売量の動き	・現時点では前年同様の売上には全く達しておらず、景気及び消費動向は上向いていないと感じる。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・人々の消費行動や生活様式が大きく変化する可能性が高い。実在店舗が新たな消費行動に対応すべく努力しても、ますますネットショッピングを利用する客は増加し、過剰店舗の大整理が始まる。
	×	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で取材ができないなどの理由で、雑誌の発売中止や延期が続いている。
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、外食控えや繁華街への外出自粛がまだまだ尾を引いており、業務用主体の販売では売上の回復が難しい状況である。
	×	スーパー（店長）	販売量の動き	・買上点数は依然として多いが、新型コロナウイルス関連による特需は一段落したように感じる。
	×	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・新型車のイベントでも来客数が伸びない状況にある。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・外出規制は緩和されたが、抜本的な解決策がないため、依然として来客数は伸びない。
	×	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが一段落するまで、ホテル、旅館、飲食業は厳しい状況が続く。
企業 動向 関連  (四国)		農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・青果物は、冬春作から夏秋作に産地が切り替わる時期であることに加え、梅雨の影響もあり市場入荷が少なためであるため、卸売価格は堅調に推移している。業務用品目の引き合いは、やや改善するも前年と比較すると低調である。花きは、引き続き厳しい状況が続いている。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・外食やレジャー施設等からの発注が少しずつ増加してきている。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・5月は、取引先小売店がほぼ休業していたため、受注数が前年比で50%弱となった。6月に入り、小売店がおおむね開店したため受注数は回復しつつあるが、来客数の戻りは鈍く、インバウンド中心の小売店は相変わらず厳しい状況である。6月の売上高は、自社ネット販売が大きく伸びたことにより、前年比90%強まで回復している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・県内外の行き来ができるようになって、にわかには活気付いているという印象を受ける。既に受注数も回復しつつあり、新型コロナウイルスの影響の収束を感じる。
		化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による需要減少は3月から発生したが、当社の受注ベースではタイムラグがあるため5～6月が底になっている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共事業の発注は予定どおりに進められており、受注機会にも大きな変化はない。しかし、新型コロナウイルスの影響で協議や現地立入り等が制限されることによる工程延伸や、テレワークによる生産性への影響が懸念される。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、民間への営業活動の不足が響き、受注が伸びない状態である。
		税理士事務所	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響を引き続き受けており、顧問先の売上は増加していない。
		輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・経済活動の制約により受注量が減少した本州の同業者が、輸送の外注を取りやめ、不採算であっても自社車両で四国まで荷物を輸送する事例が増加しつつある。本州の同業者にとっても苦渋の選択だと思うが、本州の同業者が外注する輸送案件を帰りの荷物として期待していた四国の事業者にとって深刻な問題となっている。
	×	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で受注数が減少しており、回復の見込みがない状態が続いている。
	×	鉄鋼業（総務部長）	取引先の様子	・取引先の主力造船会社からは1年先まで受注を確保できているが、新型コロナウイルスの影響はその後に表示されると懸念している。その他の産業機械等の取引先は海外との営業活動が完全にストップしており、当社への受注も減少している。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響もあって、海外工場の一時閉鎖や時短勤務、海外での受注や売上の一部に延期の動きがある。
	×	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・休業する取引先が多く、厳しい状況が続いている。
	×	輸送業（経理）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響により国内物流の動きが鈍化している。取引先荷主の需要減少や販売不振により在庫過多となり、製造等の供給側も低調な動きが続いている。また、農作物の豊作による値崩れを調整するための作付面積の削減や生産調整の影響も懸念される。
	×	金融業（副支店長）	取引先の様子	・4月以降の試算表に新型コロナウイルスの影響が実数となって表出しており、取引先の大部分は売上が激減している。
雇用 関連	-	-	-	-
(四国)		人材派遣会社（営業）	採用者数の動き	・依然として、新型コロナウイルスの感染拡大が雇用や採用に大きく影響している状況が続いている。従来型の合同説明会が中止になり、面接はオンラインで実施しているが、来春の採用活動も先行き不透明であり、当初採用予定人員は減少傾向にある。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣の依頼件数が4月以降激減している。
	×	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・新型コロナウイルスの影響により生産現場での人材需要が激減している。
	×	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・飲食、サービス、観光に関連する企業は、この3か月ほぼ正常に稼働できていないため、事業の継続が難しくそうな中小企業が多く見受けられる。追加融資等を受けられたとしても返済の見通しが立たないため二の足を踏んでいる企業も散見される。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、広告業界、特にイベント部門の売上が大きく落ち込んでいる。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・一般求人及び高卒の求人件数が減少している。
	×	職業安定所（求人開発）	周辺企業の様子	・5月の有効求人倍率は1.16倍で3か月前と比較して大幅に減少しており、前年同月と比較しても減少となっている。新型コロナウイルスの感染拡大による影響で事業所閉鎖や事業縮小等による人員整理を実施する事業所が出てきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス関連の緊急事態宣言が解除されたが、県内の観光地に以前のようにぎわいは一向に戻ってこない。まだまだ新型コロナウイルスにおびえている国民の様子がうかがえ、先行きは不透明である。

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (九州)		商店街（代表者）	来客数の動き	・3～4月に比べると、特別定額給付金の効果もあって、確実に客の出足が戻っている。
		一般小売店〔青果〕（店長）	それ以外	・今シーズンのマンゴーは、相場は前年並みで、全体的に動いている。関東方面でも引き合いが強く、全国的に物が動き始めていると実感している。
		百貨店（売場担当）	競争相手の様子	・全店合計の比較では3か月前76%、今月は90%で14%ほど上昇している。要因として、一部店舗での衣料品が、110%を超えているのが特徴である。ただし、レストランや食料品は、60%の売上である。特別定額給付金の効果も出ており、3月よりかなり改善されている。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・特別定額給付金が行き渡り、購買意欲の高い客が非常に多い。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、3～4月は非常に落ち込んだが、5月の中旬から特別定額給付金が支給され、家電の需要の数字が大幅に上昇し、落ち込んだ分を十分取り戻している。
		家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる自粛で、巣籠り生活向けの調理家電を筆頭に、ほぼ全分野の商材が売れている。加えて、特別定額給付金10万円の追い風の影響も大きい。
		家電量販店（広報・IR担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる外出自粛が解除され、また、特別定額給付金の給付も始まったことにより、客数や販売が共に伸びている。しかし、特殊要因でもあるため、今後の状況を注視していく。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、客の来場が大きく減少していたが、少しずつ来客数が増えており、購買意欲が高い客も増えている。買い控えがなくなり始めたようである。
		住関連専門店（従業員）	お客様の様子	・在宅率が高い影響で、チラシ広告が過去にないほど費用対効果の高いものになっている。また、外出自粛期間に自宅の掃除・整理がなされ、家具や寝具の買換えをする来店客が多くなっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・県をまたいだ移動自粛がなくなったことで、ビジネス客を中心に、宿泊数が徐々にではあるが増えている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・緊急事態宣言による外出自粛が発令された県に比べると格段に消費行動が活発になっている。前月までは、お得意様にダイレクトメールを出しても来店客がほとんどなかったが、今回のダイレクトメールには新型コロナウイルス発生以前並みの反応がみられている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による3～5月の最悪な状況からは脱しており、商店街の客数や単価共に上昇している。特別定額給付金10万円の給付やキャッシュレスポイント還元が今月で終了することで、若干の駆け込み需要や余裕が出て、自粛していた客が買物に来ている。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる深刻な状態から、今までどおりではないが動き出している。まだ再開していない店もあるが、徐々に上向いてきている状態である。しかし、楽観視できない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・3か月前と比較するとやや良くなっているが、紳士・婦人衣料品や宝飾関連は、相変わらず厳しい。食品は、悪いながらも何とか頑張っているが、相対的には厳しい状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言解除後、不調であった衣服住部門の売上が確実に改善傾向にある。特に、日用品の回復は顕著であるが、一方で旅行関連やアウトドア関連商品の動きは余り良くない。巣籠り需要要素の高い商材は、確実に回復している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染防止対策の緊急事態宣言が解除されて以降、街中には徐々に人の流れが戻っている。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言解除後、当たりくじ等のイベントもあり、集客はやや上向きである。
		衣料品専門店（店員）	来客数の動き	・3か月前と比較すると確実に客数は増加している。
		観光型ホテル（総務）	来客数の動き	・館内のレストラン利用客が、週末に限り徐々に増えている。しかし、夜間の飲食客は依然低調である。宿泊客もようやく稼働率が上がっている。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、客の動きが鈍化し、業種によっては予算が変更になることもあるものの、予定どおりの企業も多く、一気に動き出している。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・光回線の販売件数が、増加している。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比較すると緊急事態宣言が解除されてから、客足が徐々に動いている。しかし、まだ慎重になっているため、やっと動き始めた状態である。
		美容室（店長）	お客様の様子	・3か月前は、最低の来店客数であった。今月はやや良くなっているものの、まだ、見通しが立たない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来店客数や売上が悪い。自粛要請が解除されたため、先行きは明るくなると考えられるが、現実には厳しい。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、大幅な売上減少を想定していたが、横ばい、又は上昇である。要因としては、定期的に製造業の受注があったことにある。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・催事場での3密防止対策を実施し、平日は時短営業、下旬から土日祝の時間延長で全館営業しているが、依然周辺商店街を含め活気が戻っていない。店内では来店時間に変化があり、平日は午前中に、土日は昼間の来店が多く、共に16:00以降は減少している。目的買いの来店が多く、買物が終わると店内回遊はせずに帰宅する客が目立つ。お中元ギフトは早期受注コーナーと通信販売の開始を早め、成果が出ているが、感染防止対策販売スタイルによる来店客の違和感減少している。来店客数や購買客数は回復していないが、目的買いの来店で紳士婦人衣料雑貨、リビング自家需要商材を主に、客単価・商品単価共に好調に推移している。
		百貨店（業務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの自粛はある程度解除されたものの、感染発生ニュースもあり、客はまだ慎重である。多くが必要な外出にとどまっておき、入店状況も以前より回復したとはいえ、まだ例年とまではいかない。
		百貨店（プロモーション担当）	販売量の動き	・客の消費には回復の兆しもみられるが、県をまたぐ遠方客及びインバウンドの復活は、まだしばらく時間を要する。
		スーパー（店長）	単価の動き	・来店客数は前年比97%で推移しているが、買上点数は、前年より0.4点多くなり、1人当たりの買上金額が前年比107%で推移、売上は前年比105%で推移している。食品は、絶対好調である。しかし、新型コロナウイルスの影響により、衣料品は前年の97%までには上がってはいるが、依然として苦戦が続いている。
		コンビニ（エリア担当・店長）	単価の動き	・来店客数は前年比で1割減少しているが、客単価が高くなっており、売上はどうか前年並みに回復している。客単価が高い状態が継続すると、売上は上昇していくが、客単価や買上点数が低くなると徐々に前年割れになると予想される。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・依然として商店街に人出がないため閑散とし、来店客もない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店 (取締役)	それ以外	・3か月前は休業しており、売上の先行きのみえず、真っ暗な状態であったが、今月は若干買い回りもある。ファッション業界では季節商材を扱っているため、既に値引きを始めなければ、売れない状態になる。利益幅は非常に少なくなっているが、3月に比べれば、若干の動きはある。
		衣料品専門店 (総務担当)	来客数の動き	・3月は新型コロナウイルスの影響で、4月は緊急事態宣言が発令され、5月にはやっと解除されたが、来客が戻る気配はない。
		住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・緊急事態宣言解除により、客足が戻っている。また、キャッシュレスポイント還元が今月末で終了し、駆け込み需要もある。
		その他専門店 [コーヒー豆] (経営者)	お客様の様子	・2～3か月前と比較すると来店客は若干減っているが、新型コロナウイルスによる巣籠りの影響もあり、1人当たりの購入量が増加しているため、売上はほぼ横ばいである。
		その他専門店 [ガソリンスタンド](統括)	販売量の動き	・燃料油の小売価格は、上昇傾向である。5月の燃料油の販売量は、前年をやや下回っていたものの、6月は前年並みに戻っている。
		その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター] (支配人)	販売量の動き	・新型コロナウイルスによるマイナス影響は、緊急事態宣言発令時よりは薄れてきたものの、テナントの多くは経営状況が厳しく、予断を許さない。自粛期間中の反動で客の購買意欲は上がってきており、回復の兆しは出ている。ただ、核店舗であるシネマコンプレックスやアミューズメント施設は、まだ前年比で20～30%であり、早期回復を期待したい。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言は解除になったが、まだまだ影響を受けている。店を再開はしたものの、来店客数は非常に少ない。ただ、ほんの少しではあるが、月後半に若干来客数が増えている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・少しずつ元の状態に戻りつつあるとはいえ、イベントやインバウンド、国内観光客の回復すらままならない現状では、タクシー利用者の増加は望めない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は、若干人の動きがあるが、タクシーの客は増加していない。
		通信会社(営業担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響は大きく、少しずつであるが改善されると考えられるが、その効果は、今後現れてくる。
		ゴルフ場(従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が、まだ続いている。
		競馬場(職員)	来客数の動き	・引き続き無観客での営業となっているため景況は悪い。
		その他サービスの動向を把握できる者(所長)	お客様の様子	・客へパーティや会場貸しのサービスを行っているが、予定していたイベント等が、この数か月ほとんどない状態である。客との打合せでも、しばらくこの状態が続くのではないかと懸念している。
		その他サービスの動向を把握できる者[介護サービス](管理担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、客からのキャンセルが継続しており、売上高・利益減につながっている。
		設計事務所(所長)	来客数の動き	・県境越えの移動が解除されているものの、観光客は土日でも2割程度しかなく、平日は増えていない。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスも収束に向かい、通常の状況に戻りつつあるが、景気は、上下に動いておらず、横ばいである。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・緊急事態宣言解除後、受注状況は若干上向き傾向になっているが、展示場来場者数等新型コロナウイルスの影響はまだ大きいと実感している。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除されたが、本市では、外出が多くなるほとんどの夏のイベントが、第2波、第3波を恐れて中止になっている。客は外出をまだ控えており、百貨店や商店街、露天商では、最悪の状態である。
		一般小売店[生花] (経営者)	来客数の動き	・夏に近づいているため、生花の持ちも悪くなり、客の動きも微妙になっている。
		百貨店(売場担当)	販売量の動き	・3月の後半から来店客数の減少が続いていたが、緊急事態宣言が解除され、若干来店客数や売上が回復傾向ではあるが、まだ戻りきれしていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・2月以降続いてきた巣籠り需要は、客単価や買上点数の上昇が一番の要因であるが、新型コロナウイルスの状況も一定の落ち着きを見せ始め、これらの数値が段々と落ちている。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの自粛が落ち着いているが、3密にならない販売方法の影響で、客数は大幅に落ちている。経済活動の活性化が始まり販売量も徐々に前年割れに戻っているが、野菜は高値が続ぎ販売額も大きい、それ以外は落ち込んでいる。
		スーパー（統括者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、内食率が上がり、売上もかなり上昇しているが、緊急事態宣言解除後は、次第に勢いも弱まりつつある。社会経済が、全体的に通常に戻っていると考えられる。
		観光型ホテル（専務）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による地域活性化のため、市や県の宿泊への補助金支給の施策により、多くの宿泊がある。しかし、この補助にも期限があるため、その反動がとて不安である。その上、団体の宿泊客がないため、いつ回復するのか先がみえない。
		タクシー運転手	それ以外	・外出自粛要請が解除され、人々が街に戻っているが、新型コロナウイルスに対する不安があり、第2波のことを考えると、このままでは収束が不可能である。
	×	商店街（代表者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、景気が回復していない。今年はこのまま低迷状態が継続すると予想され、厳しい状況である。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言解除になってもかわらず、来客数が、急激な下向き傾向である。
	×	一般小売店〔精肉〕（店員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、飲食店への販売量が依然として減っている。
	×	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	お客様の様子	・店頭販売では、徐々に客の入店も戻り始めているが、まだ完全ではない。客は高齢者が多く、慎重に行動している。外商販売はまだ通常の半分も戻っておらず、テレワークがそのままできる状態の企業では継続されている。売上が戻るには、相当な時間が必要である。
	×	百貨店（総務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きく、特に飲食テナントのランチは幾分回復傾向はみられるものの、ディナーや宴会需要は全く回復できていない。また、行政を含め夏の祭りやイベントの中止により、浴衣や水着等の季節商材が全く動かず、今月末からのアパレルクリアランスセールも見通しは暗い。
	×	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・客数は、2～3割減少になっているが、客単価は創業以来の最低レベルの数字になっている。1人でも多くの来店があることを望んでいる。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は、いまだに続いている。来客数は増加傾向にあるが、前年の数字には程遠く、売上も前年を下回っている。商品別では、プリペイドカードやゲームカード等自宅でできるものの売上が伸びているが、やはり売上は厳しい。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス緊急事態宣言前の人の行動パターンには戻っていない。テレワークの増加、行楽やイベントの減少、外食、飲み会の頻度が減少しており、人の動きが少なくなっていることで客数の減少につながっている。
	×	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、月の1週目は、客の出足がほとんどない状態であったが、月中旬から、ぼつぼつ来客が出ている。
	×	乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来店客数が大幅に落ち込んでいる。新車販売台数が減少し、売上及び利益が確保できず、非常に厳しい状態が続いている。
	×	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	来客数の動き	・営業再開したが、新型コロナウイルスの影響で外国人観光客の来店がなく、売上が上がらない。インバウンドが復活するまでは厳しいと考える。
	×	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・まだまだ、新型コロナウイルスの影響が大きく、会社関係の会食や接待の予約が入らない。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来客の動きが全くなく、前月比95%以上の減少になっている。当店は、海外や県外からの観光客がほとんどで、また、歓送迎会、イベント打ち上げ、移動等の食事会など、人との集まりが全くゼロになり、ひっ迫している。
	×	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・観光客が激減し、低迷している。
	×	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	販売量の動き	・新型コロナウイルス緊急事態宣言が解除され、4～5月の最悪期から比較すると改善はしているものの、落ち込みが大き過ぎたため、通期の業績見通しは厳しい。また、3月以前と比較しても元には戻りきっていないのが現状である。感染拡大抑制が最優先であるが、観光業や飲食店を促進する政策により、各地域での消費が増加し、納入業者にも活力が戻ることに期待している。
	×	都市型ホテル（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による宿泊者激減により、秋までの販売数が伸びていない。
	×	旅行代理店（従業員）	それ以外	・国内はGo To Travelキャンペーンの効果に期待したいが、詳細がまだみえない。海外アウトバウンドは、外務省の感染症危険レベルの引下げ、相互国間の隔離施策解除、航空機の運航等がそろわないと復活は厳しい。
	×	観光名所（従業員）	来客数の動き	・例年の数値に比べると非常に悪い。新型コロナウイルスの移動自粛は緩和されたが、不要不急な外出を控えている人が多い。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、売上がかなり減少し、5月の回答をする気にもならないほど、店の危機に陥った。様々な制約もあり、商売が深刻である。倒産にはならないように持ち直したい。
	×	その他サービスの動向を把握できる者〔フィットネスクラブ〕（営業）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による利用減少や利用停止のため、状況は悪い。
	×	設計事務所（代表）	来客数の動き	・イベントを行っても新型コロナウイルスの影響により、来客が少ない。
企業 動向 関連 (九州)	-	-	-	-
		農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4～5月の売上は、今までにない落ち込みであった。外食部門向けの販売が、前年比20～30%とひどい結果であった。6月の後半になり、徐々に戻っているが、5割程度の回復である。また、スーパーマーケットや冷凍食品加工向けの4～5月の伸びは、全体で7～8割の伸びが現状である。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・需要が落ち込んでいた製品が、持ち直している。
		電気機械器具製造業（取締役）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、1～3月及び4～5月期が最悪の状況になり、従業員の休業を余儀なくされている。下半期は戻りつつあるが、予断を許さない。休業に関する政府の対応が遅く、深刻な状態である。
		建設業（社員）	受注量や販売量の動き	・官公庁の発注が多くなり、受注者の偏りはあるものの、多くの企業が受注できている。受注工事は多くはないが、少しずつ増加傾向にある。新型コロナウイルスの影響で国体が中止になったことで、今後の仕事量にも影響が生じる可能性があるかと危惧している。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の業種によって、好不調の差があるが、全体的には厳しい状況が続いている。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・当社の場合、化粧品の売行きは低迷している。特に、外出を控えていることで、日焼け止め等は影響を受けている。一方、健康食品は好調で、野菜不足による青汁等が好調である。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言の解除により、人々の動きがやや活発化したことで、小売業等、業績が底打ち状態から上向き傾向となった業種もあるが、例年に比べると、売上高や最終的な利益は深刻であり、景気が悪い状況が続いている。
		金融業（営業）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響による、企業や個人事業主への資金繰り支援の必要性は、高い水準で横ばいである。特に、エステやまつ毛エクステ等の零細な個人事業主からの申出は、むしろ増えている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・企業全体に2～5月に掛け、セーフティネットや政策金融公庫による融資を介して、中小企業の事業者は、資金繰り面では落ち着いているが、緊急事態宣言後、飲食業やサービス業の客の戻りが5～6割しか達しておらず、悪い状況は変わらない。
		広告代理店（役員）	受注量や販売量の動き	・悪いなりに新型コロナウイルスが一段落し、今後客からのオーダーが少しずつ戻っている。
		経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・3月と比較すると、4～5月が非常に悪い状態だったため、3月に近づいてきている状態で、良くはないが若干回復している。
		経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・多くの取引先の営業活動は、在宅勤務が続いているため、まだ訪問営業を控えており、受注活動が停滞している状態が続いている。
		経営コンサルタント（社員）	取引先の様子	・仕事量は変わらないが、物が売れない状態が続いている。
		家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・ホテル用家具の需要は大きく落ち込んでいる。建築着工予定のホテルの多くは、開業してもインバウンド需要が見込めず、インバウンド向けホテルの多くはペンディングとなっている。内需向けの観光ホテルには、やや動きがあるものの積極的に開業するところは皆無である。
		金属製品製造業（事業統括）	受注量や販売量の動き	・機器販売の4～5月の売上状況は前年比50%、受注高は90%、メンテナンスサービスでは受注高前年比60%と大きく落ち込んでいる。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス発生の影響もあるが、製造業は貿易問題の方が大きく、動きが段々と悪くなっている。世界的な政治経済の不安定さが、各取引先を始めとする製造業者には、大きな打撃になっており、この状態がいつまで続くのかが心配である。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の仕事が減少しており、外注先まで回せる仕事がない状況である。また、コストが下がって利益を確保できない仕事が増えている。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・主要取引先では、新型コロナウイルス以外の影響で、受注が低迷している。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・緊急事態宣言が解除されたが、新型コロナウイルスの感染症問題が尾を引き、百貨店やホテル、飲食店等の売上回復には程遠い。また、国内の様々なイベント等が徐々に営業再開しているものの、経済活動や市民生活に対する不安感は根強い。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・観光地や宿泊施設の客足は戻っていない。飲食店では、プレミアム付商品券の発行等集客アップ策を講じているが、新型コロナウイルスに対する人々の警戒心は根深く、V字回復には至っていない。
		経営コンサルタント（社員）	競争相手の様子	・面談ができず、メールだけの対応に限定されている。新しい動きが話題にならず、新型コロナウイルス対策が焦点となっている。
		その他サービス業〔物品リース〕（職員）	取引先の様子	・投資の先送りをしている企業が、多数見受けられる。
	×	農林水産業（従業者）	それ以外	・第一次産業は、基盤がしっかりしているため、直接のダメージは少ないが、消費者の景気が悪化していることもあり、悪くなることは分かっているが、肌感覚が薄いという奇妙な状況となっている。
	×	繊維工業（営業担当）	競争相手の様子	・大きな工場の閉鎖が相次いでいる。周りの工場でも、衣料の生産はほとんどなく、マスクや防護服を生産している。
	×	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、6月は5月よりも状態は悪く、前年と比較すると4割の売上である。産地全体が分業体制であるが、焼き物の動きが悪いため、関連業者の型屋や生地屋、卸商社等ほとんどがこのような状態であると予想される。
	×	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	取引先の様子	・新型コロナウイルスの第2次感染拡大への警戒感から、まだ生産ラインの縮小が続いているところもあり、全体的に落ち込んだまま継続している。
	×	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言は解除されたが、物量が戻らない。人件費ばかりが負担増となっており、最低賃金上昇・有期雇用の正社員化が足かせとなっている。
	×	通信業（経理担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、企業の事業活動が停滞している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	新聞社〔広告〕 （担当者）	取引先の様子	・自治体関係の広告出稿は比較あるものの、他業種が完全に止まっている。電子媒体、広告代理店を見ても状況は厳しい。
	x	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	取引先の様子	・市町村からの調査や計画策定、設計の委託業務の発注について、当初予算化されていた高齢者福祉や障害者福祉に関する計画策定業務等が中止となり、新型コロナウイルスの対策の予算に使われている。このため、委託業務の発注量が減少し、受注できる業務量が減少している。
雇用 関連  (九州)		-	-	-
		人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスで休止していたテレビ番組ロケが復活しているため、派遣も増加している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスによる自粛が始まった3か月前から、急激に景気は悪くなった。それを考えれば、自粛要請も緩和され、少しは景気が良くなっている。これまでに客との信頼関係を築いている人気店等では、それなりに客足も戻っている。
		人材派遣会社 （社員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で派遣就業決定件数が減り、逆に派遣就業終了件数が増加している。
		人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・6月に入り、求人数が前月の倍、3か月前との比較では、同数の注文数になっている。また、求職者も前月より増加している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響による立ち直りに、相当の時間が必要である。本来なら夏の商戦に向けて、今がパートやアルバイト採用のピークになるが、取引先も先が見えにくい状態になっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・4月に8割以上減少した派遣事業所からの求人が、以前のような勢いはないが、徐々に戻りつつある。
		人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・派遣求人数が少ない。
		新聞社〔求人広告〕（社員）	周辺企業の様子	・3か月前と比較するとやや悪くなっているが、外出自粛も緩和され、新聞広告や新聞折込広告共に、緊急事態宣言中の最悪期を脱した状況である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・新型コロナウイルスによる自粛解除となり、経済は動き出したが、休業補助等が受けられず、売上が下がった企業では、会社の整理や従業員の解雇が多い。特に、定年後のスタッフ職や契約社員が、まず解雇されている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・4月の新規求人が、前年比約25%減少している。その後も新規求人数が回復傾向にない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、前年比20%以上の減少が継続しており、有効求人数は、3か月前までは1.0倍であったが、今月は0.7倍と急落している。また、休業の申請も変わらず行われている。
	x	人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・求人がないため、状況をみながら転職を考える求職者が増加しており、動きが停滞している。また、派遣の求人数も激減している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	学校〔大学〕 (就職支援業務)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、求受件数が減っており、採用が鈍くなっている。

## 12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)	-	-	-	-
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大初期に比べ、客が前向きな心境になりつつある。前年の勢いはないが、休業明けから徐々に回復の兆しがみえてきている。
		家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・給付金や気温上昇が購買意欲を向上させている。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	お客様の様子	・今月終盤より順次情勢をみながら店舗営業を再開している。県をまたぐ移動自粛の解除等で、飲食をされる客、観光客が徐々に増えてきているが、午後9時過ぎの後半の動きはまだ悪い。あと、3密にならないようスペースを取っているので予定入客の半分以下しか入れられず、この状態での営業では損益分岐点をクリアできない。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・4～5月と営業縮小により落ちていた販売が、今月から通常営業に戻すことにより回復してきている。営業縮小中も再開に向けての準備を怠らなくなった成果も出ている。
		スーパー（企画担当）	それ以外	・新型コロナウイルス禍の影響で節約志向になっていると考えられる。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・3か月前はちょうど新型コロナウイルスの影響が現れ始め、人も少なくなっていた頃である。今は自粛が解除され、ようやく国内の旅行者が戻ってきている。しかし売上は3か月前と変わらない。自粛解除になって、不要不急の旅行はするが、以前のような不要不急の買物はしない。
		旅行代理店（マネージャー）	お客様の様子	・県の予算で宿泊費に補助が付くキャンペーンが好調なため一時的に活気付いているが、新型コロナウイルスも収束していない状況なので、いつまた逆戻りするかわからない。
		スーパー（販売企画）	来客数の動き	・5月中旬に競合店の新規出店があり、客数が減っている。また新型コロナウイルス禍での客数減少、客単価増加の傾向はまだ続いているが、4～5月に比べて落ち着いた感があり、客単価は少し減ってきている。その結果、今月は少しマイナスの状況である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少と客単価の低下で、売上高に影響している。
		住宅販売会社（代表取締役）	お客様の様子	・住宅や投資案件への建築意欲が弱まっているようにみられる。
	x	商店街（代表者）	来客数の動き	・言うまでもなく新型コロナウイルスの影響があり、事業所の閉鎖も多少あるようである。ほとんどの事業所で来客数が相当激減して、売上にならない状態が続いている。
	x	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・全国的な他府県への移動自粛の解除が6月19日に宣言され、観光やビジネスでの来県者は若干の増加傾向にあるものの、個人での移動に制限されている。それに伴って、那覇市等の店舗への来客数は3か月前と大きな差はなく、95%ほどでの推移となっている。
	x	観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・今月中旬まで新型コロナウイルスの影響によりホテルを休業しており、中旬以降にオープンしている。その結果、前年を大幅に下回る客室稼働率であった。また本理由により、ホテルを閉めていなかった3か月前と比べると悪い、といった判断である。
x	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・来客数の動きは変わらず最小の状況である。県をまたいでの移動が本格的になる7月には少し増えるが、それも微増である。	
x	観光名所（職員）	それ以外	・新型コロナウイルス感染症の影響がある。	
企業 動向 関連  (沖縄)	-	-	-	-
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事、民間向け出荷は前年比減である。民間向けは新型コロナウイルスの影響が大きい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規に住宅を建てるという客の動きが全くない。
		輸送業（経営企画室）	受注量や販売量の動き	・自粛の解除がなされたが、物流業に関する景気はまだ状況が変わらないとみられる。飲食店等、取扱物量が減少傾向にある業種もあれば、家具や家電等の物量が増える業種もあり、全体的には変わらない状況である。
		会計事務所（所長）	取引先の様子	・ホテル業では一部営業を再開したものの、入域観光客数は限定的で、収入の回復にはまだ長時間を要する。
		食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で観光関連、業務用向け取引先への売上は、県内、県外の移動自粛の解除とともに回復に向かうとみるが、時間を要する。現状はそうのように推移している。
	x	*	*	*
雇用 関連 (沖縄)		-	-	-
		学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除され、徐々に企業の採用活動も再開してきて問合せ等が増えてきた。明るい兆しだととらえたい。
		*	*	*
		学校〔大学〕（就職支援担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で新卒採用計画を見直す企業が増えている。
	x	求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・週平均の求人件数を3月の721件と比較すると、6月は289件減の432件である。